

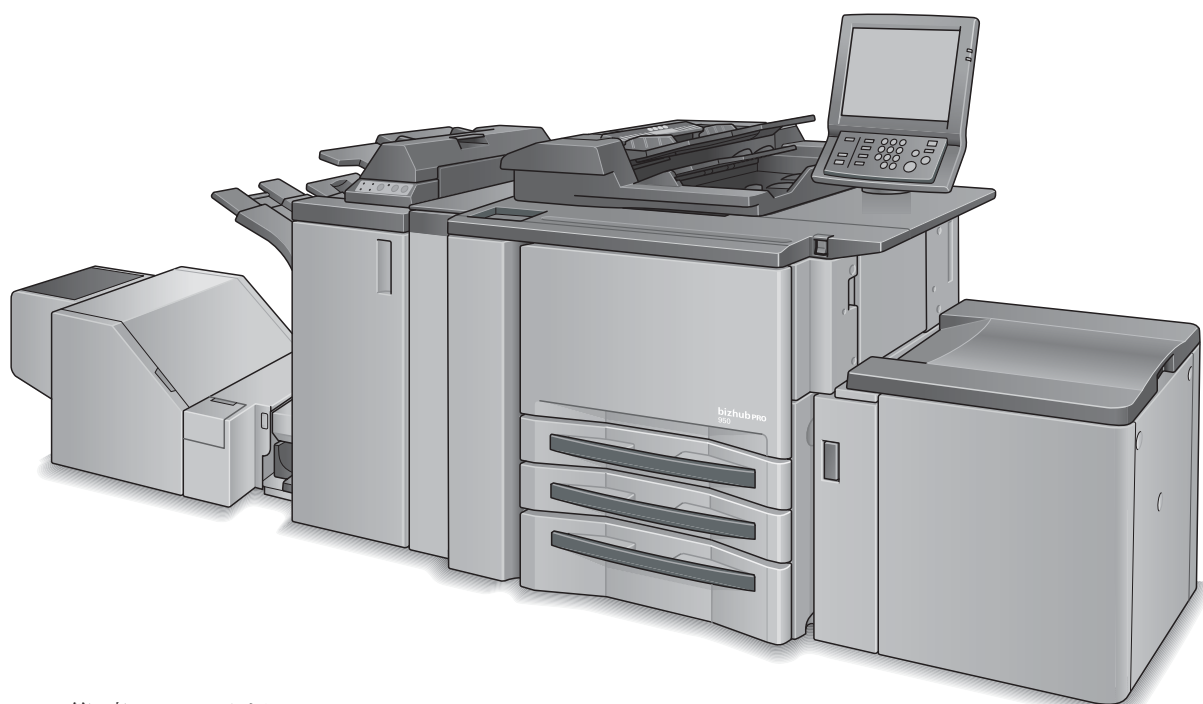


KONICA MINOLTA

The essentials of imaging

bizhub PRO 950

ユーザーズガイド プリンター(PostScript3 Plug-inドライバー)編



第1章	はじめに
第2章	概要
第3章	インストール
第4章	プリンタードライバーのアンインストール
第5章	基本的な印刷方法とプリンターの機能
第6章	Windowsでの印刷
第7章	Mac OS Xでの印刷
第8章	Mac OS 9での印刷
第9章	特定のアプリケーションからの印刷
第10章	トラブルシューティング
第11章	Font List (PostScript)
第12章	用紙サイズ
第13章	用語集

目次

1	はじめに	1-3
1.1	Copyright.....	1-4
1.2	本書について.....	1-5
1.3	本書の表記方法について.....	1-7
1.4	本書のみかた.....	1-8
1.5	ソフトウェア使用許諾契約書	1-9
2	概要.....	2-1
2.1	プリンタードライバーについて.....	2-1
2.2	イメージコントローラーの部品構成	2-2
2.3	イメージコントローラーの接続形態	2-3
2.4	イメージコントローラーの仕様.....	2-4
3	インストール	3-1
3.1	インストール（Windowsの場合）	3-1
3.2	インストール（Mac OS Xの場合）	3-11
3.3	インストール（Mac OS 9 の場合）	3-27
4	プリンタードライバーのアンインストール.....	4-1
4.1	Windows.....	4-1
4.2	Mac OS X.....	4-3
4.3	Mas OS 9	4-5
5	基本的な印刷方法とプリンターの機能.....	5-1
5.1	基本的な印刷方法	5-1
5.2	基本的なプリンター機能.....	5-6
6	Windowsでの印刷.....	6-1
6.1	ページ設定	6-1
6.2	印刷	6-6

6.3	プリンタードライバープラグイン	6-8
7	Mac OS Xでの印刷.....	7-1
7.1	ページ設定	7-1
7.2	印刷	7-3
7.3	プリンタードライバープラグイン	7-5
8	Mac OS 9 での印刷	8-1
8.1	ページ設定	8-1
8.2	印刷	8-3
8.3	プリンタードライバープラグイン	8-5
9	特定のアプリケーションからの印刷	9-1
10	トラブルシューティング	10-1
11	Font List (PostScript)	11-1
12	用紙サイズ.....	12-1
13	用語集	13-1

1 はじめに

このたびは、bizhub PRO 950 をお買い上げいただきまして、ありがとうございます。

このプリンタードライバーにより、Windows や Macintosh のアプリケーションからプリンタージョブをbizhub PRO 950 にて印刷できるようになります。

本プリンタードライバーは、WindowsおよびMacintoshの標準 PostScript 機能に、使いやすいユーザーインタフェースの高度な印刷機能が追加されたプラグインで構成されます。Windows のプリンターは、Printer Installer を使用して簡単にインストールできます。

本書は、KONICA MINOLTA bizhub PRO 950 のPostScript3 Plug-inドライバーのユーザーズガイドです。

他の情報については、本プリンタードライバーヘルプに記載されています。ヘルプはプリンタードライバーから呼び出すことができます。

このマニュアルは、User's Guide CDの中にPDFファイルとして保存されています。このファイルを印刷して、bizhub PRO 950 プリント使用時に参照できます。

1.1 Copyright

Copyright © 2004 - 2009 SOFHA GmbH, Germany.

Copyright © 2008 - 2009 コニカミノルタビジネステクノロジーズ株式会社

KONICA MINOLTA、KONICA MINOLTA ロゴ、essential of imaging は、コニカミノルタホールディングス株式会社の登録商標です。

bizhub, bizhub PRO、PageScope は、コニカミノルタビジネステクノロジーズ株式会社の登録商標です。

SOFHA は、ドイツの SOFHA GmbH 社の登録商標です。

Citrix、MetaFrame、MetaFrameXP、Citrix Presentation Server™ は、米 Citrix Systems, Inc. およびその他の国における登録商標または商標です。

Microsoft および Windows は、Microsoft Corporation の米国および他の国における登録商標です。

AppleTalk、Macintosh、および MacOS は、米国および他の国で登録されている Apple Computer, Inc. の商標です。

Adobe、Adobe ロゴ、Acrobat、Acrobat ロゴ、PostScript および PostScript ロゴは、Adobe Systems, Inc. の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

その他の企業名および製品名は、該当各社の（登録）商標です。

コニカミノルタビジネステクノロジーズ株式会社または SOFHA GmbH は、本プリンティングシステムおよび本書を運用した結果の影響につきましては、一切の責任を負いかねますのでご了承ください。

すべての仕様は、事前の通告なしに変更されることがあります。

本書の一部または全部を無断で使用、複製することはできません。

プリンタードライバーの著作権は、コニカミノルタビジネステクノロジーズ株式会社または SOFHA GmbH にあります。

内蔵フォントについて

本イメージコントローラーは、Adobe PostScript 3 (PS3) のサポートと欧文 136 書体、日本語 2 書体の Adobe フォントを内蔵しています。内蔵フォントについては、Font List をごらんください。

1.2 本書について

本書では、各種コンピューターやネットワークから、KONICA MINOLTA製コピー機をプリンターとして使用するために必要な、bizhub PRO 950 の操作方法について説明しています。

本書はコピー機の基本操作を理解しているお客様を対象としています。

コピー機の操作方法については、「ユーザーズガイド（POD管理者編）」または「ユーザーズガイド（コピー編）」を必要に応じてご参照ください。

Windows、Mac OSの操作方法に関しては、各オペレーティングシステムの操作説明書をご参照ください。

また、アプリケーションの操作方法に関しては、アプリケーション付属の操作説明書をご参照ください。

本書は、下記の章と付録から構成されています。

1 はじめに	本書での表記方法や本書のみかたについて説明しています。
2 概要	本プリンティングシステムの概要や製品仕様について説明しています。
3 インストール	Windows、Mac OS X、Mac OS 9 に本プリンタードライバをインストールする方法について説明しています。
4 プリンタードライバのアンインストール	プリンタードライバをアンインストールする方法について説明しています。
5 基本的な印刷方法とプリンター機能	印刷するための基本的な操作を説明しています。
6 Windowsでの印刷	Windowsでの本プリンタードライバの設定について説明しています。
7 Mac OS Xでの印刷	Mac OS Xでの本プリンタードライバの設定について説明しています。
8 Mac OS 9 での印刷	Mac OS 9 での本プリンタードライバの設定について説明しています。
9 特定のアプリケーションからの印刷	いくつかのアプリケーションによって異なる印刷方法を説明しています。

10 トラブルシューティング	印刷の一般的なトラブルやPostScriptの一般的なトラブルとその回避方法について説明しています。
11 Font List (PostScript)	搭載フォントについての説明をしています。
12 用紙サイズ	本製品がサポートしている用紙サイズを説明しています。
13 用語集	よく使われる用語についての説明をしています。

1.3 本書の表記方法について

本書では、各製品を以下のように表記しています。

1	bizhub PRO 950 イメージコントローラー	イメージコントローラー
2	bizhub PRO 950 コピー機	コピー機
3	(1)、(2)を組み合わせたプリンティングシステム	プリンティングシステム
4	Microsoft Windows 2000 (Service Pack 4 以上)	Windows 2000
5	Microsoft Windows XP (Home Edition /Professional) (ともにService Pack 2 以上) /Professional x64	Windows XP
6	Microsoft Windows Vista/Vista x64	Windows Vista
7	Microsoft Windows Server 2003 (Service Pack 1) /Server 2003 x64	Server 2003
8	Microsoft Windows Server 2008 / Server 2008 x64	Server 2008
9	Mac OS 9.2x	Mac OS 9
10	Mac OS X v10.3x – v10.5x (Intel Mac 10.4x/10.5xも含む)	Mac OS X
11	上記OSを組み合わせて併記する場合	Windows 2000/XP/Server 2003 Mac OS 9/X

1.4 本書のみかた

操作の目的や機能などが確認できます。

操作の手順を説明しています。



ご注意)
補足説明をしています。



ワンポイントアドバイス)
操作上のヒントや
アドバイスを説明
しています。

画面上で表示されている
ものは、[] を使って
説明しています。

Windows での印刷

3

3.1.2 プリンタの追加を使用したプリンタドライバのインストール

プリンタ インストーラの代わりに、[プリンタの追加] 機能を使用してプリンタドライバをインストールすることができます。

1 [スタート] メニューから [プリンタと FAX] を選択します。

2 [プリンタのインストール] をクリックします。



ご注意)

クラシック表示の場合は、[スタート] メニュー>> [設定] >> [プリンタと FAX] を選択して、[プリンタのインストール] をクリックします。

Windows XP 以外の場合は、[スタート] メニュー>> [設定] >> [プリンタ] を選択します。[プリンタの追加] をクリックします。

3 [このコンピュータに接続されているローカルプリンタ]を選択します。



4 [プラグ アンド プレイ対応プリンタを自動的に検出してインストールする]のチェックが外れていることを確認します。

5 [次へ] をクリックします。

6 プリンタポートを選択して [次へ] をクリックします。

このページは実際には存在しません。

1.5 ソフトウェア使用許諾契約書

このソフトウェア（以下、本ソフトウェアといいます）のパッケージを開封される前に、または本ソフトウェアをダウンロード、インストールもしくは使用を開始される前に、このソフトウェア使用許諾契約書（以下、本契約といいます。）をよくお読みください。お客様が本ソフトウェアのパッケージを開封、本ソフトウェアのダウンロード、インストールまたは使用を開始された場合、本契約に同意されたものとみなされます。本契約に同意いただけない場合は、本ソフトウェアのパッケージの開封、本ソフトウェアのダウンロード、インストール、使用のいずれも行うことはできません。

1. 著作権及びその他の知的財産権

本契約は使用許諾契約であって、売買契約ではありません。コニカミノルタビジネステクノロジーズ株式会社（以下、コニカミノルタといいます）は、本ソフトウェアにかかる著作権及びその他の知的財産権を自ら所有するか、または当該権利の所有者（以下、コニカミノルタのライセンサーといいます）からその使用权の許諾を受けています。本ソフトウェア及びその複製物にかかるいかなる権利もコニカミノルタまたはコニカミノルタのライセンサーによって所有されています。本契約は、コニカミノルタ又はコニカミノルタのライセンサーからお客様に対して、本ソフトウェアにかかるいかなる著作権及びその他の知的財産権を譲渡するものではありません。本ソフトウェアは、著作権法及び国際条約により保護されています。

2. 使用許諾

コニカミノルタは、お客様に対して、非独占的かつ限定的な使用权を許諾いたします。当該使用权に基づいてお客様は以下を行うことができます。

(i) 本ソフトウェアを、お客様の管理下にあるコンピューターにインストールし、使用すること。但し、本ソフトウェアに対応するコニカミノルタ製品と接続されているコンピューターに限ります。

(ii) 上記コンピューターのユーザーに本ソフトウェアを使用させること。但し、かかるユーザーに本契約の定めを遵守させることを条件とします。

(iii) お客様の日常業務又は個人的利用のためにのみ本ソフトウェアを使用すること。

(iv) バックアップの目的に限り、本ソフトウェアの複製物を1部作成すること。

(v) 本契約のコピー及び全ての関連書類と一緒に本ソフトウェアを第三者に譲渡すること。ただしこの場合には、お客様は、譲渡に当たって、① か

かる第三者に本契約の条件に同意させること、及び、②お客様が所有する本ソフトウェアの複製物を全てかかる第三者に譲渡、またはお客様の責任で破壊するか、のいずれかを行っていただくことを条件とします。かかる譲渡によって、コニカミノルタからのお客様への使用許諾は終了します。

3. 制限

(1) お客様はコニカミノルタの書面による事前同意を得ることなく、以下の行為を行うことはできません。

(i) 本契約で許諾されている範囲を超えて、本ソフトウェア及びその複製物を使用、複製、改変、結合又は譲渡すること

(ii) リバースエンジニアリング、逆アセンブル、逆コンパイルまたはその他の方法で本ソフトウェアを解析すること

(iii) 本ソフトウェア及びその複製物を再使用許諾、レンタル、リースまたは頒布すること

(iv) 本ソフトウェアに付けられている商標、ロゴ、著作権表示、シンボル及びラベルを除去すること、使用すること又は変更すること

(2) お客様は、いかなる国の適用可能な輸出管理法規や規則に違反して、本ソフトウェアを輸出しないことに同意するものとします。

4. 保証の否認・免責

(1) 本ソフトウェアがCD-ROMまたはデジタルデータを保存するその他の有体の記憶媒体（以下、記憶媒体という）にて供給された場合、コニカミノルタはお客様に対し、かかる供給の日から 90 日間、記憶媒体に瑕疵のないことを保証いたします。本ソフトウェアは現状のままたてお客様に提供されるものであり、この記憶媒体に対する保証を除いて、コニカミノルタ、その関連会社、及びコニカミノルタのライセンサーは、本ソフトウェアに関し明示または黙示を問わず、いかなる保証（商品性、特定の目的に対する適合性、第三者の権利を侵害しない旨の保証を含みますがそれらに限定されません。）もいたしません。

(2) 本ソフトウェアのインストールまたは使用、不使用または使用不能に関連してお客様に発生する一切の損害（事業利益の損失、情報の損失を含みますがそれらに限定されません。）、お客様の逸失利益その他の派生的または付随的損害、及び第三者からお客様になされた損害賠償請求に基づく損害について、コニカミノルタ、その関連会社またはコニカミノルタのライセンサーは、法律で許される最大限の範囲において、一切責任を負担いたしません。たとえコニカミノルタ、その関連会社またはコニカミノルタのライセンサーがかかる損害を予測できた場合、また事前にその可能性について知ら

されていた場合であっても同様とします。

5. 契約の終了

お客様はいつでも、本ソフトウェアとその複製物の全てを廃棄することにより本使用許諾を終了させることができます。また、お客様が本契約の条件に反したときには、本契約はただちに終了します。お客様は、本契約の終了とともに、ただちに本ソフトウェアとその複製物の全てを廃棄いただかねばなりません。

6. 準拠法

本契約は、日本国法に準拠するものとします。

7. 分離可能性

本契約の一部が裁判所等によって無効であると決定された場合でも、本契約のその他の部分は当該判断に何ら影響を受けることなく完全に有効に存続するものとします。

8. NOTICE TO US GOVERNMENT END USERS

The Software is a "commercial item," as that term is defined at 48 C.F.R. 2.101 (October 1995), consisting of "commercial computer software" and "commercial computer software documentation," as such terms are used in 48 C.F.R. 12.212 (September 1995). Consistent with 48 C.F.R. 12.212 and 48 C.F.R. 227.7202-1 through 227.7202-4 (June 1995), all U.S. Government End Users shall acquire the Software with only those rights set forth herein.

2 概要

本製品のイメージコントローラー機能は、コピー機をコンピューターやネットワークに接続して、プリンターとして使用できるようにする機能です。

2.1 プリンタードライバーについて

本プリンティングシステムは、PostScript3(PS Plug-in/PostScript PPD)とPCLプリンター機能を搭載しています。

本プリンティングシステムを使用するには、お使いのコンピューターにプリンタードライバーをインストールする必要があります。

プリンタードライバー	対応OS
PS Plug-in / PostScript PPD	Windows 2000/XP/Server 2003/ Windows Vista/Server 2008 Mac OS 9 / X
PCL	Windows 2000/XP/Server 2003/ Windows Vista/ Server 2008



ワンポイントアドバイス)

プリンタードライバーのインストール方法については、3-1 ページをごらんください。

「PostScript PPD」,「PCL」ドライバーに関しては、ユーザーズガイド(プリンター編)をごらんください。

2.2 イメージコントローラーの部品構成

本イメージコントローラーには、Ethernet互換ネットワークポートとUSBポート(USB 2.0)が用意されています。

2.2.1 メモリー

本イメージコントローラーは、標準で 2GBのメモリーを搭載しています。

2.2.2 その他のオプション

以下のオプションを設定すると、本イメージコントローラーのいろいろな機能を使うことができます。

- 給紙ユニット (LU-407/LU-408) をインストールすると、トレイ 4 を選択できるようになります。
- 排紙ユニット (FS-528/FS-611) をインストールすると、“ステープル”、“中とじ (FS-611 のみ)”、“重ね中折り/重ね三つ折り (FS-611 のみ)”などの機能を使用することができるようになります。
- パンチキット (PK-503/PK-504/PK-505) をインストールすると、パンチ機能を使用することができるようになります。
- マルチパンチ機(GP-501) を設定すると、“多穴パンチ”機能を使うことができます。
- カバーシートフィーダー (PI-506) をインストールすると、PIカバーシートが選択できるようになります。
- Z折りユニット (ZU-607) をインストールすると“折り”の機能を使うことができます。
- トリマーユニット (TU-502) をインストールすると、“中とじ+断裁”などの機能を使うことができます。



ワンポイントアドバイス)

本体に組み込まれている各種オプションをプリンタードライバー上で正しくインストールすることにより、本体が有する多様な印刷処理機能を活用する事ができます。

2.3 イメージコントローラーの接続形態

本イメージコントローラーをコンピューター（USBポート）またはネットワーク（Ethernet）に接続することで、プリンターとして使用することができます。

2.3.1 Ethernetで接続する

イメージコントローラーをEthernet につながるコンピューターに接続することができます。Ethernet を利用する場合は、いくつかの形態が考えられます。ここでは、例として次の印刷形態を示します。いずれの場合もイメージコントローラーやコンピューターのTCP/IP 設定など、ネットワークの設定後にコンピューターにプリンタードライバーをセットアップする必要があります。

- SMB印刷、LPR/LPD印刷、Direct印刷、Raw（Port9100）印刷、Webサービス印刷
- Macintosh からAppleTalk、Bonjour を使用した印刷
- IPP（Internet Printing Protocol）印刷
- Novel NetWare を使用した印刷

2.3.2 USBで接続する

イメージコントローラーとコンピューターとをUSBポートを使って接続できます。

2.4 イメージコントローラーの仕様

型式

型式 : KONICA MINOLTA コピー機への内蔵型

機能

解像度 : プリント : 600 x 600 dpi
 スキャン : 200 dpi、300 dpi、400 dpi、600 dpi

階調数 : 1bit

最大用紙サイズ : 定型紙 : A3 (297 x 420 mm)
 不定型紙 : 314 x 460 mm

プリント可能領域 : 定型紙 : 上下左右一律 余白 2.8 mm
 不定型紙 : 幅 100 - 303mm
 長さ 140 - 460mm

プリント設定枚数 : 1 ~ 9999

連続プリントスピード : 95ppm (A4, 8.5 x 11) (2 部目以後)

プリンター言語 : PCL 5e/6 , PostScript3

MetaFrame 動作環境 : 本ドライバーは以下の環境でのみ動作確認を実施しております。

Server OS : Windows 2000 Server/
Server 2003 / Server
2008

MetaFrame : Citrix® MetaFrame
XP® Presentation
Server Feature
Release3

Citrix® MetaFrame®
Presentation Server3.0

Client OS : Windows 2000/
Windows XP/
Windows Vista

ICAClient : ICA32bit

* 上記以外の構成での動作に関しては販売会社にお問い合わせください。

ネットワーク機能

対応プロトコル :	TCP/IP、 IPX/SPX、 NetBEUI、 IPP、 EtherTalk
対応OS (NOS) :	Novell Netware (3.x, 4.x - 6) Windows 2000 Windows XP/Server 2003 Windows Vista / Server 2008 Mac OS 9 Mac OS X
マルチプロトコル :	対応自動判別
対応印刷方式 :	SMB印刷 (TCP/IP) / LPD/LPR (TCP/IP) / Port9100 (TCP/IP) / Pserver (IPX/SPX) / NPrinter/RPrinter (IPX/SPX) / AppleTalk (EtherTalk)/Webサービス印刷 (TCP/IP) /Bonjour (TCP/IP)
対応Webブラウザ :	Microsoft Internet Explorer Ver.6 以降推奨 *(JavaScript 有効)、 Mozilla FireFox 1.0 以降 (JavaScript 有効、 cookie 有効)、 Netscape Navigator Ver.7.02 以降 (JavaScript 有効、cookie 有効) Flash Player Ver.7.0 以降(Flash形式でご覧頂 く場合) * Internet Explorer Ver.5.5 を使用している場 合、Microsoft XML Parser (MSXML) 3.x の インストールが必要

用紙

用紙 :	コピー機に同じ
対応紙種 :	コピー機に同じ

機械諸元

CPU :	Pentium M 2.0GHz (Memory Access Speed 533MHz)
メモリー :	2GB (標準)
電源 :	コピー機から取得
ネットワークインターフェ イス :	Ethernet (1000BASE-T / 100BASE-TX / 10BASE-T)

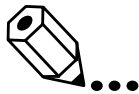
使用環境

気温： コピー機に同じ

湿度： コピー機に同じ

2.4.1 限定条件

プリンターモードでもコピー機のウィークリータイマー機能は使用できませんが、画像メモリーにプリントデータが残っていると、そのデータを出力し終るまでは電源はOFF になりません。



ご注意)

仕様は改良のため、予告なく内容を変更することがありますのでご了承ください。

3 インストール

3.1 インストール（Windowsの場合）

3.1.1 Printer Installer

インストーラーを利用するインストール方法を説明します。プリンタードライバーのインストールは、必要な権限を持ったシステム管理者、またはプリンター管理者が行うことをお勧めします。

- 1 「PS Driver CD」をパソコンの CD-ROM ドライブに挿入します。
CDが自動的に起動します。
- 2 「プリンターのインストール」を選択し、「PS Plugin Driver」を選択します。
- 3 「JA」を選択します。
「PrinterInstaller」が起動します。



ご注意)

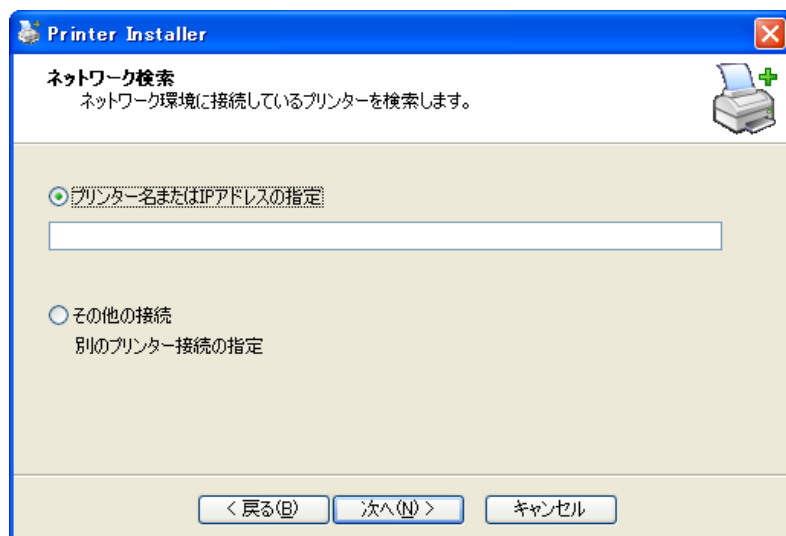
自動的にCDが起動しない場合は、「PS Driver CD」を開き、「Driver」-「Drivers」-「PS Plugin Driver」-「JA」内にある「PrinterInstaller.exe」をダブルクリックします。

- 4 [次へ] をクリックします。



- 5 プリンター名または IP アドレスを入力して[次へ]をクリックします。別のプリンター接続を行う場合は[その他の接続]を選択し、[次へ]をクリックします。

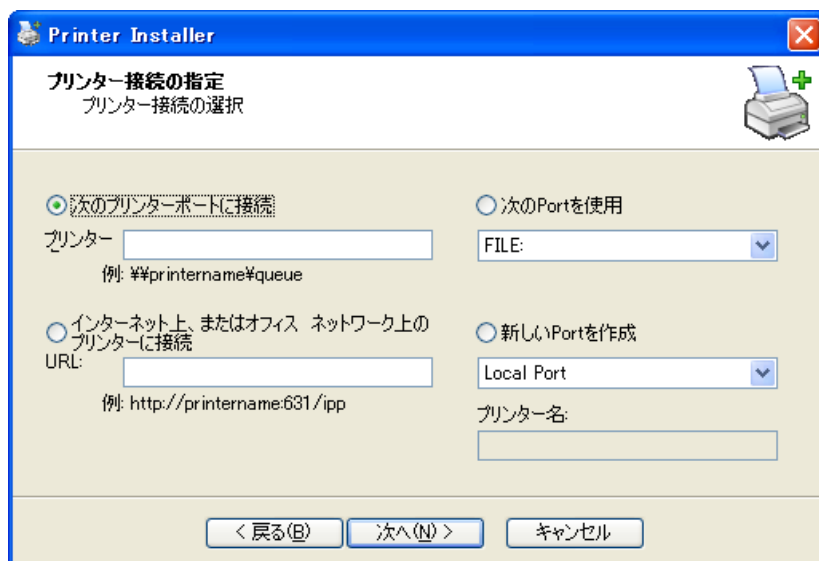
プリンター名またはIPアドレスを入力した場合、手順 8 に進みます。



プリンター名またはIPアドレスの指定：
コピー機がWindowsプリンターとして設定されます。
プリンターは、lprポートを使って作成されます。(例：myprinter:print.)

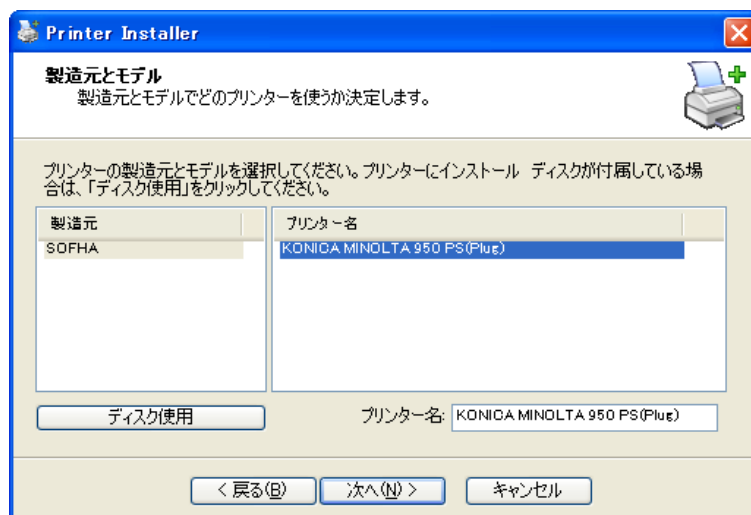
その他の接続：
別のプリンター接続（NetBIOSまたはport9100）を指定します。

- 6 [その他の接続]を選択した場合は、プリンター接続を指定して[次へ]をクリックします。



ネットワークでDNSを使用している場合には、bizhub PRO 950 に割り当てられているネットワーク名がDNSに保存されているネットワーク名と一致するか管理者が確認する必要があります。

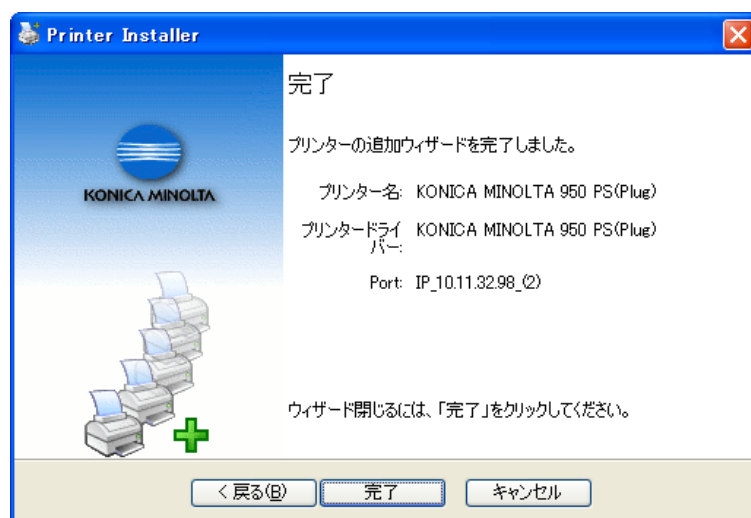
7 プリンター名を選択して「次へ」をクリックします。



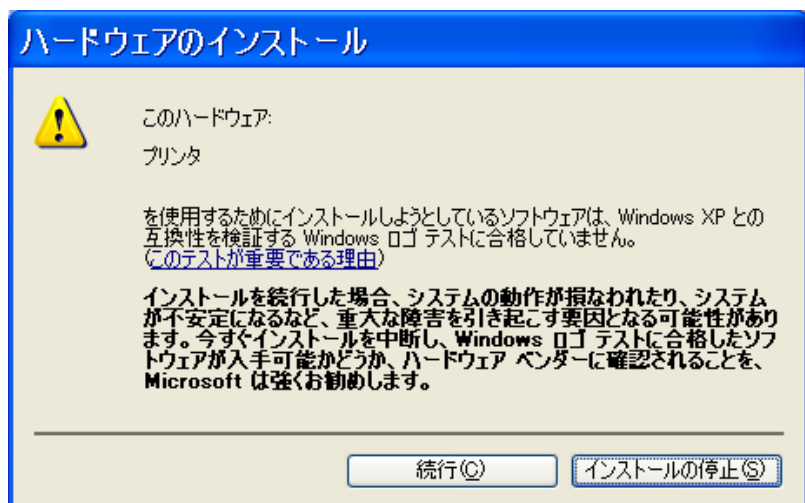
インストール可能な全てのプリンターが表示されます。インストールしたいプリンター名が表示されない場合は、「ディスク使用」をクリックして、[Setup.inf]ファイルを選択してください。

[Setup.inf] は、[インストーラーセットアップパッケージ] でインストールしたフォルダ内の [JA] フォルダに収まっています。

8 「完了」をクリックします。



- 9 デジタル署名がない警告メッセージが表示された場合は[続行]をクリックしてインストールを続けます。



インストールが完了します。
プリンターのインストールが完了したら、アプリケーションの印刷画面からプリンターを選択することができます。

3.1.2 プリンターの追加

〔プリンタの追加〕機能を使用してプリンタドライバをインストールします。

1 〔スタート〕メニューから〔プリンタとFAX〕を選択します。

2 〔プリンタのインストール〕をクリックします。

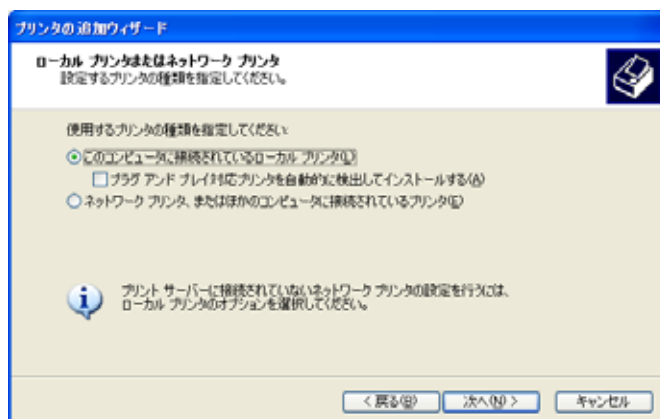


ご注意)

Windows 2000 の場合は、〔スタート〕メニュー>> 〔設定〕>> 〔プリンタ〕を選択します。〔プリンタの追加〕をクリックします。

Windows Vista/Server 2008 の場合は、〔スタート〕メニュー >> 〔コントロールパネル〕>> 〔ハードウェアとサウンド〕内の〔プリンタ〕を選択し、〔プリンタのインストール〕を選択します。

3 〔このコンピュータに接続されているローカルプリンタ〕を選択します。



4 〔プラグ アンド プレイ対応プリンタを自動的に検出してインストールする〕のチェックが外れていることを確認します。

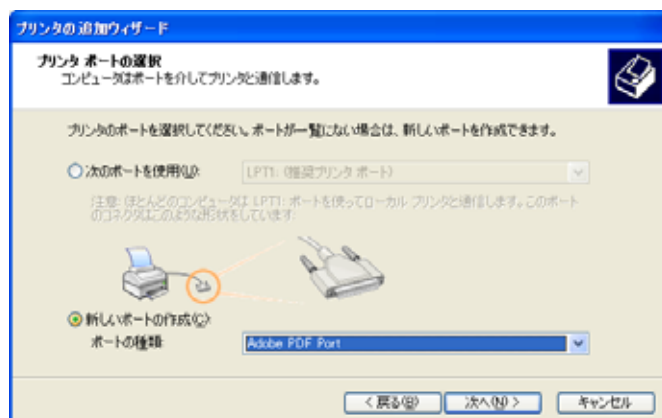
5 〔次へ〕をクリックします。

6 プリンターポートを選択して「次へ」をクリックします。



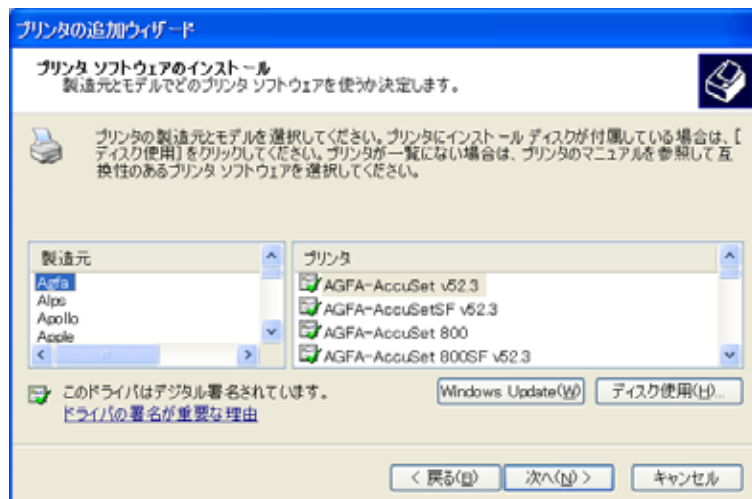
7 「次のポートを使用」選択し、ポップアップメニューから使用するポートを選択したら、「次へ」をクリックします。

「プリンタソフトウェアのインストール」が表示されます。

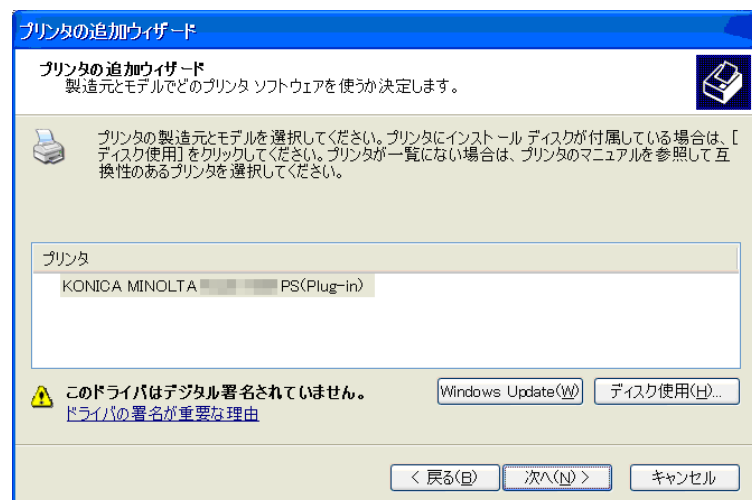


LPR、TCP/IPポート等を作成する場合は、ネットワーク管理者にお問い合わせください。

- 8 [ディスク使用] をクリックして、[Setup.inf] ファイルを選択し、**次へ** をクリックします。
- [Setup.inf] は、[インストーラーセットアップパッケージ] でインストールしたフォルダ内の [JA] フォルダに収まっています。



- 9 プリンター名を確認して **次へ** をクリックします。



- 10 このあとに表示される各ダイアログの内容を確認して、プリンターのインストールを完了します。
- プリンターのインストールが完了すると、アプリケーションの印刷画面からプリンターを選択することができます。

**ご注意)**

[完了] をクリックした後、Windows 2000/XP/Server2003 ではデジタル署名がないことを警告するメッセージが、Windows Vista/Server 2008 では発行元を検証できないことを警告するメッセージが表示されることがあります。その場合は、

[はい] (Windows 2000) [続行] (Windows XP/Server 2003)

[このドライバソフトウェアをインストールします] (Windows Vista/Server 2008)

をクリックしてください。

3.1.3 インストール可能なオプション

bizhub PRO 950 の使用可能なオプションアクセサリ（給紙ユニットやパンチユニットなど）を指定します。インストールされているオプションをドライバー上で適切に設定することで、PC上のプリンタードライバーのユーザーインターフェースをカスタマイズして、bizhub PRO 950 でサポートされていない機能を不用意に選択しないようにできます。プリンタードライバーでアクセサリを使用可能にするには、該当のインストール可能なオプションを有効にします。

インストール可能なオプションを設定するには

- 1 [スタート] メニュー≫ [プリンタと FAX] を選択します。

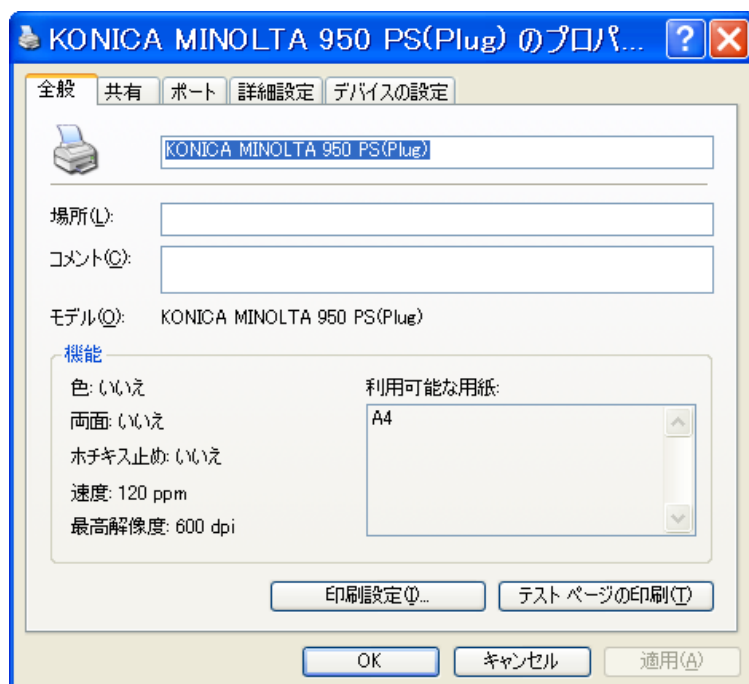
**ご注意)**

Windows 2000 の場合は、[スタート] メニュー>> [設定] >> [プリンタ] を選択します。

Windows Vista/Server 2008 の場合は、[スタート] メニュー >> [コントロールパネル] >> [ハードウェアとサウンド] 内の [プリンタ] を選択します。

- 2 [KONICA MINOLTA 950 PS (Plug-in)] を右クリックして [プロパティ] を選択します。

bizhub PRO 950 プリンターのプロパティ画面が表示されます。



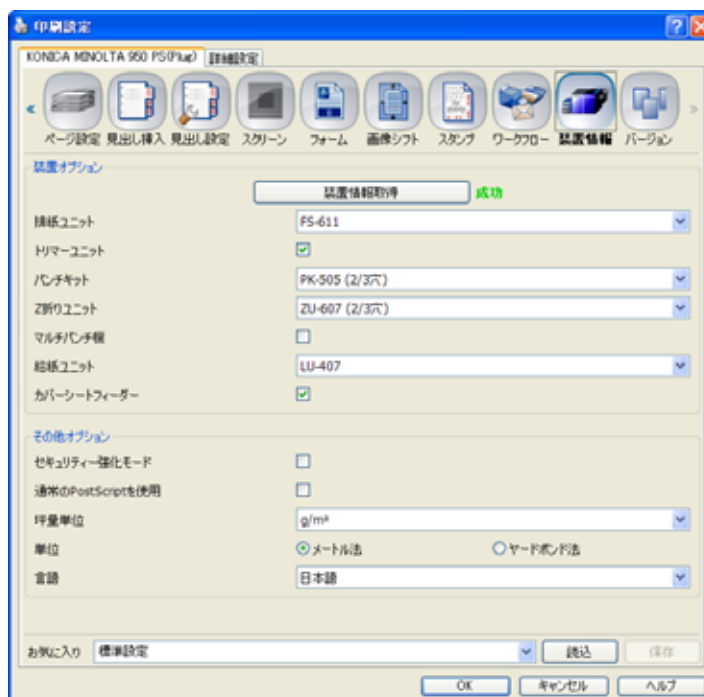
3 「印刷設定」をクリックします。

4 画面右上の  をクリックして「装置情報」を選択します。



- 5 「装置取得情報」をクリックすると、自動的にbizhub 950 に装着しているオプションを、自動検出します。

「装置情報取得」をクリックする前に、情報を取得している場合があります。



ご注意)

「装置情報取得」右に「成功」と表示されていれば、オプションは自動検出しております。

- 6 装置オプションを設定して「OK」をクリックすると、有効になります。オプションを有効にすることで、それらのオプションに対応する機能がプリンタードライバーで使用可能になります。

3.2 インストール（Mac OS Xの場合）

3.2.1 プリンタードライバーソフトウェアのインストール

本ソフトウェアはWindowsとMacintoshに対応したハイブリッドCD-ROMで配布されています。

CD-ROMにはサポートされている言語ごとにフォルダが分かれていて、それぞれに、Mac OS 9 と Mac OS X のドライバーが含まれています。

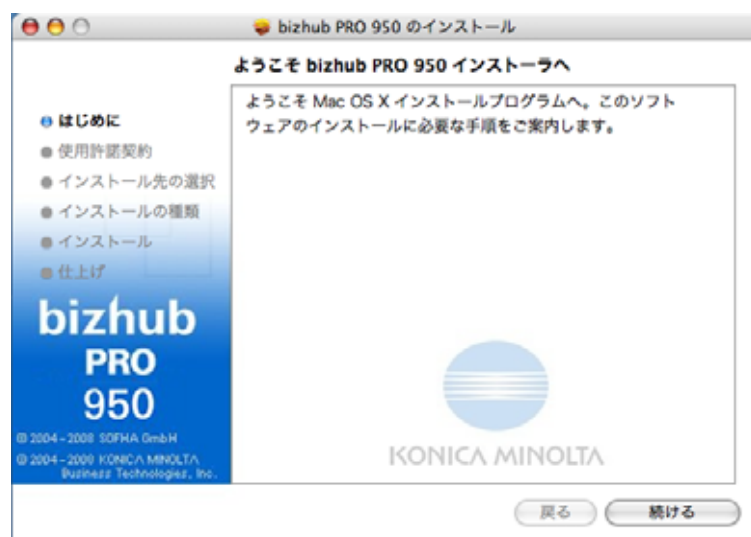
1 [OS10_X] フォルダをダブルクリックします。

Mac OS X プリンタードライバーは、全言語に対応したソフトウェアを含んだインストーラーパッケージで提供されています。

2 [bizhub PRO 950.pkg] をダブルクリックします。

3 [続ける] をクリックします。

以降はインストーラーの指示に従ってインストールを行うとインストールが完了します。



プリンターのインストール (Mac OS 10.4/10.5)

Bonjour、AppleTalk、LPR(LPD)、IPPで接続できます。

コピー機のネットワーク設定を行ったあと、[プリントとファクス] で使用するプリンターとして選択すると、印刷が可能になります。

Bonjourを設定する

コピー機のBonjour設定

コピー機の [Bonjour設定] でBonjourを [有効] に設定し、Bonjour名を入力しておきます。

コピー機のBonjour設定については、ユーザズガイド(POD管理者編)を参照してください。

プリンターの追加

- 1 アップルメニューの [システム環境設定] を選択します。
- 2 [プリントとファクス] を選択します。
- 3 画面左下にある [＋] をクリックします。
- 4 接続されているプリンターが検出されますので、[デフォルト (ブラウザ)] タブから目的のプリンター名と接続(Bonjour)を選択します。
- 5 OS 10.5 では、画面下の [ドライバ] で [使用するドライバを選択...] を選択し、一覧表から [KONICA MINOLTA950PS(Plug)J] を選択し、[追加] をクリックします。

OS 10.4 では、[使用するドライバ] で「KONICA MINOLTA」を選択し、機種一覧から [KONICA MINOLTA950PS(Plug)J] を選択して [追加] をクリックします。



ワンポイントアドバイス)

OS 10.5 では、検索用のテキストボックス内に、[KONICA MINOLTA] と入力すれば、簡単にドライバーを見つけ出すことができます。

- 6 [インストール可能なオプション] が表示されますので、[続ける] をクリックします。

7 [プリントとファクス] に登録されると、設定は終了です。

AppleTalkを設定する

コピー機のAppleTalk設定

コピー機の [AppleTalk設定] でAppleTalkを使用可能に設定し、プリンター名を入力しておきます。

コピー機のAppleTalk設定については、ユーザーズガイド(POD管理者編)をご覧ください。

コンピュータ (Macintosh) のAppleTalk設定

接続しているMacintoshでAppleTalkを設定します。

- 1** アップルメニューの [システム環境設定] を選択します。
- 2** [ネットワーク] アイコンをクリックします。
- 3** [内蔵 Ethernet] を選択し、[詳細] をクリックします。
- 4** [AppleTalk] タブをクリックし、[AppleTalk を有効にする] チェックボックスを ON にします。
- 5** [(今すぐ) OK] をクリックします。
- 6** [適用] ボタンをクリックします。
- 7** 画面左上のクローズボタン [×] をクリックします。

プリンターの追加

- 1 アップルメニューの [システム環境設定] を選択します。
- 2 [プリントとファクス] を選択します。
- 3 画面左下にある [＋] をクリックします。
- 4 接続されているプリンターが検出されますので、[デフォルト] タブから目的のプリンター名と接続(AppleTalk)を選択します。



ワンポイントアドバイス)

OS 10.5 では、[AppleTalk] タブからでも設定が可能で、画面上に検出されたプリンターから目的のプリンター名を選択します。

- 5 OS 10.5 では、画面下の [ドライバ] で [使用するドライバを選択...] を選択し、一覧表から [KONICA MINOLTA950PS(Plug)J] を選択し、[追加] をクリックします。

OS 10.4 では、[使用するドライバ] で「KONICA MINOLTA」を選択し、機種一覧から [KONICA MINOLTA950PS(Plug)J] を選択して [追加] をクリックします。



ワンポイントアドバイス)

OS 10.5 では、検索用のテキストボックス内に、[KONICA MINOLTA] と入力すれば、簡単にドライバーを見つけ出すことができます。

- 6 [インストール可能なオプション] が表示されますので、[続ける] をクリックします。
- 7 [プリントとファクス] に登録されると、設定は終了です。

LPRを設定する

コピー機のTCP/IP設定

コピー機のIPアドレスを設定しておきます。

コピー機のLPD設定

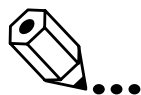
コピー機の「LPD設定」でLPD印刷を使用可能に設定しておきます。

IPアドレスおよびLPR設定については、ユーザーズガイド(POD管理者編)を参照してください。

コンピューターのTCP/IP設定

接続しているMacintoshでTCP/IPを設定します。

- 1 アップルメニューの「システム環境設定」を選択します。
- 2 「ネットワーク」アイコンをクリックします。
- 3 「内蔵 Ethernet」を選択し、必要であれば、IP アドレスやサブネットマスクなどを設定します。



ワンポイントアドバイス)

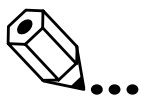
OS 10.5 では、[詳細] をクリックし、[TCP/IP] タブからもIPアドレスなどを設定することができます。

- 4 「〔今すぐ〕適用」をクリックします。
- 5 画面左上のクローズボタン [x] をクリックします。

プリンターの追加

- 1 アップルメニューの [システム環境設定] を選択します。
- 2 [プリントとファクス] を選択します。
- 3 画面左下にある [＋] をクリックします。
- 4 [IP (プリンタ)] タブをクリックし、[プロトコル] を [LPD(Line Printer Daemon)] に設定します。
- 5 [アドレス] に出力デバイスの IP アドレスを入力します。
- 6 OS 10.5 では、画面下の [ドライバ] で [使用するドライバを選択...] を選択し、一覧表から [KONICA MINOLTA950PS(Plug)J] を選択し、[追加] をクリックします。

OS 10.4 では、[使用するドライバ] で「KONICA MINOLTA」を選択し、機種一覧から [KONICA MINOLTA950PS(Plug)J] を選択して [追加] をクリックします。



ワンポイントアドバイス)

OS 10.5 では、検索用のテキストボックス内に、[KONICA MINOLTA] と入力すれば、簡単にドライバーを見つけ出すことができます。

- 7 [インストール可能なオプション] が表示されますので、[続ける] をクリックします。
- 8 [プリントとファクス] に登録されると、設定は終了です。

IPPを設定する

コピー機のTCP/IPおよびIPP設定

コピー機のTCP/IP設定

コピー機のIPアドレスを設定しておきます。

コピー機のIPP設定

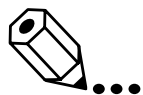
コピー機の [IPP設定] でIPP印刷を使用可能に設定しておきます。

IPアドレスおよびIPP設定については、ユーザーズガイド(POD管理者編)を参照してください。

コンピューターのTCP/IP設定

接続しているMacintoshでTCP/IPを設定します。

- 1 アップルメニューの [システム環境設定] を選択します。
- 2 [ネットワーク] アイコンをクリックします。
- 3 [内蔵 Ethernet] を選択し、必要であれば、IP アドレスやサブネットマスクなどを設定します。



ワンポイントアドバイス)

OS 10.5 では、[詳細] をクリックし、[TCP/IP] タブからもIPアドレスなどを設定することができます。

- 4 [(今すぐ) 適用] をクリックします。
- 5 画面左上のクローズボタン [x] をクリックします。

プリンターの追加

- 1 アップルメニューの [システム環境設定] を選択します。
- 2 [プリントとファクス] を選択します。
- 3 画面左下にある [＋] をクリックします。
- 4 [IP (プリンタ)] タブをクリックし、[プロトコル] を [IPP(Internet Printing Protocol)] に設定します。
- 5 [アドレス] に出力デバイスの IP アドレスを入力します。
- 6 [キュー] に [ipp] と入力します。
- 7 OS 10.5 では、[ドライバ] で [使用するドライバを選択...] を選択し、一覧表から [KONICA MINOLTA950PS(PlugJ)] を選択し、[追加] をクリックします。

OS 10.4 では、[使用するドライバ (プリンタの機種)] で「KONICA MINOLTA」を選択し、機種一覧から [KONICA MINOLTA950PS(PlugJ)] を選択して [追加] をクリックします。



ワンポイントアドバイス)

OS 10.5 では、検索用のテキストボックス内に、[KONICA MINOLTA] と入力すれば、簡単にドライバーを見つけ出すことができます。

- 8 [インストール可能なオプション] が表示されますので、[続ける] をクリックします。
- 9 [プリントとファクス] に登録されると、設定は終了です。

プリンターのインストール(Mac OS 10.3)

Rendezvous(Bonjour)、AppleTalk、LPR(LPD)、IPP で接続できます。

コピー機のネットワーク設定を行ったあと、[プリントとファクス] で使用するプリンターとして選択すると、印刷が可能になります。

Rendezvousを設定する

コピー機のRendezvous設定

コピー機の [Bonjour 設定] でBonjour を [有効] に設定し、Bonjour名を入力しておきます。

コピー機のBonjour 設定については、ユーザズガイド(POD 管理者編)を参照してください。

プリンターの追加

- 1 [Macintosh HD] - [アプリケーション] - [ユーティリティ] を選択します。
- 2 [プリンタ設定ユーティリティ (プリントセンター)] を選択します。
- 3 「プリンタの追加」画面が表示された場合は、[追加]をクリックします。プリンタリストが表示された場合は、[追加] をクリックします。
- 4 [Rendezvous] を選択し、目的のプリンター名を選択します。
- 5 [プリンタの機種] で「KONICA MINOLTA」を選択し、機種一覧から [KONICA MINOLTA950PS(Plug)J] を選択して [追加] をクリックします。
- 6 [プリンタリスト] に登録されると、設定は終了です。

AppleTalk を設定する

コピー機のAppleTalk 設定

コピー機の [AppleTalk 設定] で AppleTalk を使用可能に設定し、プリンター名を入力しておきます。

コピー機の AppleTalk 設定については、ユーザズガイド(POD 管理者編)をごらんください。

コンピュータ(Macintosh)のAppleTalk 設定

接続している Macintosh で AppleTalk を設定します。

- 1 アップルメニューの [システム環境設定] を選択します。
- 2 [ネットワーク] アイコンをクリックします。
- 3 [内蔵 Ethernet] を選択します。
- 4 [AppleTalk] タブをクリックし、[AppleTalk を有効にする (使用)] チェックボックスを ON にします。
- 5 [OK] をクリックします。
- 6 [今すぐ適用] ボタンをクリックします。
- 7 画面左上のクローズボタン [x] をクリックします。

プリンターの追加

- 1 [Macintosh HD] - [アプリケーション] - [ユーティリティ] を選択します。
- 2 [プリンタ設定ユーティリティ (プリントセンター)] を選択します。
- 3 「プリンタの追加」画面が表示された場合は、[追加] をクリックします。プリンタリストが表示された場合は、[追加] をクリックします。
- 4 [AppleTalk] を選択し、目的のプリンター名を選択します。
- 5 [プリンタの機種] で「KONICA MINOLTA」を選択し、機種一覧から [KONICA MINOLTA950PS(Plug)J] を選択して [追加] をクリックします。

- 6** [プリンタリスト] に登録されると、設定は終了です。

LPR を設定する

コピー機のTCP/IP 設定

コピー機のIP アドレスを設定しておきます。

コピー機のLPD 設定

コピー機の [LPD 設定] でLPD 印刷を使用可能に設定しておきます。

IP アドレスおよびLPR 設定については、ユーザズガイド(POD 管理者編)を参照してください。

コンピューターのTCP/IP 設定

接続しているMacintosh でTCP/IP を設定します。

- 1** アップルメニューの [システム環境設定] を選択します。
- 2** [ネットワーク] アイコンをクリックします。
- 3** [内蔵 Ethernet] を選択し、必要であれば、IP アドレスやサブネットマスクなどを設定します。
- 4** [今すぐ適用] ボタンをクリックします。
- 5** 画面左上のクローズボタン [x] をクリックします。

プリンターの追加

- 1** [Macintosh HD] - [アプリケーション] - [ユーティリティ] を選択します。
- 2** [プリンタ設定ユーティリティ (プリントセンター)] を選択します。
- 3** 「プリンタの追加」画面が表示された場合は、[追加] をクリックします。プリンタリストが表示された場合は、[追加] をクリックします。
- 4** [IP プリント] を選択します。
- 5** [プリンタのタイプ] から [LPD/LPR] を選択します、
- 6** [プリンタのアドレス] にコピー機の IP アドレスを入力します。

- 7 [プリンタの機種] で「KONICA MINOLTA」を選択し、機種一覧から [KONICA MINOLTA950PS(Plug)J] を選択して [追加] をクリックします。
- 8 [プリンタリスト] に登録されると、設定は終了です。

IPP を設定する

コピー機のTCP/IP およびIPP 設定

コピー機のTCP/IP 設定

コピー機のIP アドレスを設定しておきます。

コピー機のIPP 設定

コピー機の [IPP 設定] でIPP 印刷を使用可能に設定しておきます。IP アドレスおよびIPP 設定については、ユーザズガイド(POD 管理者編)を参照してください。

コンピューターのTCP/IP 設定

接続しているMacintosh でTCP/IP を設定します。

- 1 アップルメニューの [システム環境設定] を選択します。
- 2 [ネットワーク] アイコンをクリックします。
- 3 [内蔵 Ethernet] を選択し、必要であれば、IP アドレスやサブネットマスクなどを設定します。
- 4 [今すぐ適用] ボタンをクリックします。
- 5 画面左上のクローズボタン [×] をクリックします。

プリンターの追加

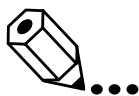
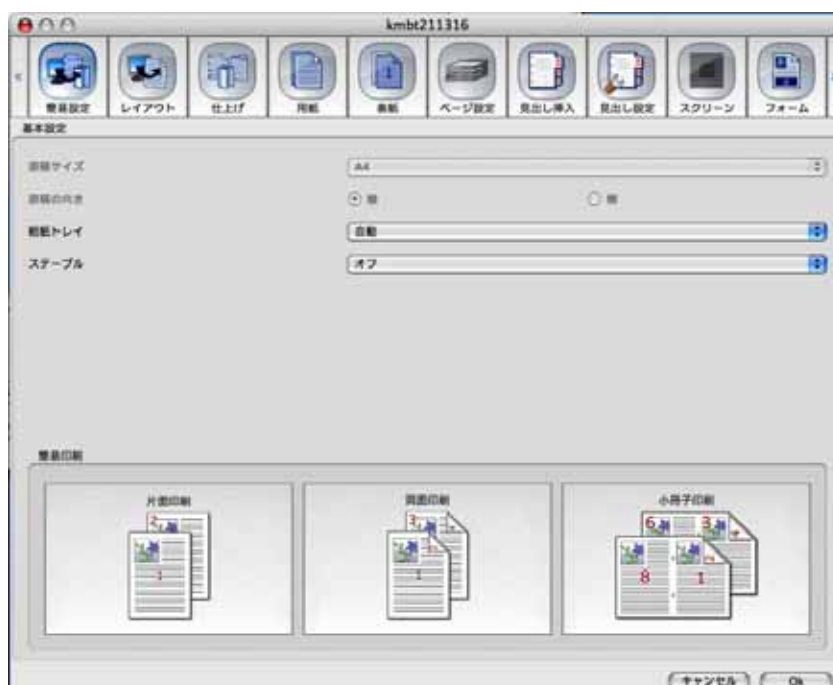
- 1 [Macintosh HD] - [アプリケーション] - [ユーティリティ] を選択します。
- 2 [プリンタ設定ユーティリティ (プリントセンター)] を選択します。
- 3 「プリンタの追加」画面が表示された場合は、[追加] をクリックします。プリンタリストが表示された場合は、[追加] をクリックします。
- 4 [IP プrint] を選択します。
- 5 [プリンタのタイプ] から [IPP(Internet Printing Protocol)] を選択します。

- 6 [プリンタのアドレス] にコピー機の IP アドレスを入力します。
- 7 [プリンタの機種] で「KONICA MINOLTA」を選択し、機種一覧から [KONICA MINOLTA950PS(Plug)J] を選択して [追加] をクリックします。
- 8 [プリンタリスト] に登録されると、設定は終了です。

3.2.2 インストール可能なオプション

インストール可能なオプションを使用して、Mac上のプリンタードライバーのユーザーインターフェースをカスタマイズして、bizhub PRO 950 でサポートされていない機能を不用意に選択しないようにできます。インストール可能なオプションによって、使用可能なオプション（給紙ユニットやステープルなど）を指定します。プリンタードライバーでオプションを使用可能にするには、該当のインストール可能なオプションを有効にする必要があります。

- 1 アプリケーションのプリント画面から [印刷部数と印刷ページ] をクリックし、プルダウンメニューから [bizhub PRO 950] を選択します。
- 2 表示された画面で [設定] をクリックしてプリンタードライバープラグイン画面を表示できます。



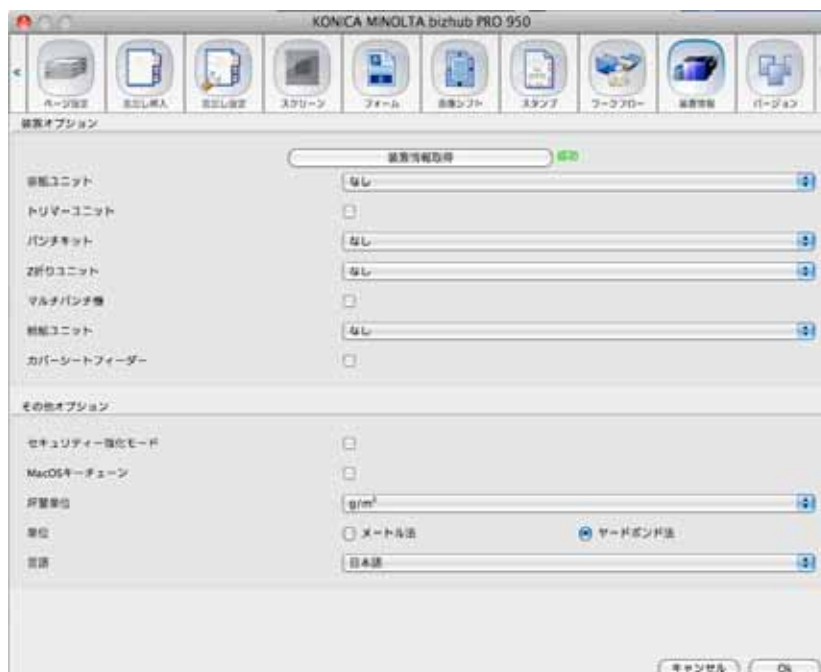
ご注意)

プリンタードライバープラグイン画面は、画面上部のタブをクリックすることで、それぞれの画面を表示できます。

- 3 画面右上の  をクリックして [装置情報] を選択します。

- 4 「装置情報取得」をクリックすると、自動的にbizhub PRO 950 に装着しているオプションを、自動検出します。

「装置情報取得」をクリックする前に、情報を取得している場合があります。



ご注意)

「装置情報取得」右に「成功」と表示されていれば、オプションは自動検出しております。

3.3 インストール（Mac OS 9 の場合）

3.3.1 プリンタードライバーソフトウェアのインストール

本ソフトウェアはWindowsとMacintoshに対応したハイブリッドCD-ROMで配布されています。

CD-ROMにはサポートされている言語ごとにフォルダが分かれていて、それぞれに、Mac OS 9 とMac OS Xのドライバーが含まれています。

- 1 CD-ROM をセットし、CD アイコンを開き、[OS9_X] を開きます。



ご注意)

プリンタードライバープラグインをインストールする前にAdobePS 8.8 がインストールされていることを確認してください。

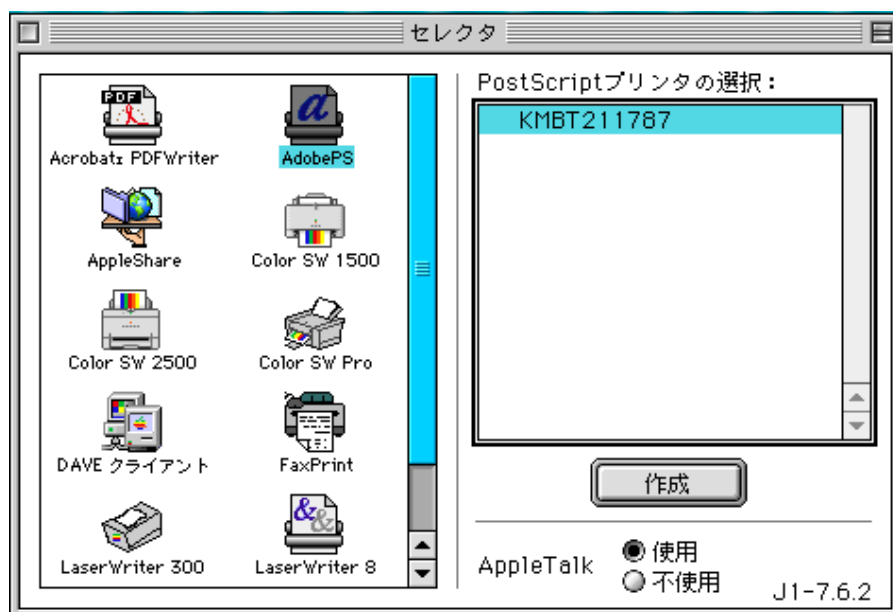
Adobe PSプリンタードライバーは、<http://www.adobe.com/jp/> からダウンロードできます。

- 2 [bizhub PRO 950] アイコンをダブルクリックして、bizhub PRO 950 ソフトウェアをインストールします。

3.3.2 プリンターのインストール

Adobe PSプリンタードライバーとbizhub PRO 950 プリンタードライバーソフトウェアをインストールしたら、使用するプリンターを選択します。

- 1 プリンターを選択するには、[セクタ]を開いて[AdobePS]を選択します。ネットワークでゾーンが有効になっている場合は、bizhub PRO 950 用のゾーンを選択します。



- 2 PostScriptプリンターのリストからプリンターを選択して、[作成]をクリックします。

プリンター用のデスクトッププリンターが作られます。



ご注意)

プリンターに対応したPPDファイルが自動的に選択されます。PPDが自動的に選択されない場合は、プリンタードライバーがインストールされていない可能性があります。その場合はプリンタードライバーをインストールしてください。

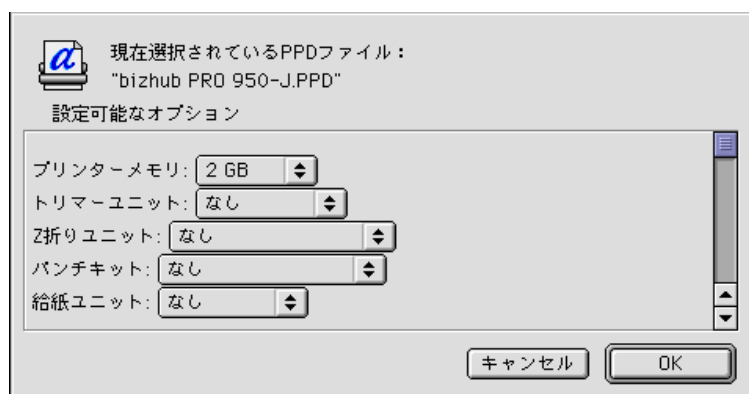
3.3.3 インストール可能なオプション - Macintosh (MacOS 9)

インストール可能なオプションを使用して、Mac上のプリンタードライバーのユーザーインターフェースをカスタマイズして、bizhub PRO 950 でサポートされていない機能を不用意に選択しないようにできます。インストール可能なオプションによって、使用可能なオプションアクセサリ（給紙ユニットやパンチユニットなど）を指定します。プリンタードライバーでアクセサリを使用可能にするには、該当のインストール可能なオプションを有効にする必要があります。

- 1 インストール可能なオプションを設定するには、[セクタ] でプリンターを選択して、[再設定] をクリックします。
- 2 [再設定] ダイアログで [オプションの構成] をクリックします。



- 3 オプションを設定して [OK] をクリックします。



4 プリンタードライバーのアンインストール

4.1 Windows

プリンタードライバーをアンインストールする前にプリンターを使用しているアプリケーションを終了してください。

- 1 [スタート] メニューを選択し、[プリンタと FAX] を選択します。

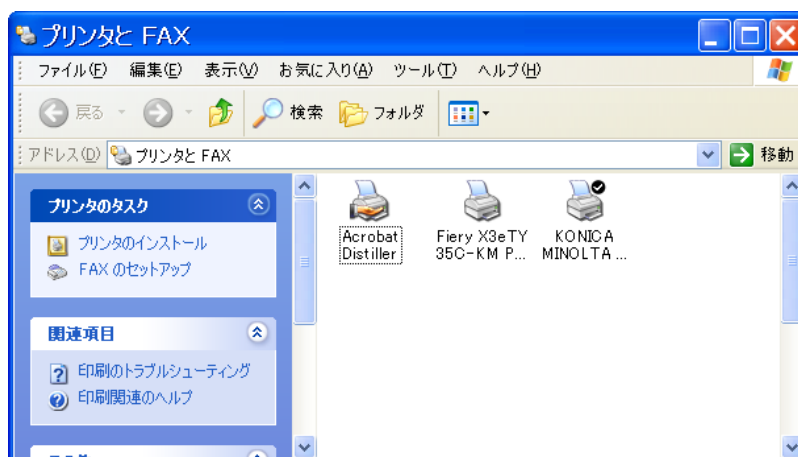


ご注意)

Windows XP 以外の場合は、[スタート] メニュー>> [設定] >> [プリンタ] を選択します。

[KONICA MINOLTA 950 PS (Plug-in)] を右クリックして [プロパティ] を選択します。

- 2 削除するプリンターのアイコンを右クリックして[削除]を選択します。



チェックマークの付いているプリンターアイコンは、[通常使うプリンタに設定] に設定されています。[通常使うプリンタに設定] に設定されているプリンターを削除する場合は、確認メッセージが表示され、他のプリンターが [通常使うプリンタに設定] に設定されます。

- 3 [ファイル] メニューから [サーバーのプロパティ] を選択します。

4 [ドライバ] タブを選択し、該当するプリンターを選択します。



5 [削除] をクリックします。

プリンタードライバーが削除されます。

Printer Installerとパッケージファイルを削除するには、Printer Installerのフォルダ内の”uninst.exe”をダブルクリックするか、コントロールパネルから [プログラムの追加と削除] を選択し、リストから [KONICA MINOLTA bizhub PRO 950 PS(Plug)] 選択して [削除] をクリックします。

いずれもアンインストールプログラムが起動し、画面にしたがってアンインストールを行います。

4.2 Mac OS X

プリンタードライバーをアンインストールするには、コンピューターから関連ファイルを削除します。

Mac OS 10.5/10.4 の場合

- 1 アップルメニューの「システム環境設定」を選択します。
- 2 「プリントとファクス」を選択します。
- 3 削除するプリンター名を選択し、画面左下にある「－」をクリックします。
- 4 OS 10.5 では、確認メッセージが表示されたら、「OK」をクリックします。
選択したプリンターが削除されます。
- 5 画面左上のクローズボタン「×」をクリックします。
「プリントとファクス」を閉じます。
- 6 インストールした「HDD」の「ライブラリ」 - 「Printers」 - 「PPDs」 - 「Contents」 - 「Resources」内の以下のファイルを「ゴミ箱」へドラッグします。
KOI950J.ppd
KOI950_.ppd
- 7 「ライブラリ」 - 「Printers」 - 「KONICA_MINOLTA」内の以下のファイルを「ゴミ箱」へドラッグします。
Filters/pstobizhub_PRO_950
PDEs/bizhub_PRO_950.plugin
Printer Icons/bizhub_PRO_950.icns
- 8 「ライブラリ」 - 「Receipts」内の以下のファイルを「ゴミ箱」へドラッグします。
bizhub PRO 950.pkg
- 9 コンピューターを再起動します。

Mac OS 10.3 の場合

- 1 「Macintosh HD」-「アプリケーション」-「ユーティリティ」を選択します。
- 2 「プリンタ設定ユーティリティ（プリントセンター）」を選択します。
- 3 削除するプリンター名を選択し、[削除] をクリックします。
選択したプリンターが削除されます。
- 4 「プリンタリスト」を閉じます。
- 5 インストールした「HDD」の「ライブラリ」-「Printers」-「PPDs」-「Contents」-「Resources」内の以下のファイルを [ゴミ箱] へドラッグします。
KOI950J.ppd
KOI950_.ppd
- 6 「ライブラリ」-「Printers」-「KONICA_MINOLTA」内の以下のファイルを [ゴミ箱] へドラッグします。
Filters/pstobizhub_PRO_950
Printer Icons/bizhub_PRO_950.icns
PDEs/bizhub_PRO_950.plugin
- 7 「ライブラリ」-「Receipts」内の以下のファイルを [ゴミ箱] へドラッグします。
bizhub PRO 950.pkg
- 8 コンピューターを再起動します。

4.3 Mas OS 9

プリンタードライバーをアンインストールするには、コンピューターから関連ファイルを削除します。

- 1 デスクトップから [KONICA MINOLTA bizhub PRO 950 PS] プリンターアイコンを選択し、[ゴミ箱] にドラッグして削除します。
- 2 ハードディスクアイコンをクリックします。
- 3 [システムフォルダ] をダブルクリックします。
- 4 [初期設定] をダブルクリックし、[bizhub PRO 950 Prefs] を [ゴミ箱] にドラッグして削除します。
- 5 [システムフォルダ] に戻って [機能拡張] フォルダをダブルクリックし、[プリンタ記述ファイル] を開きます。
- 6 [bizhub PRO 950.ppd] を [ゴミ箱] にドラッグして削除します。
- 7 コンピューターを再起動します。

5 基本的な印刷方法とプリンターの機能

本章ではアプリケーションからの基本的な印刷方法について説明しています。

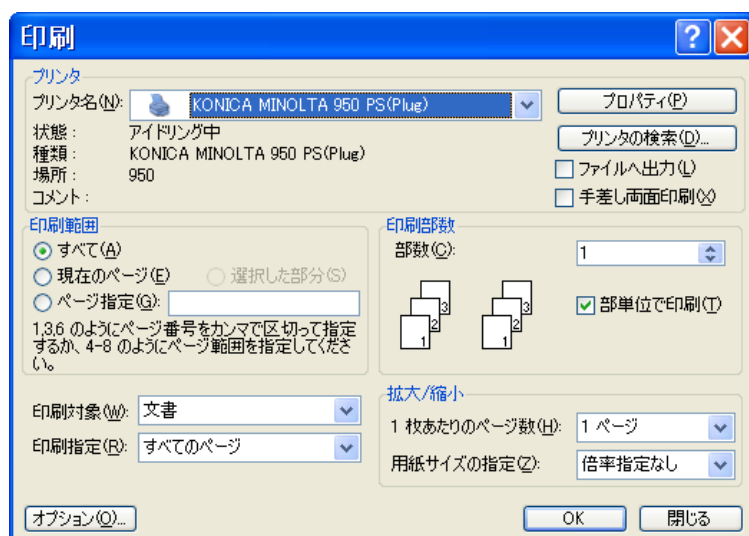
5.1 基本的な印刷方法

5.1.1 基本的な印刷方法（Windowsの場合）

Windowsからの基本的な印刷方法を説明します。

- ✓ プリント画面はアプリケーションによって異なります。ここでは、Microsoft Word または メモ帳 を使って説明します。

- 1 [ファイル] メニューから [印刷] を選択します。
アプリケーションによって、設定する方法が異なります。
- 2 [プリンタ名] からプリンターを選択します。



- 3 プリンターの詳細設定をしたい場合は[プロパティ]をクリックします。

- 4 必要に応じて印刷の設定をし、[OK] をクリックします。



印刷画面に戻ります。

- 5 [OK] をクリックします。

プリントジョブはイメージコントローラーに送られて印刷されます。

5.1.2 基本的な印刷方法（Mac OS Xの場合）

Mac OS Xからの基本的な印刷方法を説明します。

アプリケーションから印刷するには、プリント画面からプリンタードライバーにアクセスします。プリンタードライバーは印刷情報（ページサイズ、用紙方向、部数、トレイ選択など）をPostScriptデータに書き出してプリンターに渡します。

- 1 [ファイル] メニューから [印刷] を選択します。
アプリケーションによって、設定する方法が異なります。
- 2 [プリンタ] から対応するプリンター名を選択します。



印刷設定を保存して、設定した印刷設定を呼び出すことができます。印刷設定を保存するには、印刷を設定してから [プリセット] から [別名で保存] を選択します。設定後はプルダウンメニューに保存した名称が表示されます。

3つ目のプルダウンメニューでは、プリンタードライバープラグインのパネルを含むプリント画面を選択できます。

- [印刷部数と印刷ページ]

印刷するページ範囲と部数を設定します。

- [給紙]

印刷に使用する給紙トレイを設定します。

[自動選択] は出力用紙、用紙方向、フィニッシャー機能にあわせてプリンターが自動的に給紙トレイを選択します。

用紙とトレイの設定について詳しくは、[用紙] パネルの項をごらんください。

**ご注意)**

先頭ページのみ別のトレイで印刷する場合は、このパネルの [先頭ページのみ] を使用せずに、プリンタードライバープラグインの [表紙] パネルまたは [ページ設定] パネルで設定してください。

詳しくは、[表紙] パネル または [ページ設定] パネルの項をごらんください。

- [用紙処理]

ページの順序を逆にして印刷したり、偶数または奇数ページのみを印刷したりすることができます。小冊子機能などを使用している場合は設定できません。詳しくは、[仕上げ] パネルの [フェイスアップ] をごらんください。

- [出力オプション]

[ファイルとして保存] チェックボックスをオンにすると、プリントジョブをファイル(PDFまたはPostScript)として書き出すことができます。ファイルとして書き出されたプリントジョブは別のプリンターで印刷することもできます。

**ご注意)**

PostScriptファイルを書き出した場合、CUPSフィルターが起動しないため、プリンタードライバープラグインで設定した機能が対応しない場合があります。

5.1.3 基本的な印刷方法（Mac OS 9 の場合）

- 1 [ファイル] メニューから [印刷] を選択します。
プリント画面のそれぞれのパネルで、目的のプリンターを選択できます。
プリント画面を表示すると、[一般設定] 画面が表示されます。
 - [一般設定]
印刷するページ範囲、部数、給紙トレイの選択、ページの順序を設定して印刷したりすることができます。
[自動選択] は出力用紙、用紙方向、フィニッシャー機能にあわせてプリンターが自動的に給紙トレイを選択します。
ページの順序を逆にして印刷する場合は、小冊子機能などを使用していると設定できません。



ご注意)

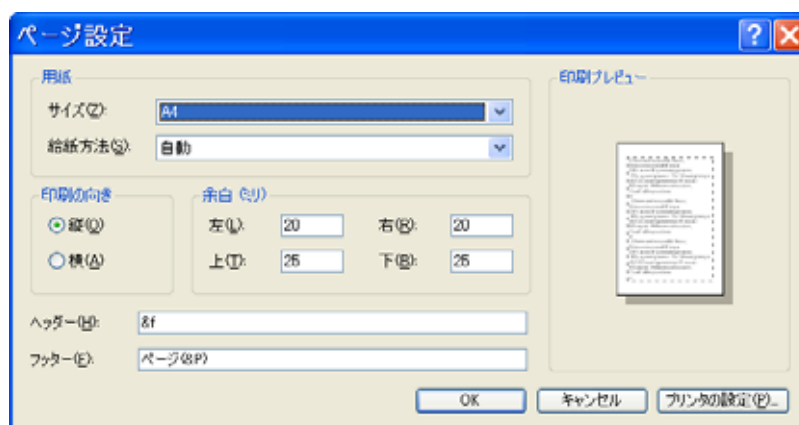
先頭ページのみ別のトレイで印刷する場合は、このパネルの [1 枚目] を使用せずに、プリンタードライバープラグインの [表紙] パネルまたは [ページ設定] パネルで設定してください。
詳しくは、[用紙] パネル または [ページ設定] パネルの項をごらんください。

- 2 印刷設定を保存するには、[設定の保存] をクリックします。
- 3 印刷するには [プリント] をクリックします。

5.2 基本的なプリンター機能

5.2.1 用紙サイズと用紙方向

- 1 ドキュメントを開いて [ファイル] メニューから [ページ設定] を選択します。
- 2 用紙サイズ、印刷の向きなどを設定して [プリンタの設定] をクリックします。

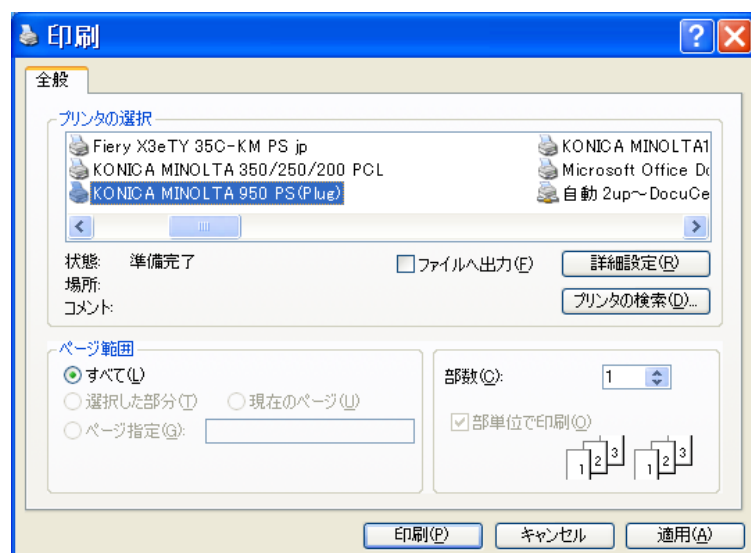


[プリンタ名] から”bizhub PRO 950”を選択し [OK] をクリックすると、プリンターで定義されている用紙サイズが表示されます。

詳細は、”用紙” (p.6-25) をごらんください。

5.2.2 複数の部数を印刷する

- 1 ドキュメントを開いて[ファイル]メニューから[印刷]を選択します。
- 2 [部数] フィールドに出力したい部数を入力します。



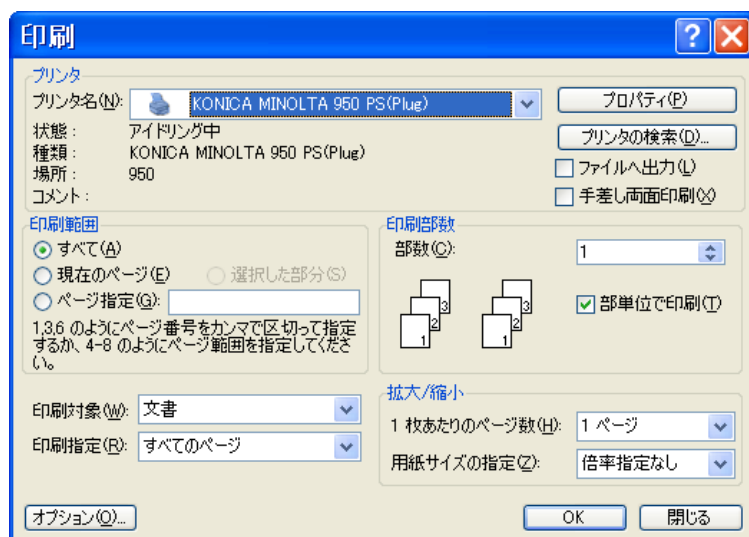
ご注意)

アプリケーションによっては[部単位で印刷]機能がありますが、プリンタードライバープラグインの[仕上げ]パネルの[ソート/グループ]機能をお使いください。

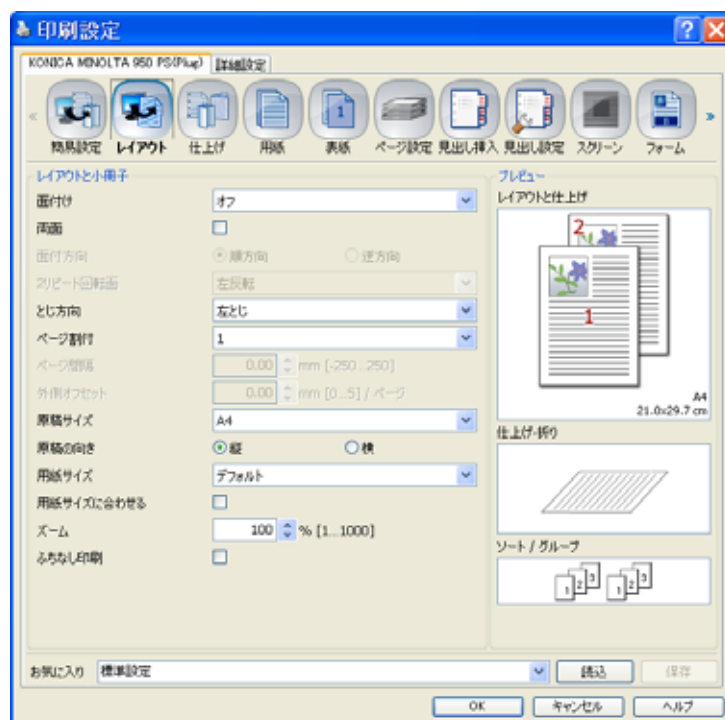
詳細は、"仕上げ" (p.6-19) をごらんください。

5.2.3 両面印刷

- 1 ドキュメントを開いて[ファイル]メニューから[印刷]を選択します。
- 2 プリンターを指定して[プロパティ]をクリックします。



- 3 [レイアウト] をクリックして [両面] をチェックします。

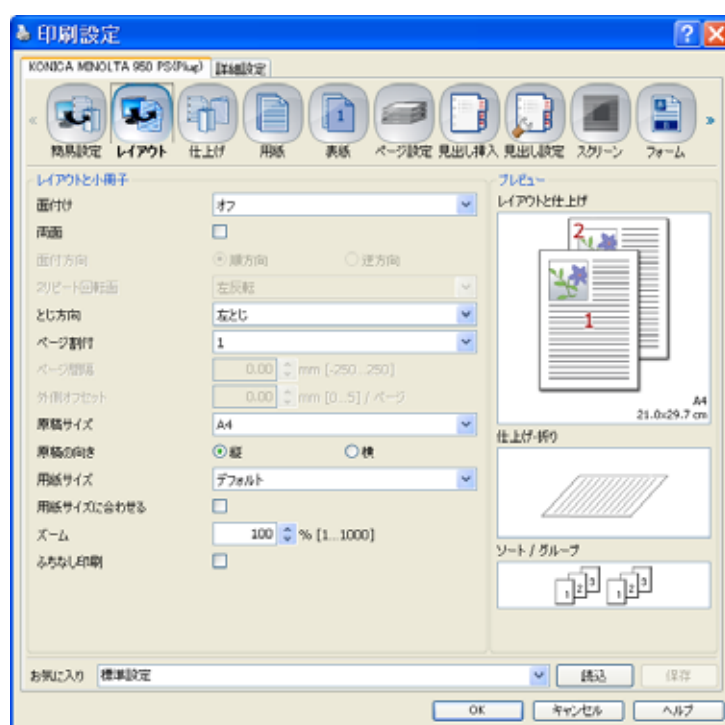


- 4 [OK]をクリックしてプリント画面に戻り、[印刷]をクリックします。

5.2.4 小冊子、ページ割付、その他の面付け機能

面付け機能を使って印刷するにはプリンタードライバープラグインの「レイアウト」パネルを表示させます。

- 1 プリント画面から「プロパティ」をクリックして、「レイアウト」をクリックします。



「面付け」：

オフ、無線とじ、小冊子、2 in 1、2 リピート、回転 2 リピート

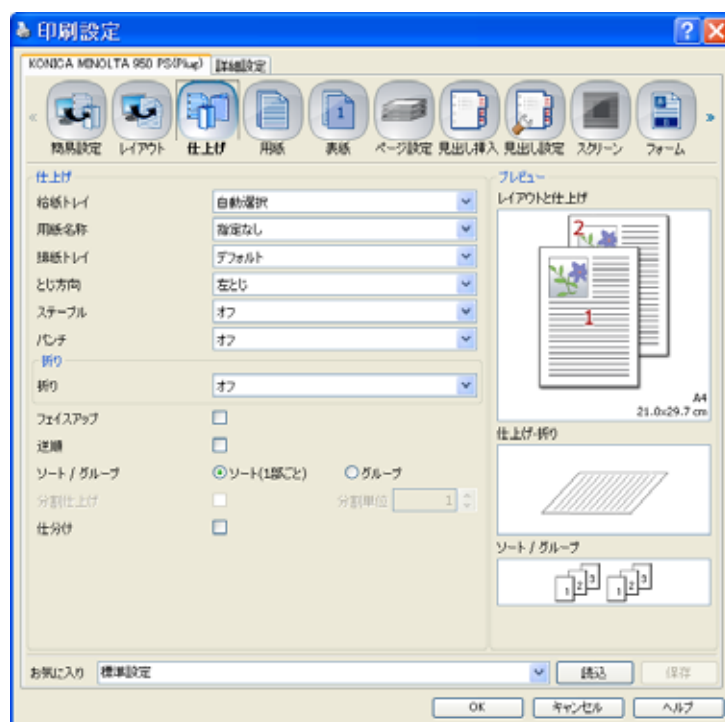
1 ページに、4 ページ分、8 ページ分または 16 ページ分を割り付けた場合は、「面付け」をオフに設定し、「ページ割付」のスライダを割り付けたい数値までスライドさせてください。詳細は、「レイアウト」（p.6-11）の「面付け」の項をごらんください。

画面右側のプレビューでは、現在のプリント設定がイメージとして表示されます。

5.2.5 給紙トレイの選択

指定したトレイから印刷するには、プリンタードライバープラグインの「仕上げ」パネルで設定します。

- 1 プリント画面から「プロパティ」をクリックして、「仕上げ」をクリックします。



- 2 「給紙トレイ」プルダウンメニューから給紙トレイを選択します。

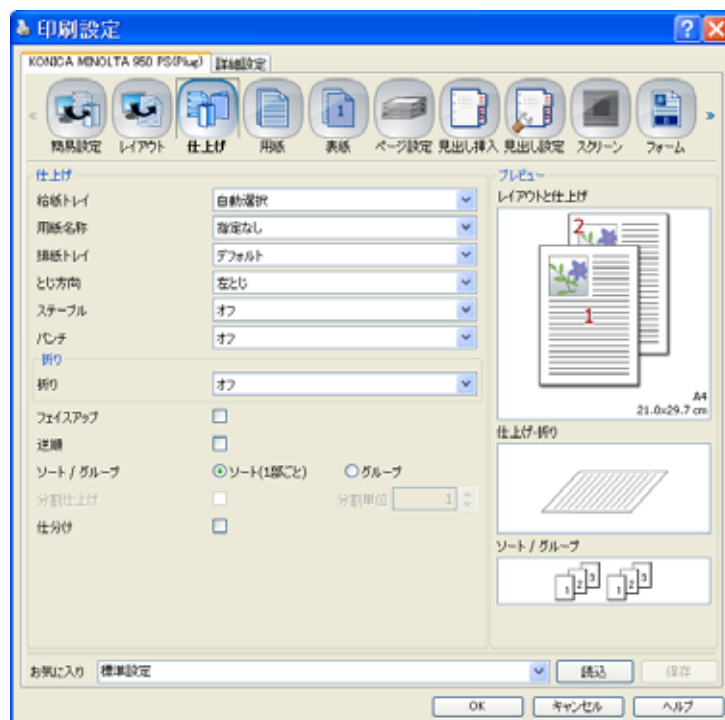
「自動選択」、「トレイ 1」～「トレイ 4」、「手差し」（装置オプションにより異なります）から選択できます。

対応した用紙がセットされているトレイかどうかを確認してください。

5.2.6 仕上げ機能

仕上げ機能はインストールされている装置オプションによって、ステープル機能、パンチ機能、折り機能を「仕上げ」パネルで設定できます。

〔とじ方向〕はステープルやパンチ穴の位置を、〔左とじ〕、〔右とじ〕、〔上とじ〕から指定します。

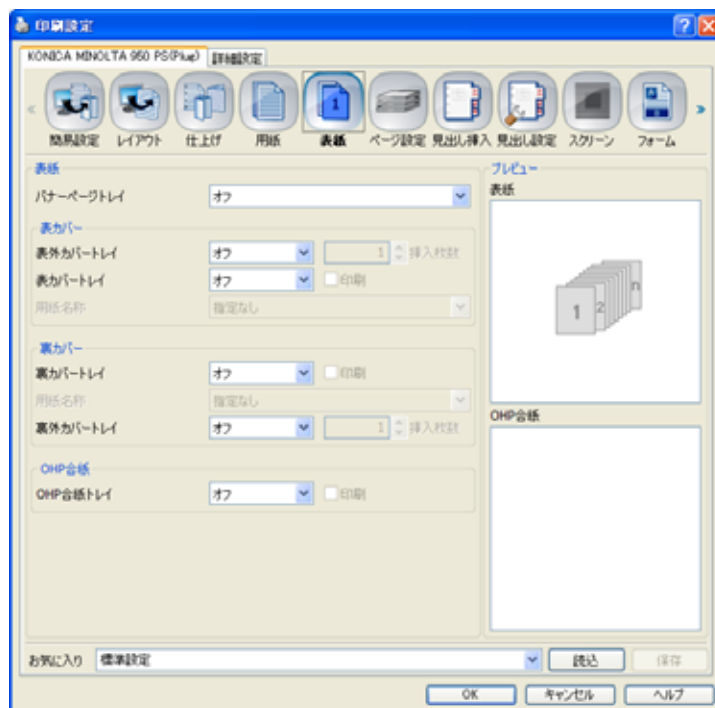


[仕上げ] についての詳細は、"仕上げ" (p.6-19) をご覧ください。

5.2.7 オモテ表紙、ウラ表紙

印刷するドキュメントに表紙を追加するには、プリンタードライバープラグインの「表紙」パネルで設定します。

- 1 プリント画面から「プロパティ」をクリックして、「表紙」をクリックします。



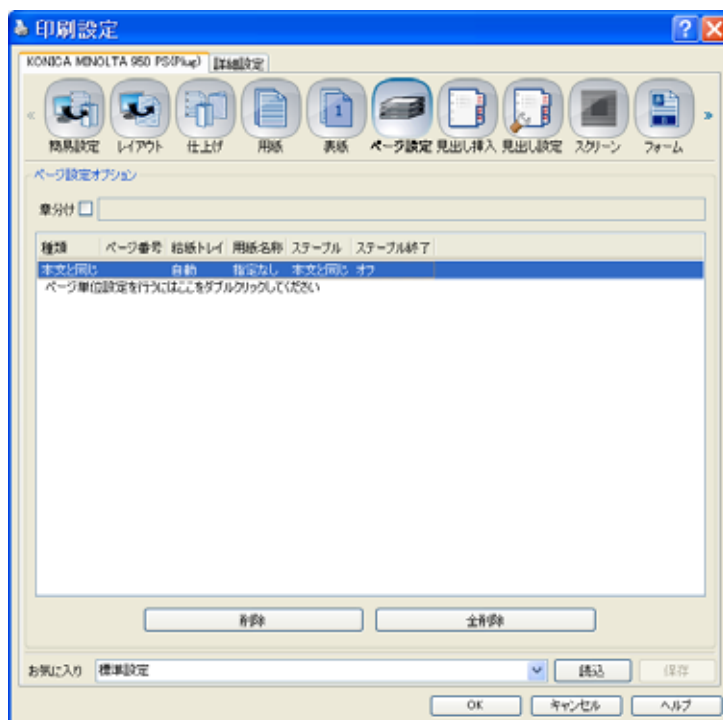
- 2 「表カバー」、[裏カバー] を設定します。
- 3 「表カバー」、[裏カバー] の用紙を選択します。
- 4 ドキュメントの内容を表紙にも印刷する場合は、「表カバー」、[裏カバー] の「印刷」にチェックします。

表紙についての詳細は、「表紙」(p.6-28) をごらんください。

5.2.8 挿入紙

挿入紙を設定するには、プリンタードライバープラグインの「ページ設定」パネルで設定します。

- 1 プリント画面から「プロパティ」をクリックして、「ページ設定」をクリックします。



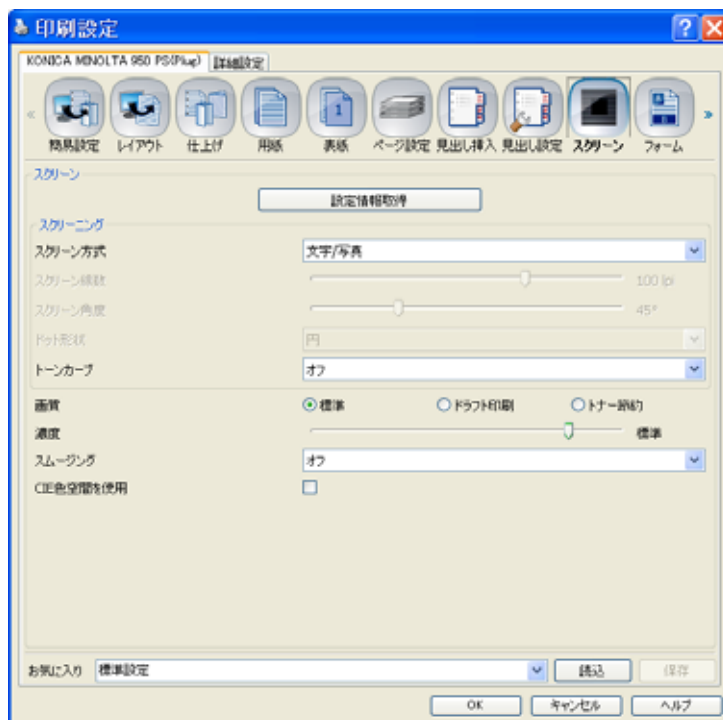
- 2 「用紙種類」の列に表示されている「新規追加」をダブルクリックします。
- 3 プルダウンメニューから挿入紙の「用紙種類」を選択します。（例：白紙挿入）
- 4 「ページ番号」の列をダブルクリックし、挿入するページ番号を指定します。
- 5 必要に応じて「給紙トレイ」、[用紙名称]の列をダブルクリックして、給紙トレイと用紙名称を指定します。

用紙名称についての詳細は、「用紙」（p.6-25）をごらんください。

5.2.9 画像品質とトナーセーブ

画像品質については、プリンタードライバープラグインの [スクリーン] パネルで設定します。

- 1 プリント画面から [プロパティ] をクリックして、[スクリーン] をクリックします。



必要に応じて [スクリーン線数] をスライダで指定します。(lpi: Line per inch) スクリーン線数が高ければ、きめ細かいラスタライズが可能です。が、階調度が低下します。

[スクリーン角度] はスクリーンの角度を調整します。通常は初期設定のままにしてください。

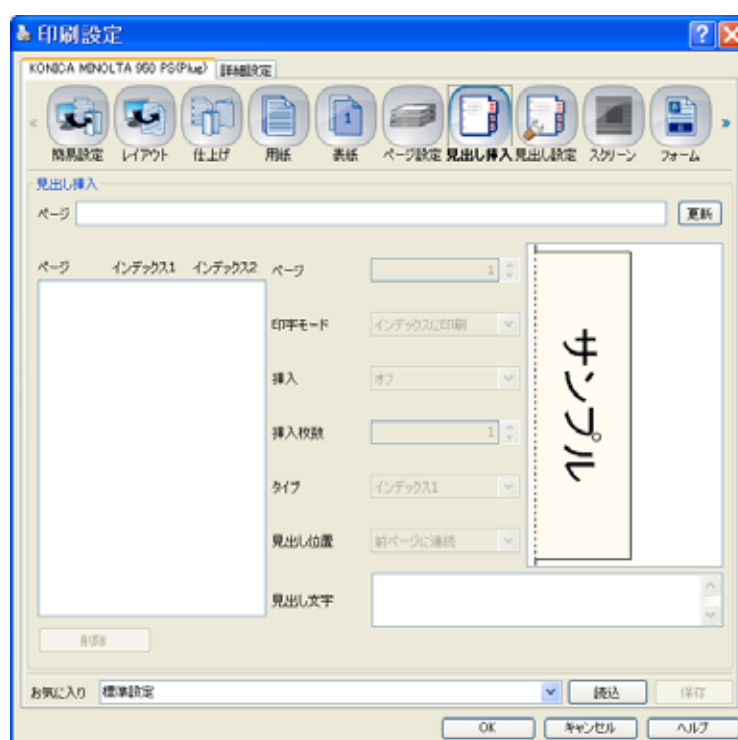
[画質] は使用するトナーの量を [標準]、[ドラフト印刷]、[トナー節約] から指定します。

スクリーンパネルの詳細については、「スクリーン」(p.6-37) をご覧ください。

5.2.10 インデックス紙

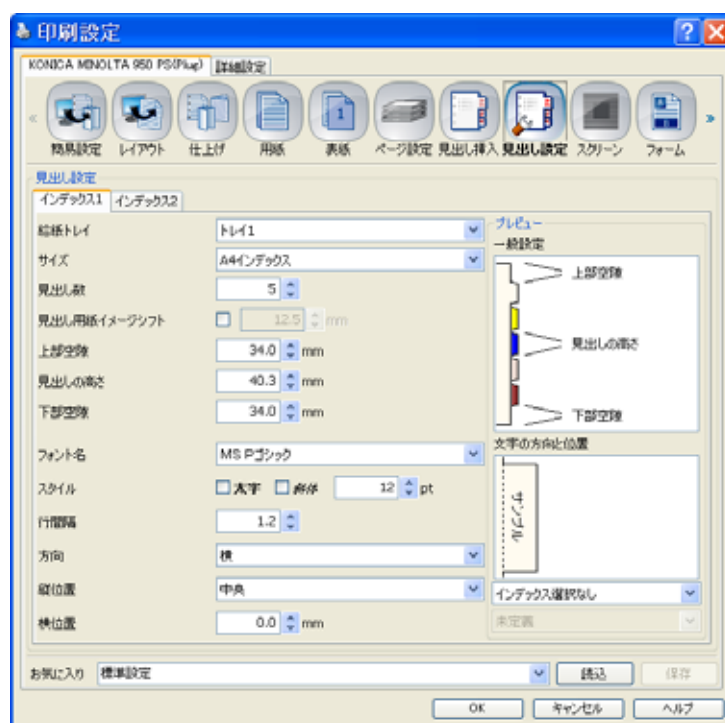
インデックス紙に印刷したり、空白のインデックス紙を挿入するには、ドライバープラグイン画面の「見出し挿入」パネルで設定します。

- 1 プリント画面から「プロパティ」をクリックして、「見出し挿入」をクリックします。



- 2 「ページ」フィールドにページ番号を入力します。
- 3 「更新」をクリックします。
「ページ」に指定したページが表示されます。
- 4 「印字モード」から「インデックスに印刷」または「本文に印刷」を選択します。
- 5 「タイプ」から「インデックス 1」または「インデックス 2」を選択します。
- 6 タブに文字を入れる場合は「見出し文字」テキストボックスに文字を入力します。（「インデックスに印刷」を選択している場合）
- 7 「見出し設定」をクリックして「見出し設定」パネルを表示します。

- 8 設定したインデックス紙の詳細を設定します。(フォントサイズ、フォントスタイルなど)



空白のタブを挿入したい場合は「見出し挿入」パネルに戻って、以下の手順を行います。

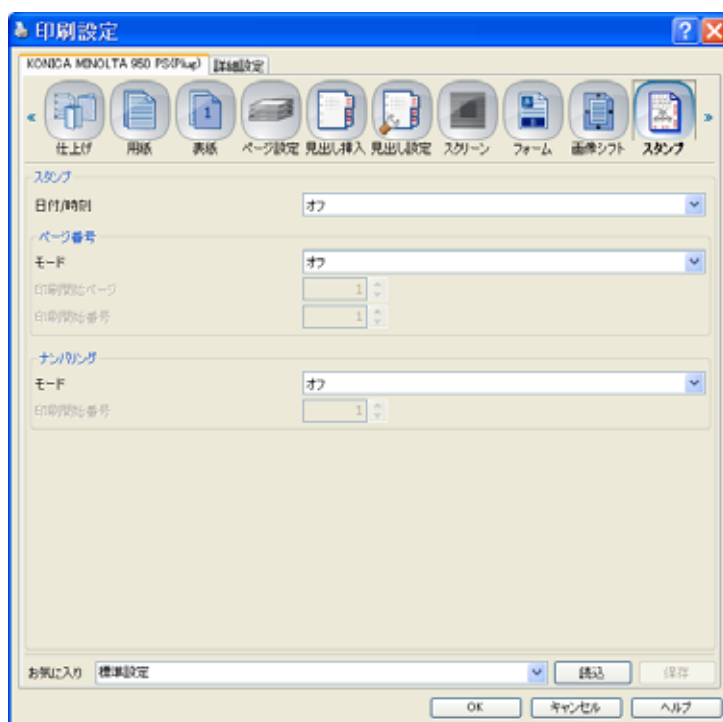
- 1 「ページ」フィールドにページ番号を入力し、「更新」をクリックします。
「ページ」に指定したページが表示されます。
- 2 「挿入」から「前に挿入」か「後に挿入」を選択します。
- 3 複数のインデックス紙を挿入する場合は、「挿入枚数」に部数を入力します。

インデックス紙についての詳細は、「見出し挿入」(p.6-32)をごらんください。

5.2.11 スタンプ機能

ページ番号、日付を設定するには、プリンタードライバプラグインの「スタンプ」パネルを表示します。

- 1 プリント画面から「プロパティ」をクリックして、 をクリックして、「スタンプ」を選択します。



「日付/時刻」:
印刷文書に日付/時刻を印刷します。(先頭ページのみ / 全ページ)

「ページ番号」:
印刷文書にページ番号を印刷します。(全ページ / 先頭ページ以外 / 先頭/最終ページ以外)
ページ番号の「印刷開始ページ」と「印刷番号」を設定します。

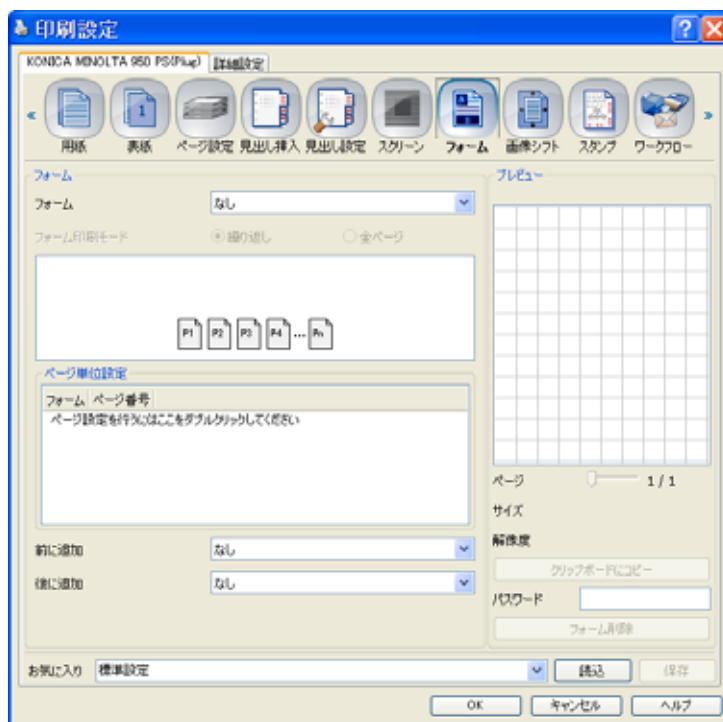
「ナンバリング」:
印刷文書に通し番号を入れて印刷します。(スタンプ (全ページ) / スタンプ (先頭ページのみ) / ウォーターマーク (全ページ))
通し番号の印刷開始番号を「印刷開始番号」で設定します。

スタンプ機能についての詳細は、「スタンプ」(p.6-46)をごらんください。

5.2.12 フォーム

オーバーレイとしてフォームを追加するには、プリンタードライバープラグイン画面の「フォーム」パネルで設定します。

- 1 プリント画面から「プロパティ」をクリックして、「フォーム」を選択します。



- 2 「フォーム」プルダウンメニューから、オーバーレイとして使用したいフォームを選択します。

「フォーム」プルダウンメニューには、プリンターに保存されているフォームのリストが表示されます。

画面右側のプレビューフォームの最初のページが表示されます。

フォームは先頭ページから開始されます。「フォーム印刷モード」の下にイメージで表示されます。

- 3 フォーム印刷モードとして「繰り返し」または「全ページ」を選択します。
- 4 「OK」をクリックし、プリント画面に戻ります。

フォームを先頭ページから適用せずにページを指定したい場合は、[ページ設定] を使用します。

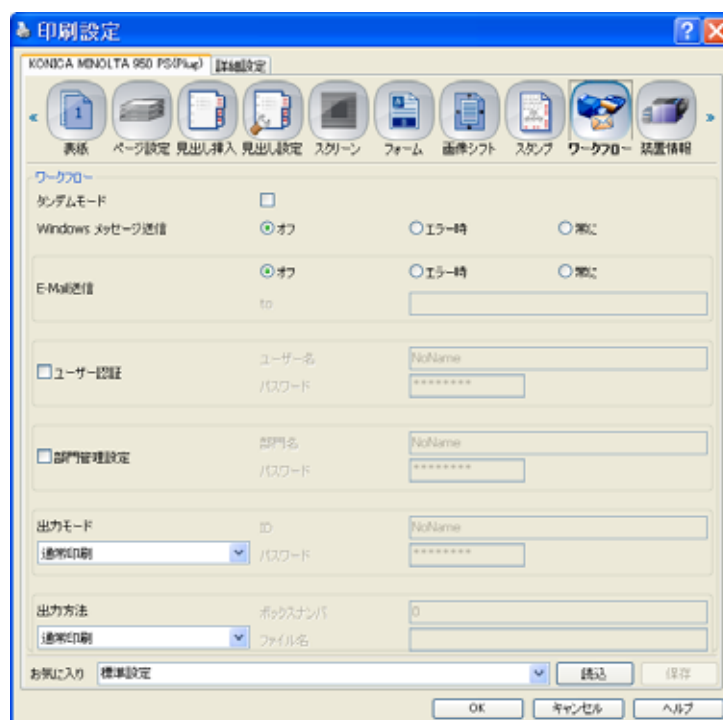
- 1 [ページ設定を行うにはここをクリックしてください]をダブルクリックしてフォームを選択します
- 2 同じ行で [ページ番号] の空欄の列をダブルクリックして、ページ番号またはページ範囲を入力（例：14-23）します。
- 3 [OK] をクリックし、プリント画面に戻ります。

フォームについての詳細は、"フォーム"（p.6-41）をごらんください。

5.2.13 プリントジョブの保存

プリントジョブをコピー機内蔵のハードディスクに画像として保存するには、プリンタードライバープラグインの「ワークフロー」パネルで設定します。

- 1 プリント画面から「プロパティ」をクリックして、をクリックして、「ワークフロー」を選択します



出力方法：

- 1 出力方法から「ボックス保存（&印刷）」を選択します。
- 2 ボックスナンバー（1～9 文字）とファイル名を入力します。
- 3 「OK」をクリックします。
- 4 プリント画面から「印刷」をクリックします。

プリントジョブがプリンターの共有フォルダに保存（または印刷されて保存）されます。

ジョブの保存については、「ワークフロー」（p.6-48）の「ジョブをボックスに保存するには」の項をごらんください。

5.2.14 セキュリティー印刷

親展印刷をしたい場合に、出力モードで「セキュリティ印刷」を選択します。



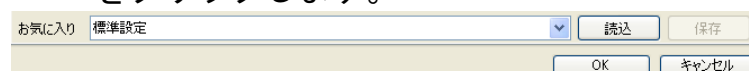
セキュリティ印刷はジョブにIDとパスワードを含みます。ジョブを印刷する場合にはこのIDとパスワードで識別されます。コピー機操作パネルから、IDとパスワードを入力することでジョブが印刷されます。

セキュリティ印刷についての詳細は、「ワークフロー」(p.6-48)の「出力モード」の項をごらんください。

5.2.15 プリンタードライバー設定を保存する

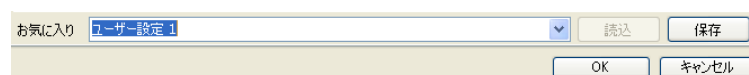
プリンタードライバーの設定を保存して、その設定を呼び出すことができます。

- 1 プリンタードライバープラグインの画面で、「お気に入り」プルダウンメニューをクリックします。



- 2 標準設定以外を選択します。

「保存」がアクティブになります。



- 3 「お気に入り」フィールドに設定を保存する名前を入力します。

- 4 「保存」をクリックします。

「お気に入り」プルダウンメニューから保存した名前を選択して、「読み込」をクリックすると設定内容が呼び出されます。

初期設定に戻すには「標準設定」を選択して「読み込」をクリックします。



ご注意)

セキュリティ印刷/ユーザー認証/部門管理設定/ボックスナンバーのIDとパスワードの設定は「標準設定」を読み込んでも初期設定に戻りません。

IDとパスワードの設定をクリアにするには、手動で上書き入力してください。詳細は、「ワークフロー」(p.6-48)をごらんください。

6 Windows での印刷

本章では、プリンターの設定、印刷のためのドキュメントの設定、アプリケーションからの印刷方法について説明しています。

6.1 ページ設定

印刷する前に、用紙サイズと印刷方向の設定を行います。通常は用紙サイズはA4、印刷方向は縦に設定されています。

ページサイズを設定するには、[ファイル] メニューから [ページ設定] を選択します。（アプリケーションによって、設定する方法が異なります。）



ページ設定画面では、用紙サイズ、印刷の向き（縦または横）と余白の設定ができます。

本コピー機で利用できる用紙サイズについては、“用紙” (p.6-25) をご覧ください。

ワイド紙を使用して、ふちなしで印刷するには、“レイアウト” (p.6-11)、または以下の説明をご覧ください。

コピー機の用紙サイズが [サイズ] プルダウンメニューに表示されない場合は、[プリンタの設定] をクリックし、[プリンタ名] プルダウンメニューで、[KONICA MINOLTA 950 PS] を選択してください。

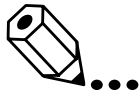
MS Wordをご使用の場合は、印刷時に [ファイル] メニューから [印刷] を選択し、[KONICA MINOLTA 950 PS (Plug)] を選択します。

ドキュメントを印刷する場合は、ドキュメントのサイズと用紙サイズが異なるように注意が必要です。（例：小冊子機能で印刷する場合、用紙サイズはドキュメントサイズの2倍）出力用紙サイズは [レイアウト] パネルで選択できます。詳細は、“レイアウト” (p.6-11) をご覧ください。

ゼロ以外の余白を選択した場合、印刷データを余白マージンを超えた位置に設定して印刷しようとする警告メッセージが表示されます。

6.1.1 フルブリード/ワイドページ/用紙サイズ

「レイアウト」パネル上で「ふちなし印刷」をチェックすると、余白をとらずに印刷するフルブリード機能を使用できます。詳細は、「レイアウト」(6-11 ページ) をごらんください。



A4 などの通常の出カサイズは、上下左右の余白が 2.8mm で設定されているので、フルブリードモードで印刷できません。

A4 ワイドのようなワイド紙は、通常の出カサイズに上下左右を 2.5 mm 加えたサイズになります。これにより、通常の出カサイズより大きくなります。

また、ワイド紙の印刷領域は、通常の出カサイズと同じであるため、ドキュメントサイズをフルに使用したドキュメントを作成することが可能になります。また余白のない文書を印刷する場合は、ワイド紙を使用する必要があります。

ワイド紙は、コピー機で設定を行う必要があります。ワイド紙のサイズは、ドキュメントサイズより大きいサイズに設定する必要があり、ドキュメントサイズと同じサイズにする必要はありません。(ドキュメントサイズの端から 2.5mm 分ワイドに設定)

ワイド紙に印刷することで、通常の出カサイズの余白を残さずに印刷するフルブリードモードが可能になります。初期設定では、ドキュメントはワイド紙のセンターに印刷されます。

ワイド紙と用紙サイズについては、「12 用紙サイズ」をごらんください。

6.1.2 カスタムページサイズ

カスタムページサイズは、次のいずれかの方法で指定することができます。

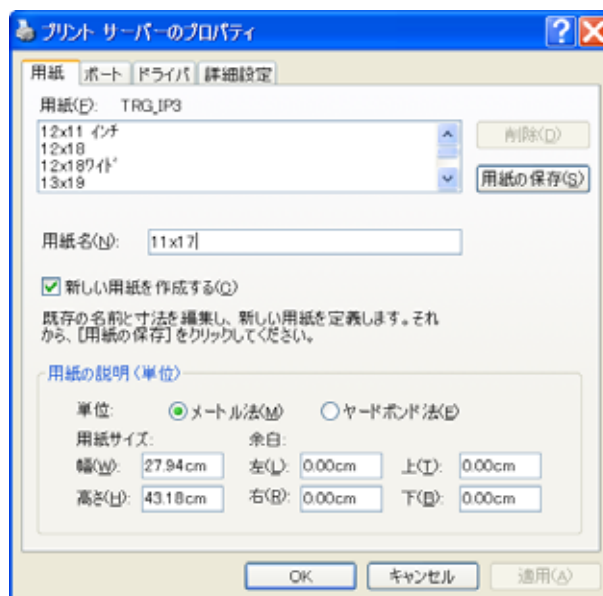
- [プリンタとFAX] ダイアログで用紙を設定する。
- プリンタードライバープラグインの [用紙] パネルで設定する。
- プリンターのPostScriptカスタムページサイズを入力する。

用紙

複数のカスタム用紙を作成し、名前をつけて保存でき、標準出力サイズと同様に使用することができます。

✓ ここでは、「プリンタとFax」(Windows XP)ダイアログで用紙を設定する方法を説明しています。

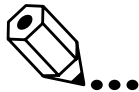
- 1 用紙を定義するには、[スタート] メニューから [プリンタと FAX] を開きます。
- 2 いずれのプリンターも選択状態になっていないことを確認します。
- 3 [ファイル] » [サーバーのプロパティ] を選択します。
[プリントサーバーのプロパティ] ダイアログが表示されます。
- 4 [用紙] パネルで [新しい用紙を作成する] にチェックを入れます。
- 5 用紙の名前とサイズを入力して、[用紙の保存] をクリックします。



- 6 さらに別の用紙を定義するか、[閉じる] をクリックして用紙の作成作業を完了します。

作成した用紙は、各プリンター用の標準ページサイズと同様に使用可能になります(該当するプリンターのカスタムページサイズの制限内におさまる場合)。

- 7 アプリケーションでは、[ファイル] » [ページ設定] を選択し、1 つの用紙を選択して、印刷方向を入力します。



ご注意)

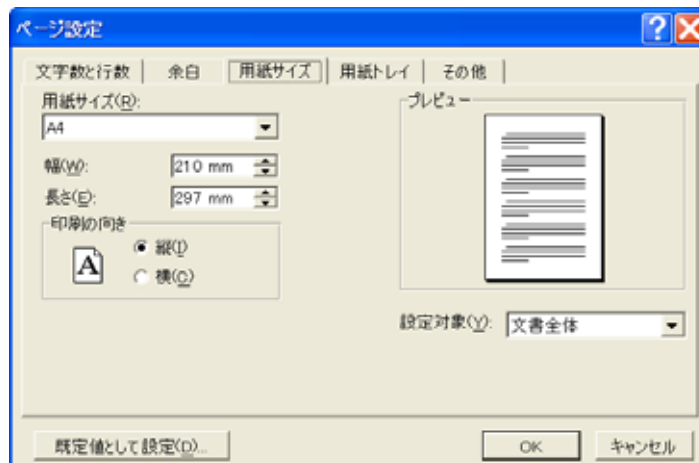
詳細は、*Windows操作説明書*をごらんください。

6.1.3 混載原稿

アプリケーションによっては、混載原稿のドキュメントを作成できる機能があります。混載原稿は、たとえば、テキストを含んだA4 やLetterの縦ページと、大きな表を含んだA3 やTabloidの横ページで構成されたレポートを作成する場合に使用できます。

混載原稿を作成する（MS Wordの場合）

- 1 [ファイル] ≫ [ページ設定] を選択し、[用紙サイズ] タブを選択します。
- 2 [設定対象] で [選択している文字列] を選択し、[OK] をクリックします。



これにより、ドキュメント内の特定のセクションが指定のページサイズで作成されます。

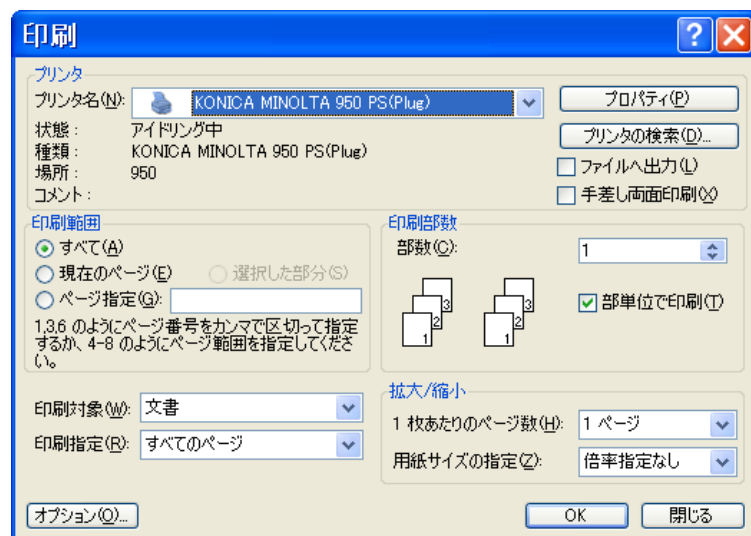
混載原稿は、Adobe Acrobatの [ページの挿入] 機能でも作成できます。

6.2 印刷

プリンタドライバプラグインでは、印刷や仕上げ機能を設定するための GUI (Graphical user interface) が備わっています。

印刷するには

- 1 ドキュメントを開いて [ファイル] メニューから [印刷] を選択します。
アプリケーションによって、設定する方法が異なります。
プリント画面が表示されます。プリント画面はアプリケーションによって異なります。
- 2 [プリンタ名] でプリンターを指定します。

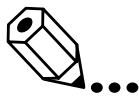


- 3 [印刷範囲]、[印刷部数] を設定します。
- 4 必要に応じて [プロパティ] をクリックします。

- 5 必要に応じて印刷設定を変更して [OK] をクリックします。



- 6 [OK] (または [印刷]) をクリックします。



ご注意)

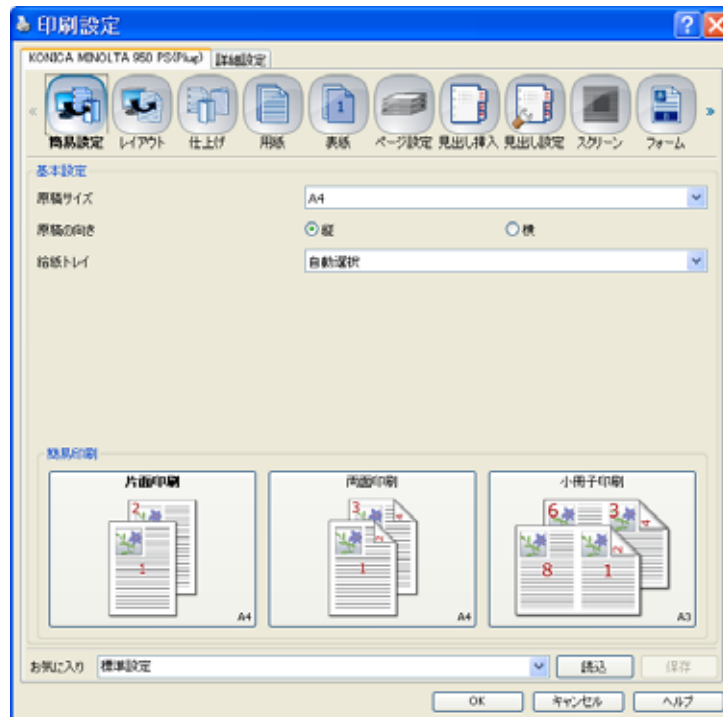
その他のオプションはアプリケーションによって異なります。MS Word には [部単位で印刷] オプションがあります。ドキュメントをソート、グループの設定を行うときには、このオプションは使用せずに、プリンタードライバープラグインの [仕上げ] パネルにある [ソート/グループ] チェックボックスを使用してください。

プリンタジョブをファイルとして保存するには、[印刷] 画面内にある [ファイルへの出力] ボックスにチェックを入れます。これにより、ジョブを保存し、現在接続していないbizhub PRO 950 から、あとで印刷することができます。

6.3 プリンタードライバープラグイン

プリンタードライバープラグインには、印刷オプションやフィニッシングオプションを選択するためのグラフィカルユーザーインターフェースがあります。

プリンタードライバープラグインを開くには、[ファイル] ≫ [印刷] を選択してから [プロパティ] を選択します。



「お気に入り」に設定する

アプリケーションから設定した印刷設定は、そのアプリケーションが動作している間は、プリンターの設定が保持されます。したがって小冊子機能を設定した場合は、そのアプリケーションが終了されるまでは、小冊子機能が設定されたままになります。

設定した印刷設定を保存して、どのアプリケーションからも同じ設定をすぐに呼び出すには、画面下の「お気に入り」プルダウンメニュー、保存名を設定して「保存」をクリックします。

保存した印刷設定を呼び出すには、「お気に入り」プルダウンメニューから保存した設定名を選択して「読み込み」をクリックします。



ご注意)

「ワークフロー」パネルの「ID」、「パスワード」などの設定は「保存/読込」できません。

印刷設定は、機能によっては組み合わせが出来ない場合があります。

(例：ステープル機能と小冊子機能の組み合わせなど) 組み合わせが出来ない機能を選択した場合は、自動的にこれらの組み合わせを除外します。

6.3.1 簡易設定



簡易設定パネルでは、次の機能を設定することができます。

原稿サイズ

原稿サイズを選択します。

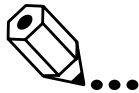
「用紙」パネルでカスタムページサイズを定義することもできます。カスタムページサイズとして定義すると、プルダウンメニューに表示されます。詳細は、「用紙」(p.6-25) をごらんください。

原稿の向き

印刷文書の原稿の向きを [縦] または [横] から選択します。初期設定は [縦] に設定されています。

給紙トレイ

給紙トレイを選択します。



ご注意)

装置オプションの設定によって表示されない場合があります。

ステープル

ステープル機能を設定します。[オフ]、[2 点]、[コーナー] から選択します。

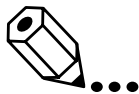


ご注意)

装置オプションの設定によって表示されない場合があります。

パンチ

パンチ機能を設定します。



ご注意)

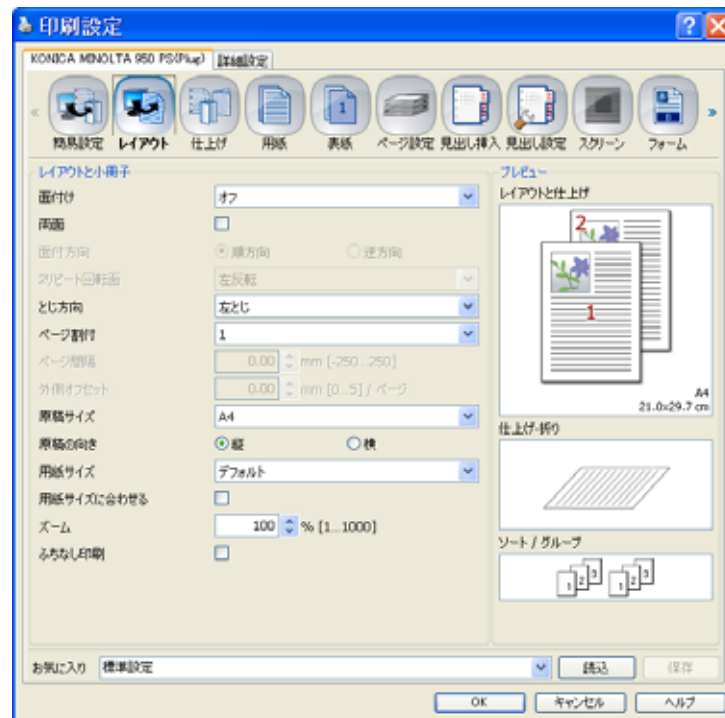
装置オプションの設定によって表示されない場合があります。

簡易印刷

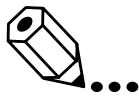
表示されているボタンをクリックすると、以下の設定でダイアログ画面が閉じます。

- 片面印刷 : 印刷文書が片面印刷されます。
- 両面印刷 : 印刷文書が両面印刷されます。
- 小冊子印刷 : 印刷文書が小冊子として印刷されます。

6.3.2 レイアウト



レイアウトパネルでは、次の機能を設定することができます。



ご注意)

レイアウトパネルを表示するには、アプリケーションで [ファイル] - [印刷] を選択し、[プロパティ] をクリックして [レイアウト] を選択します。

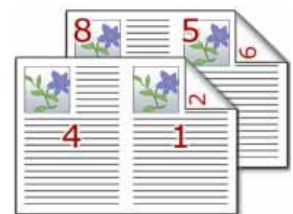
面付け

1 ページにいくつかの文書を集約して印刷します。

無線とし

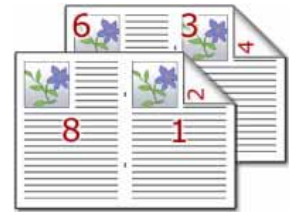
4 ページ 1 セットとなる中折りの小冊子になるように、プリントされます。例えば、ページ 1～4 がシート 1 に印刷され、ページ 5～8 がシート 2 に印刷されます。シートを 1 枚ずつ折ってから重ね、後からのり付けして小冊子を作ることができます。出力サイズは原稿サイズの 2 倍になります。

例：原稿サイズが A4 の場合、出力サイズは A3 になります。



小冊子

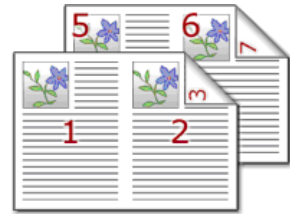
2 つに折るとそのまま小冊子になるようにプリントされます。出力サイズは原稿サイズの 2 倍になります。



2 in 1

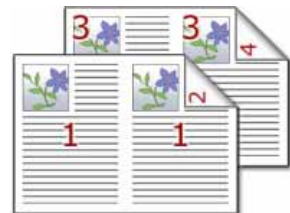
1 シートに 2 つの原稿を並べてプリントされます。例えば、シート 1 にページ 1 と 2、シート 2（両面印刷の場合、シート 1 の裏側）にページ 3 と 4 を配置します。

出力サイズは原稿サイズの 2 倍になります。



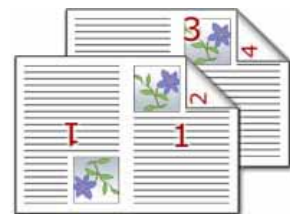
2 リPEAT

同じページを、1 シートに 2 つ並べてプリントされます。出力した用紙を中央でカットすれば、コピー部数が 2 倍になります。



回転 2 リPEAT

〔2 リPEAT〕と同様に、同じページを、1 シートに 2 つ並べてプリントされますが、片方の原稿が 180°回転されてプリントされます。



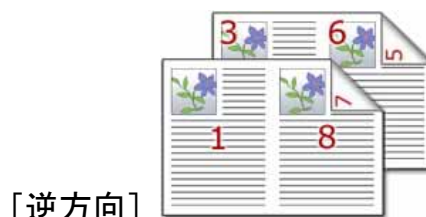
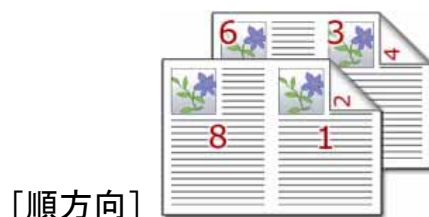
両面

シートの両面に印刷するようにドキュメントが配置されます。

両面印刷の向きは〔とじ方向〕によって選択できます。

面付方向

面付けで [無線とじ]、[小冊子]、[2 in 1] を選択している場合、面付方向を [順方向]、[逆方向] から設定できます。

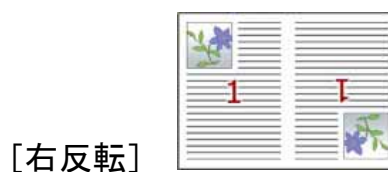


ページ割付を設定している場合、面付方向の設定によって以下のように設定されます。



2 リピート回転面

[面付け] で [回転 2 リピート] を設定している場合、回転面を [左反転]、[右反転] から選択できます。

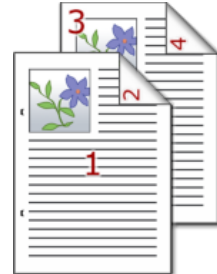


とじ方向

[面付け]、[両面]、[ステープル]、[パンチ]などの機能を設定している場合に、とじ方向を設定します。

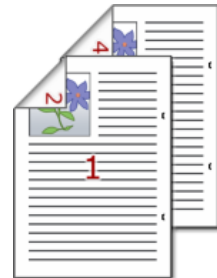
左とじ

印刷の向きを、用紙の左側を綴じてページをめくるように設定します。



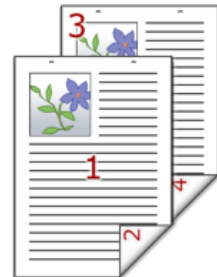
右とじ

印刷の向きを、用紙の右側を綴じてページをめくるように設定します。



上とじ

印刷の向きを、用紙の上側を綴じてページをめくるように設定します。



ページ割付

原稿を1枚のシートに割り付ける数値をスライダーで設定します。

以下の値を設定できます。

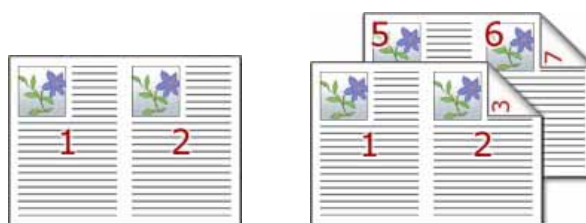
1、 2、 4、 6、 8、 9、 16

ページ割付は以下のように設定されます。

ページ割付 = 1



ページ割付 = 2



ページ割付 = 4



ページ割付 = 6



ページ割付 = 8



ページ割付 = 9



ページ割付 = 16



ページ間隔

面付け機能を設定した場合の見開きページの間隔を設定します。

-250mm～250mm（0.01mm単位）で設定でき、実際の余白は指定した数値の2倍になります。

外側オフセット

面付け機能を使用して二つ折りにすると外側と内側のページがあわない場合に、補正します。

印刷領域を調整するために、ページの印刷領域をシートの外側に移動させることで補正します。0～5mm（0.01mm単位）で設定できます。

原稿サイズ

原稿サイズを選択します。[用紙] パネルでカスタムページサイズを設定することもできます（p.6-25）。設定されたカスタムページサイズは、[原稿サイズ] に表示されます。



ご注意)

[原稿サイズ] は、[簡易設定] パネルの [原稿サイズ] またはご使用のアプリケーションで設定した原稿サイズと連動しています。このパネルで設定を変更すると、[簡易設定] パネルの設定も変更されます。

ただし、MS Wordで設定した原稿サイズとプリンタードライバー内で設定した原稿サイズは連動せず、MS Wordの設定が優先されます。

原稿の向き

原稿の向きを [縦]、[横] から設定します。初期設定は [縦] に設定されています。



ご注意)

本パネルの [原稿の向き] は、[簡易設定] パネルの [原稿の向き] またはご使用のアプリケーションで設定した原稿の向きと連動しています。このパネルで設定を変更すると、[簡易設定] パネルの設定も変更されます。

用紙サイズ

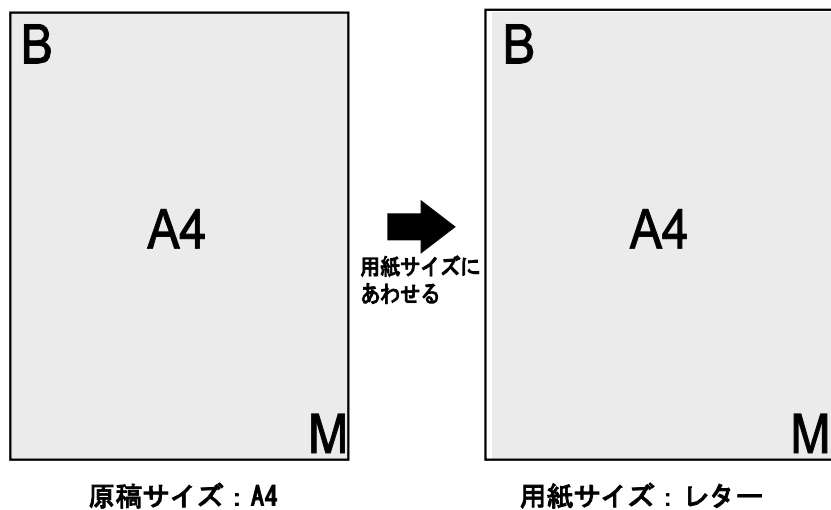
印刷する用紙サイズを設定します。

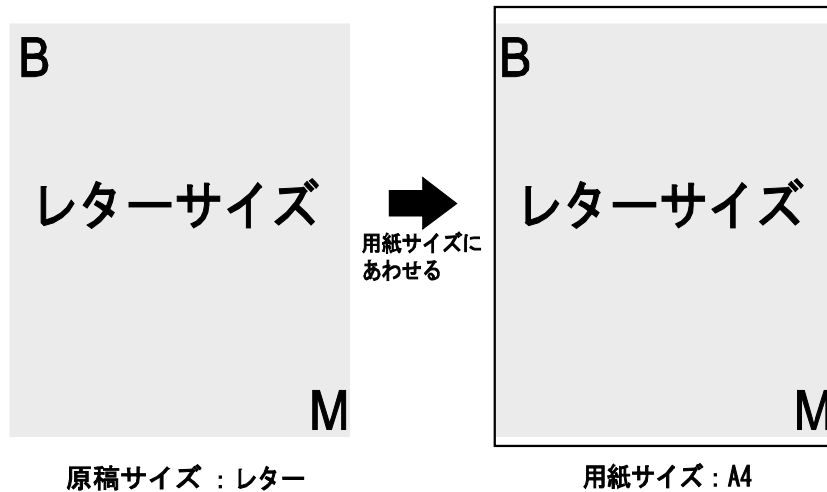
初期設定では、用紙サイズは以下のようになります。

- [面付け] がオフに設定されている場合、用紙サイズは原稿サイズと同じになります。
- [面付け] がオフに設定されていない場合（小冊子など）、用紙サイズは原稿サイズの 2 倍（A4 の場合、用紙サイズはA3）に設定されます。

用紙サイズに合わせる

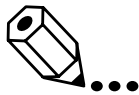
原稿サイズと用紙サイズが異なる場合、用紙サイズにあわせて原稿を印刷できます。この場合、ドキュメントの縦・横の比率は変更されません。用紙サイズにあわせて出力する場合、余白が調整されて印刷されます。





ズーム

印刷文書の拡大/縮小を設定します。ズームはページのセンターから実行されます。1～1000%（1%単位）で設定します。



ご注意)

*「用紙サイズに合わせる」機能を使用すると、ズームが設定されます。
原稿の縦横比は変更されません。*

ふちなし印刷

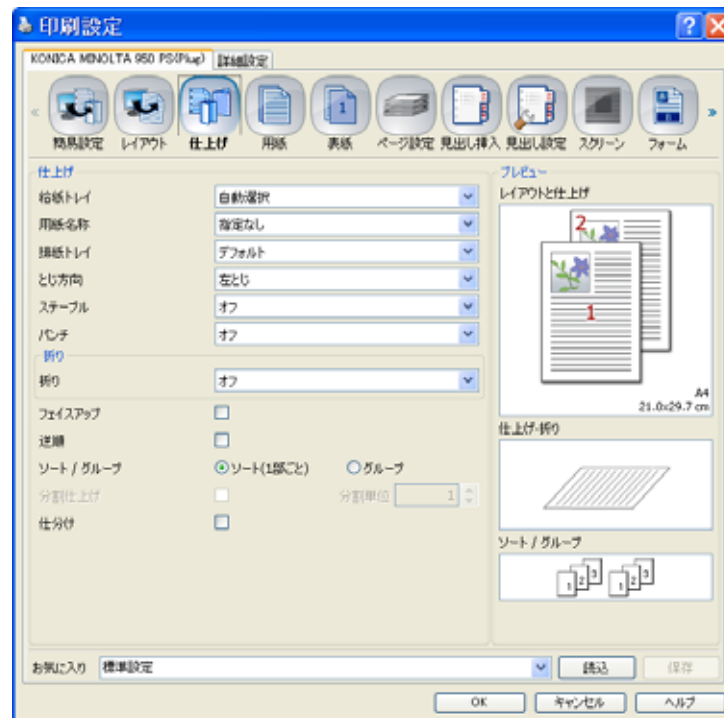
ふちなし印刷を設定すると用紙の余白を残さず印刷します。通常、プリンターで印刷する場合は用紙の余白を残して印刷されますが、この機能を設定すると、用紙全面に原稿を印刷することができます。この場合、印刷する原稿自体に余白が含まれていないかを確認してください。

Microsoft Wordでは、初期設定では、ドキュメント上に1インチのマージンが設定されています。詳しくは、「6.1.1 フルブリード/ワイドページ/用紙サイズ（6-2 ページ）」をごらんください。

ふちなし印刷では、以下の用紙サイズをサポートしています。

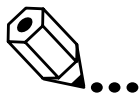
- A3 / A4 / A5 / A6 / JIS-B4 / JIS-B5 / JIS-B6 / ISO-B4 / ISO-B5 / ISO-B6 / はがき / SRA4 / Tabloid / 9x11 / Legal / Letter / Statement / 8 1/8x13/1/4 / 8x13 / Folio / 8 1/4x13

6.3.3 仕上げ



給紙トレイ

給紙トレイを選択します。



ご注意)

装置オプションの設定によって表示されない場合があります。最大で、トレイ 1～ 4、手差しが選択できます。

用紙名称

定義済みの用紙名称を選択します。

カスタム用紙サイズをリストに追加する場合は、”用紙” (p.6-25) をご覧ください。

以下の方法で給紙トレイと用紙名称を選択します。

- 「給紙トレイ」を選択して、用紙名称を指定しない：用紙名称は指定された給紙トレイから選択されます。
- 「用紙名称」を選択して、「給紙トレイ」を指定しない：給紙トレイは指定された用紙名称を含んでいるトレイから選択されます。指定された用紙名称がトレイに含まれていない場合、プリンターは指定された用紙名称をリクエストします。

- [給紙トレイ] と [用紙名称] を指定する：プリンターは選択されたトレイから用紙を指定します。必要に応じてプリンターは指定された用紙をリクエストします。

排紙トレイ

排紙トレイを選択します。

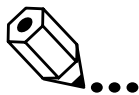


ご注意)

排紙トレイは、インストールしている装置オプションと選択された仕上げ機能によって異なります。

とじ方向

面付け機能、両面印刷、ステープル、パンチ機能などを設定している場合のとじ位置を設定します。



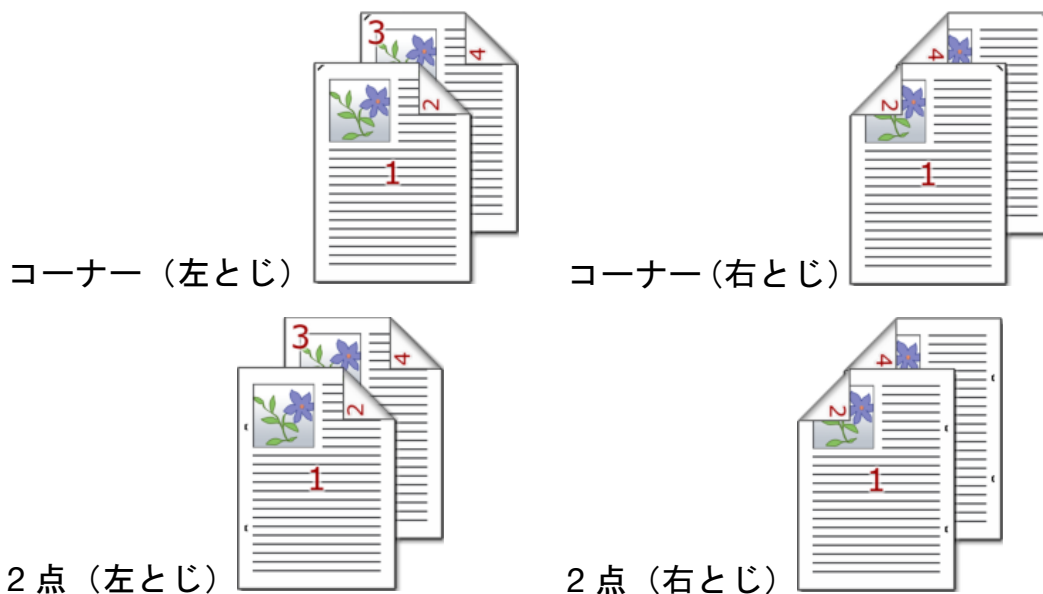
ご注意)

このパネルの [とじ方向] はレイアウトパネルの [とじ方向] と連動しています。このパネルで設定を変更すると、レイアウトパネルの [とじ方向] の設定も変更されます。

ステープル

ステープル機能を使用する場合に設定します。

- オフ、コーナー、2 点

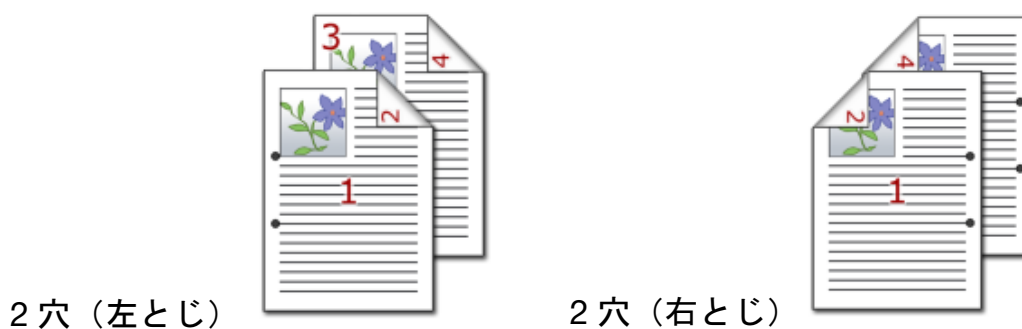


ステープルの位置（左、右、上）は〔とじ方向〕で設定します。

パンチ

パンチ機能を使用する場合に設定します。

- オフ、2 穴、3 穴、4 穴



パンチ穴の位置（左、右、上）は〔とじ方向〕で設定します。



ご注意)

ステープル機能とパンチ機能は給紙後に機能します。したがって給紙トレイの用紙の方向に依存します。

折り

折り機能を選択します。

Off



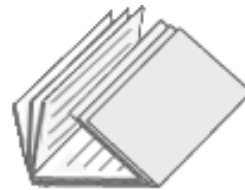
Z折り (A3, B4, 11 x 17)



Z折り (8 1/2 x 14)



重ね三つ折り



重ね中折り

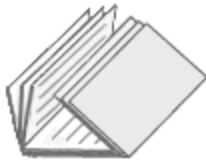


一方のサイドが他方のサイドの倍の大きさになるような（たとえば、A3 と A4、TabloidとLetterのような）混載原稿には、Z 折りを適用するのが普通です。このケースでは、大きいほうの用紙が短辺給紙となり、小さいほうの出力サイズと印刷方向に一致するように Z 折りとなります。

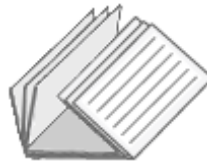
折り方向

重ね三つ折りの折り方向を選択します。プレビューでは中折りと外折りの違いなどが視覚的に表示されます。

内



外



ご注意)

[内/外] は、用紙の印刷側（最初のページ）を内側に折るのか、外側に折るのかを表しています。

フェイスアップ

印刷面を上に向けて出力されます。ドキュメントの 1 ページ目が最後に出力されます。

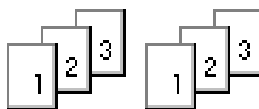


ご注意)

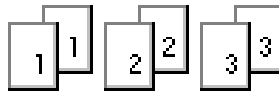
両面印刷を行うと、フェイスアップは動作しません。

ページ順を逆にして印刷する場合は、以下の機能を使用します。

- 逆順：
各ページを逆の順序で出力します。
- ソート/グループ：
印刷物を簡単に分けられるように、排紙トレイ内で位置をずらすかどうかを選択します。
3 ページのドキュメントを 2 部ソート出力する場合：(1-2-3、1-2-3)



3 ページのドキュメントを 2 部グループ出力する場合 : (1-1、2-2、3-3)



ご注意)

機能の組み合わせによる禁則を避けるためには、本プリンタードライバープラグイン以外の [仕分け] 機能を使用しないようにしてください。

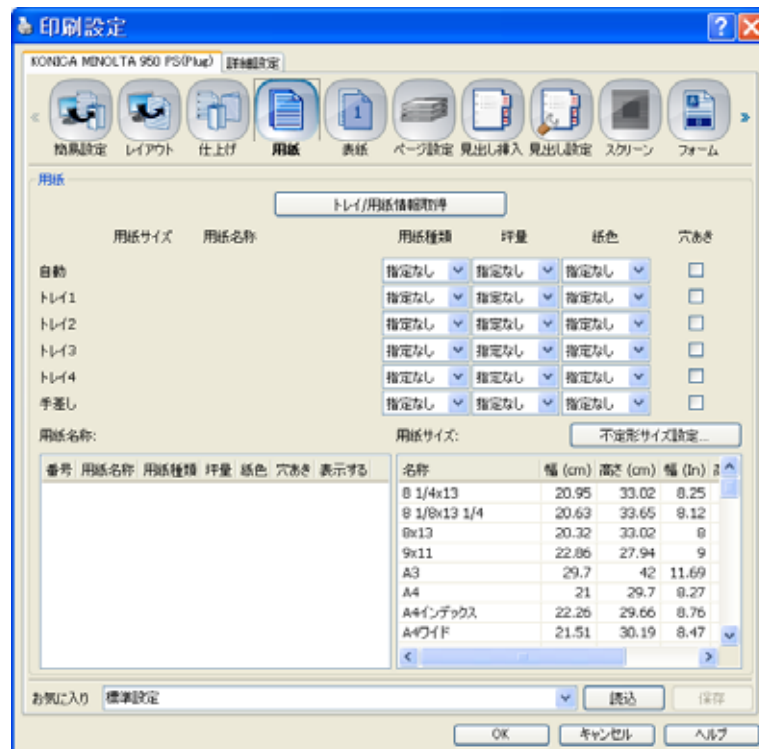
分割仕上げ

ジョブを分割して出力します。ジョブを分割することでステープル、小冊子または折り機能などを設定したジョブを適正に出力し、プリントエラーを避けることができます。

仕分け

複数部数を印刷する場合に出力トレイでページごとにセットされて印刷します。

6.3.4 用紙

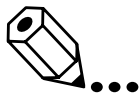


「用紙」パネルでは、ジョブを印刷する用紙のプロパティを指定することができます。

「用紙サイズ」では、ジョブを印刷する出力サイズを指定します。

トレイ/用紙情報取得

プリンターで定義されている用紙種類、坪量、色、穴あき紙の設定情報を表示します。



ご注意)

この機能は、Mac OS 9 ではサポートされていません。

用紙種類、坪量、紙色、穴あき

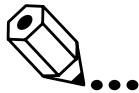
「用紙種類」、「坪量」、「紙色」、「穴あき」チェックボックスを使用して、印刷に必要な用紙の設定を行います。いずれかの項目を使用するときには、ジョブでトレイを選択していること、また、トレイに指定する用紙が入っていることを確認してください。「トレイ/用紙情報取得」をクリックすると、トレイの状態をリストに表示します。選択したトレイにない用紙が設定されている場合（混載原稿など）、コピー機が用紙をセットするように指示してきます。

サポートされている用紙種類は次のとおりです。

[指定なし]、[普通紙]、[上質紙]、[ラフ紙]、[未印字挿入紙]、[ユーザー紙]。

サポートされている坪量は次のとおりです。

[指定なし]、[40-49 g/m²]、[50-61 g/m²]、[62-71 g/m²]、[72-80 g/m²]、
[81-91 g/m²]、[92-105 g/m²]、[106-130 g/m²]、[131-161 g/m²]、
[162-216 g/m²]、[217-244 g/m²]、[245-300 g/m²]。



ご注意)

ここでは坪量の単位が、[g/m²] の状態で記載しています。

坪量の単位設定については、「装置情報」(p.6-54) をごらんください。

サポートされている紙色は次のとおりです。

[指定なし]、[白]、[透明]、[黄]、[ピンク]、[青]、[緑]

[穴あき] チェックボックスをオン/オフに設定できます。

特殊紙を選択するときには、次の制約事項をお守りください。

- 坪量 [217-244 g/m²] は手差し、もしくはトレイ 4 でのみ、坪量 [245-300 g/m²] はトレイ 4 でのみ印刷可能です。なおトレイ 4 は、給紙ユニット LU-407/LU-408 が必要になります。

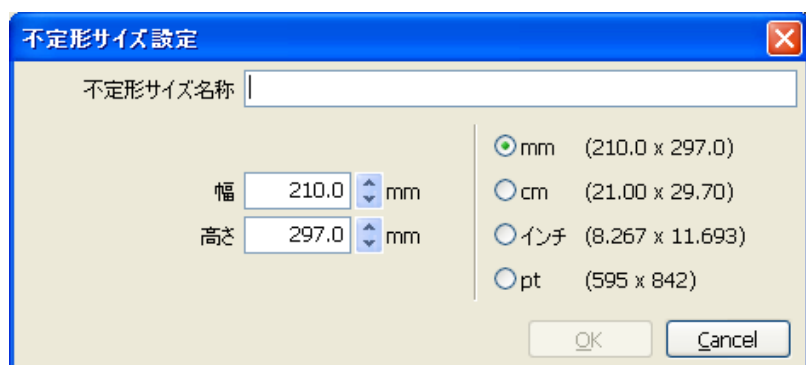
用紙名称が指定されている場合、プリンターは選択したトレイから指定した用紙に印刷しようとします。必要に応じて、プリンターは指定された用紙をリクエストします。



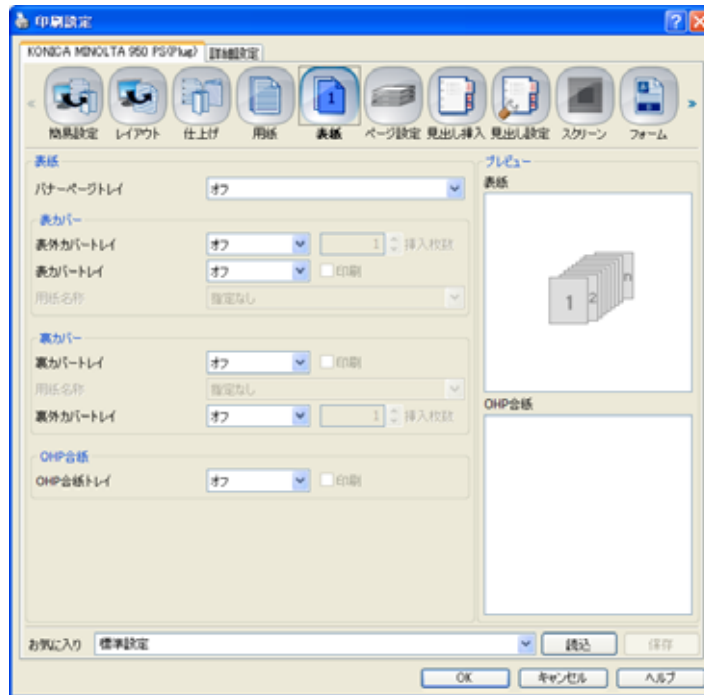
ご注意)

用紙名称は、プリンターで定義された坪量などの用紙種類との組み合わせを表しています。設定された用紙名サイズは、トレイまたは単独で選択することができます。

[不定形サイズ設定] をクリックすると、幅、高さなどを設定し、好きな名称を入力し、登録することが出来ます。



6.3.5 表紙



〔表紙〕パネルでは、表紙と背表紙を含めることを指定したり、バナーページの挿入、OHP合紙を選択したりできます。

〔バナーページ〕はバナーページを挿入する場合のトレイを設定します。

バナーページとは、「User Name (ジョブ送信者)」、「Title (文書名)」、「Source (ジョブを受信したプロトコル)」、「Language (印刷記述言語)」、「Printed (印刷された時間)」などの情報が記載され、印刷ジョブの最初に印刷されることで、それぞれの印刷ジョブを区別するのに便利です。バナーページは、印刷ジョブと同じトレイから出力され、ステープルや折りの機能を適用することはできません。

表カバー

選択したトレイから表カバーを挿入できます。トレイは通常の給紙トレイまたはPIトレイ（装置オプションの設定が必要）が選択できます。

また、表カバー裏カバーそれぞれ最大で 20 枚を連続挿入することができます。

カバーシートフィーダーを使用すると、塗工紙などをコピー機本体の熱にさらさずにジョブを印刷できます。

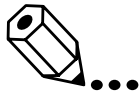
表カバーの〔印刷〕をチェックすると、先頭ページが表紙に印刷されます。チェックをオフにすると表紙は空白ページとして印刷され、ジョブの先頭ページはその次の用紙に印刷されます。

PIトレイを使用する表外カバー、裏外カバーに対しては、原稿を印刷することができません。

両面印刷機能を設定すると、最初の2ページは表紙に印刷されます。

裏カバー

裏カバーを挿入する場合に選択します。機能の詳細は表カバーと同じです。

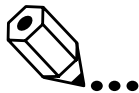


ご注意)

表カバーと「先頭ページの前に挿入」の機能は組み合わせて使用することができません。詳細は、「ページ設定」(6-30 ページ)をごらんください。

OHP合紙

OHP合紙を挿入する場合のトレイを選択します。



ご注意)

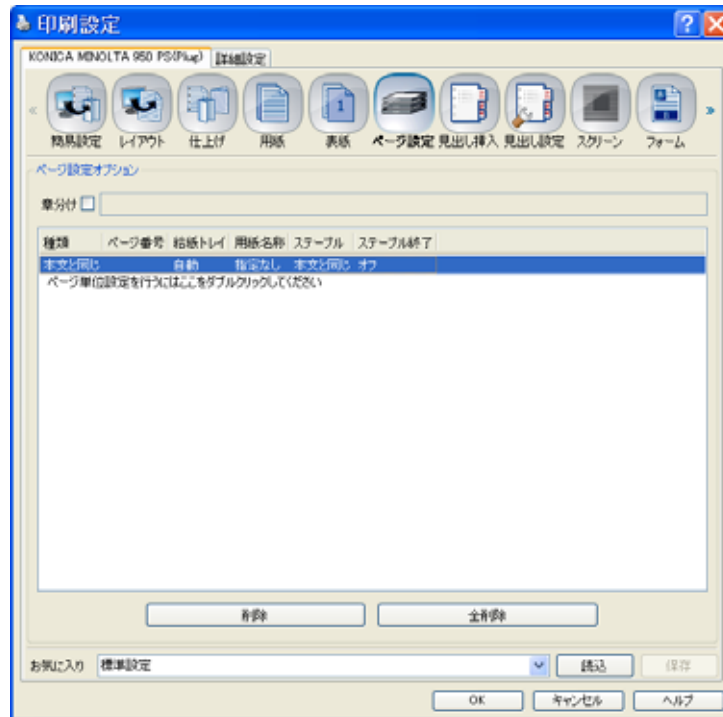
OHP合紙を使用できる用紙種類/坪量は以下の通りです。

給紙トレイ：手差し

用紙種類：上質紙

坪量：92-105 g/m²

6.3.6 ページ設定



[ページ設定] パネルでは、それぞれのページごとにトレイを設定できます。
[ページ設定オプション] の下のそれぞれの列にページ単位の設定を指定します。

ページを分けて指定する場合は、カンマを使用します。ページ範囲を指定する場合は、ハイフンで指定します。(例：4,6、8-10)

ジョブに含まれるページは、1 からカウントされます。原稿にローマ数字表記のページがある場合、もしくは特定のセクションのみを印刷する場合などは、ジョブのページ番号と原稿のページ番号が異なる場合があります。

両面印刷が設定されている場合、指定されたページまたはページ範囲が両面印刷されます。

例：トレイ 1 を指定して両面印刷を設定し、18～25 ページをトレイ 3 に指定した場合、1～17 ページはトレイ 1 から印刷され、17 ページの裏面は空白ページになり、18～25 ページがトレイ 3 から印刷されます。

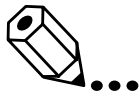
ページ設定は、他の機能との組み合わせで、競合を起こす場合があります。この場合は、競合を起こしている設定が赤くハイライト表示されます。

操作をそのまま続ける場合は、前の設定から入力したページが除外されます。

用紙種類	ページ番号	給紙トレイ	用紙名称	挿入枚数	ページ
両面印刷	10-14	自動	指定なし		本
片面印刷	8-16	自動	指定なし		本
新規追加					

また、10～14 ページをトレイ 2 から印刷する設定をした後、11～12 ページをトレイ 4 から印刷するように変更した場合など、設定を一部変更した場合、オレンジでハイライト表示されます。

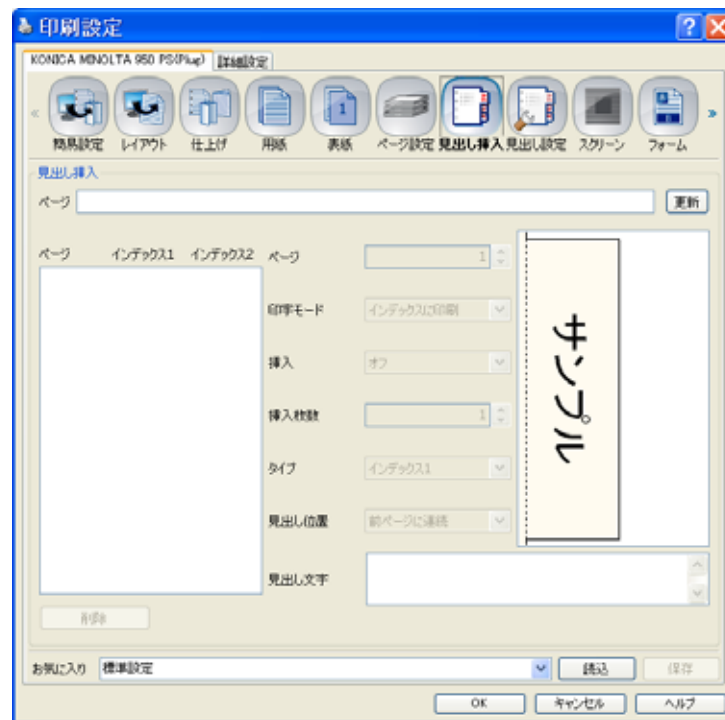
用紙種類	ページ番号	給紙トレイ	用紙名称	挿入枚数
片面印刷	10-14	自動	指定なし	
片面印刷	11-12	自動	指定なし	
新規追加				



ご注意)

PIユニットでページ挿入する場合、最大で20シートまでになります。

6.3.7 見出し挿入



〔見出し挿入〕パネルはインデックスページの設定ができます。

ページ

インデックスページを挿入するページ番号を指定します。ページ番号の指定は、カンマまたはハイフンを使用して、複数のページを指定できます。

（例：2,5,9,15,32、12-16）

設定を適用させるには、〔更新〕をクリックして、画面左のリストに表示させます。リストから設定を選択すると、各設定がアクティブ表示になります。

ページ

設定しているページ番号を変更できます。〔↑〕もしくは〔↓〕で変更することもできます。変更した場合は自動的にリストの表示が更新されます。

印字モード

本文に印刷するかインデックス紙に印刷するかを指定します。

挿入

空白インデックスページの挿入を〔後に挿入〕または〔前に挿入〕から選択します。

挿入枚数

空白インデックスページの挿入枚数を指定します。

タイプ

インデックスタイプを指定します。インデックスタイプの詳細は”見出し設定”（p.6-34）をごらんください。

見出し位置

タブの位置を指定します。「タブの順番/タブの総数」または「前ページに連続」から選択します。タブの総数は「見出し設定」パネル（p.6-34）で設定します。

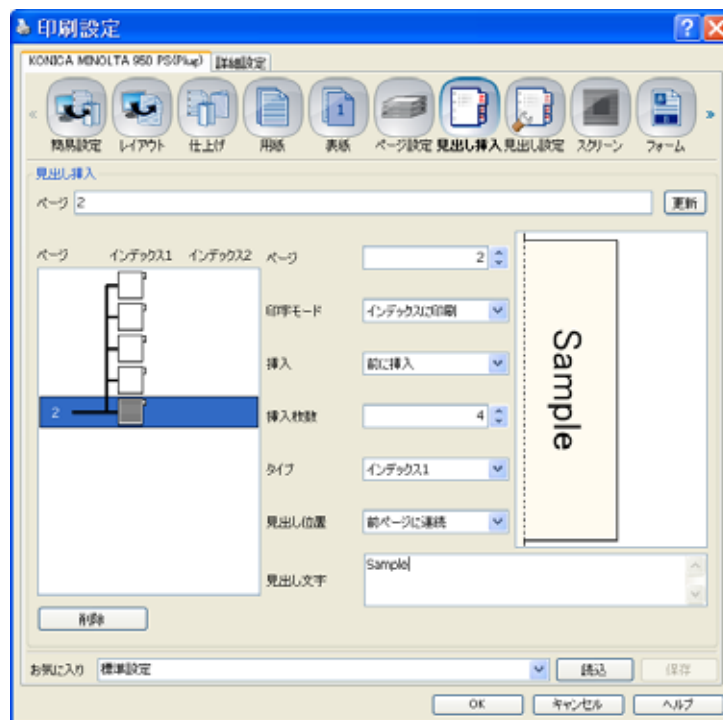
見出し文字

タブに印刷される文字を入力します。文字のサイズ、フォント、スタイルなどは「見出し設定」パネル（p.6-34）で設定します。

文字は最大3行まで入力することが出来ます。

リストの設定を削除するには、リストから削除したい設定を選択して「削除」をクリックします。

インデックスページが設定されると以下のような画面になります。



= 通常ページ（印刷）



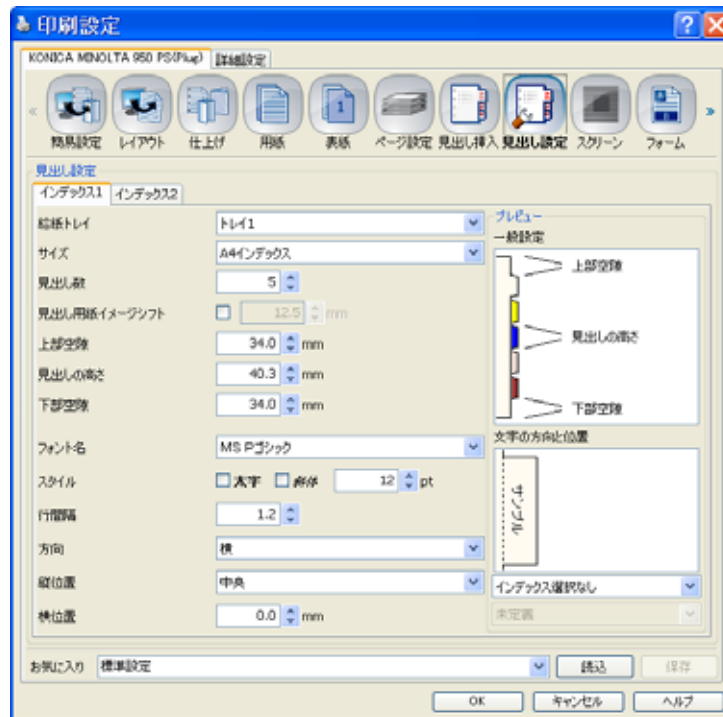
= 空白インデックスページ（挿入）



=インデックスページ（印刷）

リストのインデックス 1、インデックス 2 の列は、インデックスタイプの設定によって表示されます。

6.3.8 見出し設定



〔見出し設定〕パネルではインデックス紙の一般的な設定を行います。

〔インデックス 1〕、〔インデックス 2〕

2 種類のインデックス紙を定義できます。

（例：〔インデックス 1〕のタブ総数が 5 で、〔インデックス 2〕のタブ総数が 15 など）

給紙トレイ

インデックス紙の給紙トレイを選択します。

サイズ

インデックス紙の用紙サイズを設定します。通常は A4 インデックスまたは Letter インデックスが設定できます。Z 折り機能を設定している場合は、A3 またはタブロイドサイズを設定できます。

見出し数

インデックス紙のタブの総数を設定します。

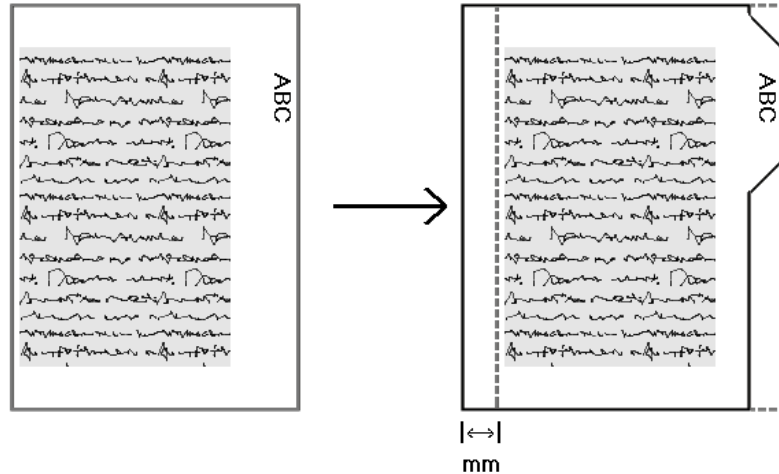
〔上部空隙〕、〔見出しの高さ〕、〔下部空隙〕の設定によって設定できるタブ

総数が異なります。

インデックス紙イメージシフト

印刷ドキュメントから直接見出し文字を印刷します。

印刷ドキュメントの印刷イメージを右側にシフトすることで、タブに見出し文字が入るように設定します。



「インデックス紙イメージシフト」を使用する場合は、印刷ドキュメント上で、インデックス紙ごとに右側に余白を設定して見出し文字を配置します。インデックスページのサイズは、標準サイズ（A4/Letter）を使用します。

ヘッダラインを入れるようなデザインのページでは、印刷イメージをシフトさせてから、正確に配置してください。

右方向にのみ、10～15mm（0.1mm単位）シフトすることが出来ます。

「インデックス紙イメージシフト」と設定値は、正確なドキュメントに対してのみ設定できます。「インデックス紙イメージシフト」を設定すると、「見出し挿入」パネルで見出し文字を入力することはできません。

フォント名

見出し文字のフォントを指定します。

スタイル

見出し文字のスタイルとして「太字」、「斜体」、「サイズ」を設定します。

行間隔

見出し文字の行間隔を設定します。

方向

見出し文字の方向を設定します。「横」、「横（反転）」、「水平」、「縦」から指定します。設定したイメージがプレビューに表示されます。

縦位置

見出し文字の位置を [上詰め]、[中央]、[下詰め] から選択します。

横位置

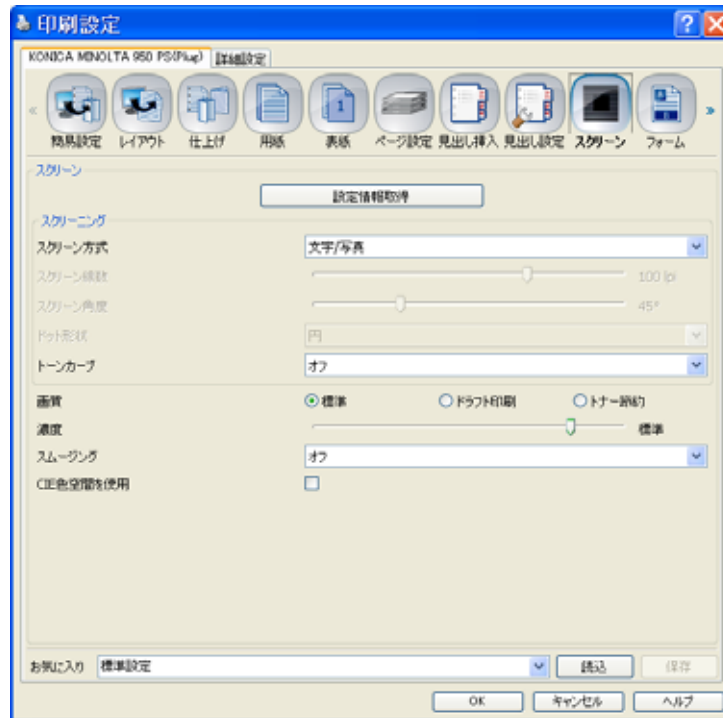
見出し文字の水平位置を設定します。初期設定では、見出し文字はタブに対してセンターに配置されています。

プレビューエリアでは、見出し文字のプレビューを表示します。一般設定プレビューでタブをクリックすると、タブを選択することができます。

実際にインデックス紙に印刷するために、給紙方向と長辺をあわせ、表面を下に、最初のページをトップに、タブを左側にして、選択したトレイに設定します。

ジョブページもまた給紙方向と長辺があっていることを確認します。

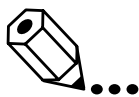
6.3.9 スクリーン



「スクリーン」パネルでは、スクリーン（ラスタ）を設定することができます。スクリーン設定は、ページ上のすべての構成要素（テキスト、グラフィック、イメージ）に適用されます。

設定情報取得

「解像度」、「スクリーニング」の情報をコントローラー側から入手し、それぞれの設定に反映されます。



ご注意)

設定情報取得は、Mac OS 9 ではサポートしていません。

スクリーン方式

スクリーン方式を設定します。「文字/写真」、「文字」、「写真」、「ドットスクリーン」から選択することができます。

スクリーン線数

スクリーン線数を設定します。線数の単位はlpi（lines per inch）です。値を増やすほど、精細なラスタが得られますが、階調度が低下します。

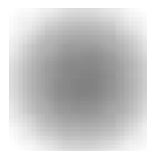
スクリーン角度

スクリーン角度を設定します。一般に、モノクロページは 45°の角度で印刷すると良い結果が得られます。

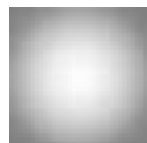
ドット形状

印刷ドットの形状を設定します。この機能を使用すると、より均一なグラデーションや特殊効果を得ることができます。

シンプルドット



反転シンプルドット



ダブルドット



反転ダブルドット



コサインドット



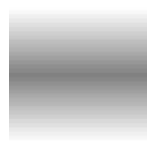
ダブル



反転ダブル



ライン



ラインX



ラインY



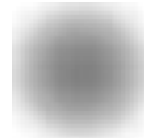
円



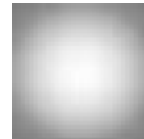
楕円



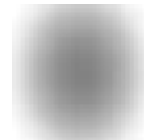
楕円A



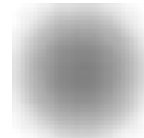
反転楕円A



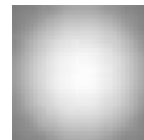
楕円B



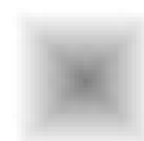
楕円C



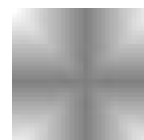
反転楕円C



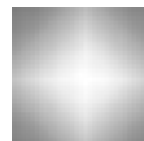
四角



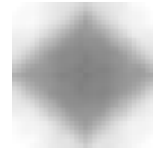
クロス



菱形



ダイヤモンド



トーンカーブ

トーンカーブをドロップダウンリストから設定します。

画質

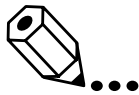
トナーの量を設定します。通常の印刷には〔標準〕を選択します。この場合は〔濃度〕の設定によってトナー量が変わります。〔ドラフト印刷〕と〔トナー節約〕はそれぞれトナーの量を節約します。これらは、大量のドキュメントのプレビューなどに適していて、レイアウトなどのチェックなどのときに設定することを推奨します。

濃度

コピー機側で、グラフィックの印刷濃度を調整します。

スムージング

コピー機に適用するイメージスムージングを選択します。
〔オフ〕、〔タイプ 1〕、〔タイプ 2〕、〔タイプ 3〕



ご注意)

〔オフ〕はスムージング機能を使用しません。

〔タイプ 1〕は、一般的な文字や図形の斜め線に適した処理を行います。

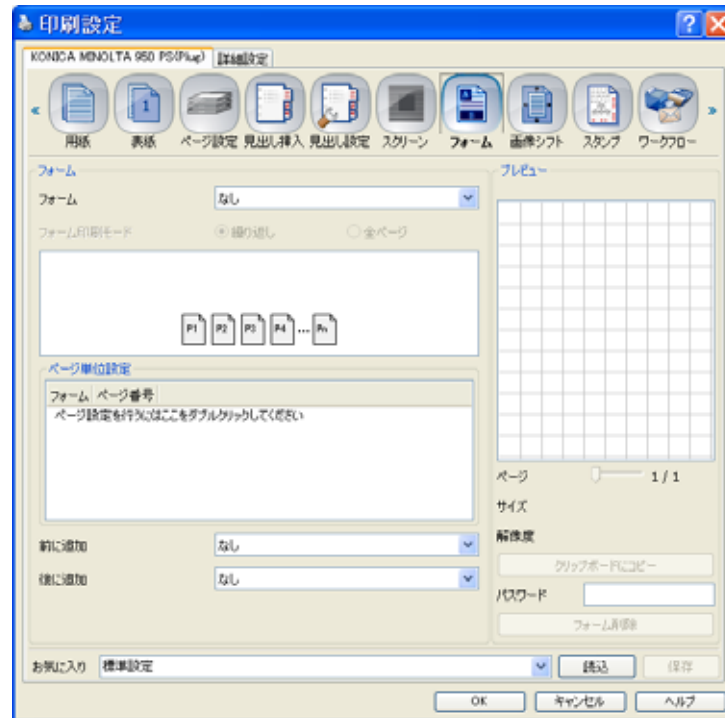
〔タイプ 2〕は、一般的な文字の曲線部に適した処理を行います。

〔タイプ 3〕は、飾り文字や細かい文字の曲線部に適した処理を行います。

CIE色空間

チェックボックスをオンにすることでCIE色空間を使用することができます。

6.3.10 フォーム



〔フォーム〕パネルでフォームを設定することができます。

本ドライバーを使用して、フォーム用のファイル（ビットマップ形式）を保存します。印刷時に保存したフォーム用ファイルを指定すると、このファイルを背景にして印刷することができます。フォームの印刷は、〔後に追加〕、〔前に追加〕、〔繰り返し〕、〔全ページ〕または指定ページのための〔オーバーレイ〕などの設定ができます。印刷する前にプレビューでフォーム内容を確認することができます。

フォームを作成するには、“ワークフロー”（p.6-48）の〔出力方法〕内にある〔フォーム〕を選択してください。

フォーム

RIPに保存されているフォームを表示します。

フォーム印刷モード

〔繰り返し〕は、フォームのすべてのページを1ページ目から順に、印刷文書の各ページに繰り返しオーバーレイさせる設定ができます。

〔全ページ〕は、フォームのすべてのページを1ページ目から順に1回のみ、印刷文書にオーバーレイさせる設定ができます。

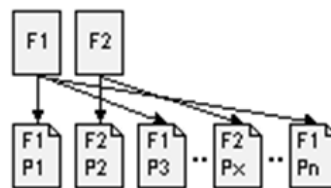
複数のフォームが設定されている場合は、フォームの先頭ページをジョブの先頭ページにオーバーレイさせて、次のフォームをジョブの次のページに指定します。

ジョブのページが 12 ページあり、2 つのフォームが設定されている場合：

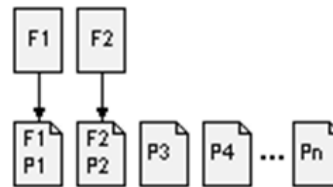
〔繰り返し〕を選択すると、フォームの 1 ページ目がジョブのすべての奇数ページにオーバーレイされ、2 ページ目が偶数ページにオーバーレイされます。

〔全ページ〕を選択すると、ジョブの 1 ページ目と 2 ページ目にフォームがオーバーレイされます。

〔繰り返し〕の場合、2 つのフォームがジョブのページに割り当てられるは、以下の図のようにフォームページ 1 はジョブの 1 ページ目、フォームページ 2 はジョブの 2 ページ目に割り当てられ、再度フォームページ 1 がジョブページの 3 ページ目に割り当てられます。このパターンが繰り返されます。



〔全ページ〕の場合、2 つのフォームがジョブのページに割り当てられるは、以下の図のようにフォームページ 1 はジョブの 1 ページ目、フォームページ 2 はジョブの 2 ページ目に割り当てられ、その他のページにはオーバーレイされません。



ページ単位設定

ページ単位でオーバーレイを設定できます。

但し、スペースは制限され、設定できる最大数は使用されるフォームと対象ページに依存します。

- 1 つのフォームで 510 ページまで設定可能
- 1 つのフォームを使って設定できるページ範囲は 255 ページまで
- 各ページに異なるフォームを使用する場合は、170 ページまで設定可能

前に追加/後に追加

指定したフォームを現在のジョブの前に設定するか、後に設定するかを指定します。

クリップボードにコピー

現在表示されているページを画面表示の解像度で、クリップボードにコピーします。クリップボードにコピーした画像は印刷ドキュメント上にペーストして、レイアウトの確認をすることができます。実際に印刷する前にはペーストした画像を削除する必要があります。

フォーム削除

選択したフォームをコピー機から削除します。フォームを削除する場合は、パスワード入力が必要になります。このパスワードはコピー機で設定されています。

6.3.11 画像シフト



「画像シフト」パネルでは、用紙上の「原稿」をシフトすることができます。

オフ

シフトを適用しません。

本体の設定値を使用する

コピー機側で入力したイメージシフト値に基づいて「原稿」の位置が決められます。

ドライバーの設定値を使用する

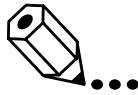
このパネルで入力した値に基づいて「原稿」の位置が決められます。

水平方向を指定すると、出力イメージが水平に移動します。(正の値：右シフト、負の値：左シフト)

垂直方向を指定すると、出力イメージが垂直に移動します。(正の値：下シフト、負の値：上シフト)

表と裏が一致するようにそれぞれの方向にシフトするには、「オモテ/ウラ個別に設定する」のチェックを外すか、前方と後方に対して逆の値を入力します。

両面印刷でオモテ面とウラ面のイメージを上方向に 5mmシフトさせるには、垂直方向に-5mmを入力し、垂直方向（ウラ）に 5mmと入力します。

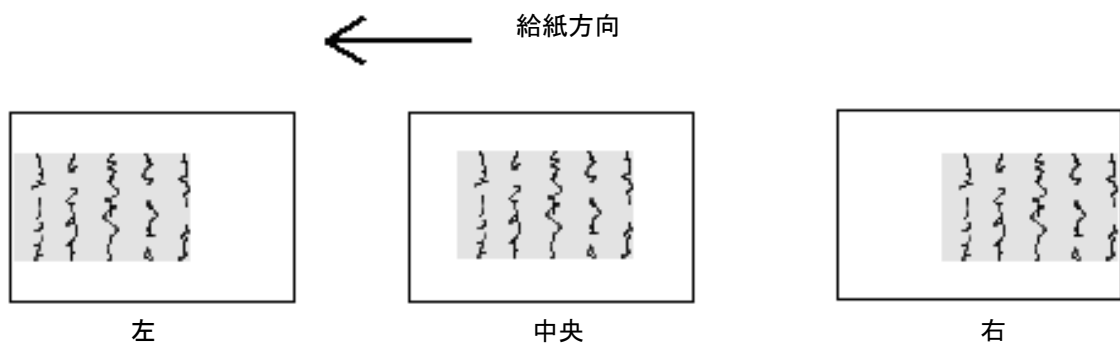
**ご注意)**

水平方向は印刷時に適用されます。そのため、裏側に印刷した場合は、用紙を裏返して、正しい方向にシフトしているか確認してください。

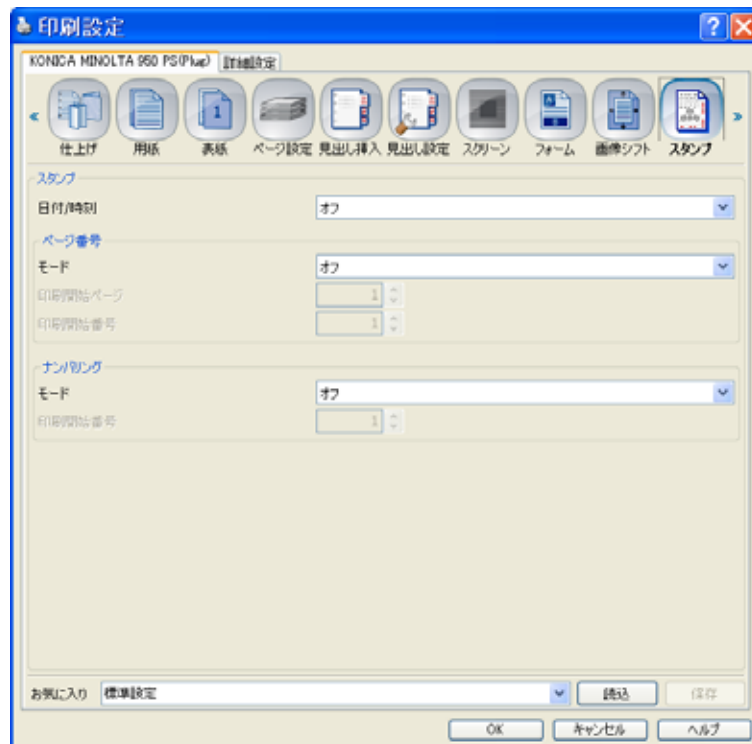
印刷位置設定

実際の実出力サイズがワイドサイズか、またはカスタムサイズかによって、印刷位置が適用されます。

プレビューではフェイスアップ印刷での印刷位置を示します。フェイスダウン印刷での印刷位置結果を確認するには、用紙をさかさまに設定してください。



6.3.12 スタンプ



〔スタンプ〕パネルでは、印刷時に日付/時刻、ページ番号、ナンバリングを挿入する設定ができます。

日付/時刻

印刷される各ページに日付および時刻を挿入します。

日付/時刻は、〔先頭ページのみ〕または〔全ページ〕から指定できます。

ページ番号

印刷される各ページにページ番号を挿入します。

ページ番号は〔全ページ〕、〔先頭ページ以外〕、または、〔先頭/最終ページ以外〕から指定できます。

〔印刷開始ページ〕はページ番号を挿入する開始ページを設定します。

〔印刷開始番号〕は挿入するページ番号の開始番号を設定します。

ナンバリング

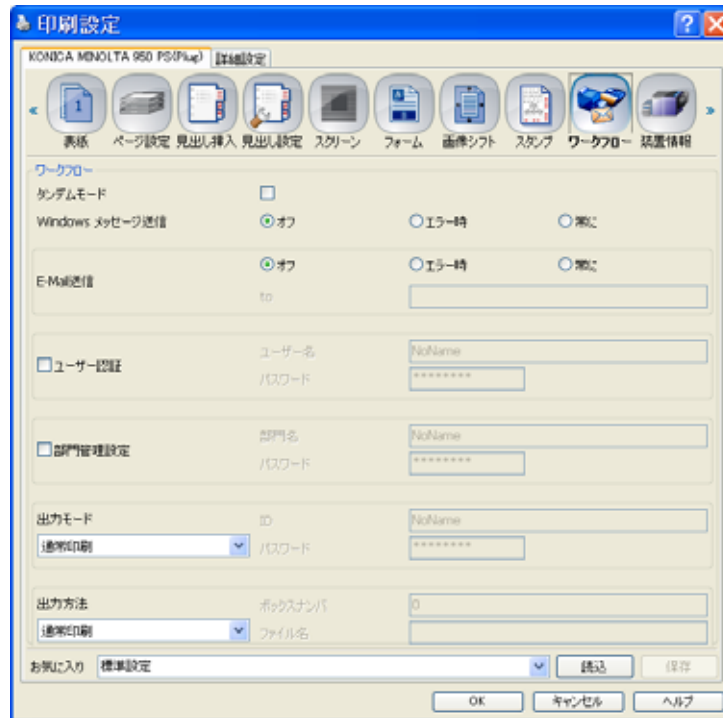
印刷する文書の各ページに部数番号を挿入します。ナンバリングは、〔スタンプ（全ページ）〕、〔スタンプ（先頭ページのみ）〕または〔ウォーターマーク（全ページ）〕から選択できます。

〔ウォーターマーク〕は、部数番号を淡いグレーで、全ページの全面にプリントします。

〔印刷開始番号〕は、ナンバリングの印刷を開始するページ番号を設定します。

これらの設定は、面付け機能の後に適用されますが、実際のドキュメントページに対して設定されます。

6.3.13 ワークフロー



「ワークフロー」パネルでは、タンドムモード、ユーザー認証/部門管理設定、出力モード、出力方法などを設定することができます。

次の設定ができます。

タンドムモード

設定したプリント条件の出力を、2 台のプリンティングシステム（マスター機とサブ機）を使って、同時に行うことができます。大量の出力を行う場合、出力時間を短縮できます。2 台のうち 1 台にイメージコントローラーがあれば、タンドムプリントは可能です。

両方にイメージコントローラーがある場合、プリントジョブを受けたプリンティングシステムがマスター機、出力のみ行うプリンティングシステムがサブ機になります。

タンドムプリントする場合、2 台のプリンティングシステムを次のいずれかの方法で接続する必要があります。

- クロスケーブルで 2 台を直接接続する。
このとき、ネットワーク関連の機能は使用できません。
- HUBを介在してストレートケーブルで接続する。

**ご注意)**

クロスケーブル / ストレートケーブルとも、カテゴリ5以上のものを使用します。

タンデムプリントには、サービスマンによる設定が必要です。サービス管理店にお申し出ください。

タンデムモードの詳細については「ユーザーズガイド (POD管理者編)」を参照してください。

Windowsメッセージ送信

プリントジョブの終了後、コンピューターがメッセージを受信することができます。[オフ]、[エラー時]、[常に] からメッセージの通知方法を選択します。

**ご注意)**

コンピューターにメッセージを送信するには、下記の条件が必要です。

- Windows の Messengerサービスを開始にすること
- Windows ファイアウォール機能をセキュリティセンターでOffにすること (Windows XP/Vista)
- Windows Messenger を有効にするソフトウェアがインストールされていること (Windows Vista/Server 2008)

E-Mail送信

プリントジョブ完了後に指定されたアドレスにE-mailを送信させることができます。送信方法を[オフ]、[エラー時]、[常に] から選択します。

ユーザー認証

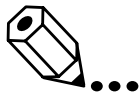
印刷ジョブにユーザー名とパスワードを設定します。この識別情報は、ユーザーの印刷権限を特定するために使用されます。コピー機の管理者がユーザー認証をオンにした場合は、ユーザー名とパスワードの入力が必要になります。ユーザー名とパスワードを入力しないと、印刷の権限が全くないか、制限付き権限しかない一般ユーザーとみなされます。

ユーザー名は、1～64 文字の半角文字（全角で 1～32 文字）で構成する必要があります。パスワードは、1～64 文字の英数字で構成する必要があります。ユーザーアカウントは、コピー機の管理者が設定します。

ユーザー名とパスワードを入力するには

- 1 [ユーザー認証] をチェックします。
- 2 [ユーザー名] フィールドでユーザー名を入力します。
- 3 tab キーを押して [パスワード] フィールドに移動し、パスワードを入力します。
- 4 tab キーを押して、再入力フィールドに移動し、パスワードを再び入力します。

入力が無効か不完全な場合には、[パスワード] フィールドが赤い背景で表示されます。



ご注意)

共有ユーザーとして行う場合は、ユーザー名を入力しないでください。
共有ユーザーは、ユーザー名なしで共有ユーザーとして識別されます。

部門管理設定

ジョブに部門名かパスワードのいずれか、または両方を設定します。この識別情報は、プリント枚数を管理する目的で使用されます。コピー機の管理者がこの機能をオンにした場合は、部門名かパスワードのいずれか、または両方の入力が必要になります。

部門名は、最大 8 文字の英数字で構成する必要があります。パスワードは、1～8 文字の英数字で構成する必要があります。部門アカウントは、コピー機の管理者が設定します。

部門名とパスワードを入力するには

- 1 [部門管理設定] をチェックします。
- 2 [部門名] フィールドで部門名を入力します。
- 3 tab キーを押して [パスワード] フィールドに移動し、パスワードを入力します。
- 4 tab キーを押して、再入力フィールドに移動し、パスワードを再び入力します。

入力が無効か不完全な場合には、[パスワード] フィールドが赤い背景で表示されます。

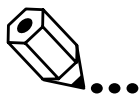
出力モード

確認印刷やセキュリティー印刷などが出来ます。

[通常印刷] がデフォルトで、通常の印刷です。

[確認印刷] を指定すると、コピー機が確認用に 1 部印刷し、ユーザーがジョブを継続するかキャンセルするまで待機します。

[一時停止] を指定すると、コピー機は、ユーザーがジョブを継続するかキャンセルするまで待機します（確認用の印刷は実行されません）。



ご注意)

[確認印刷] と [一時停止] を指定すると、後続のジョブの印刷が停止状態になります。

[セキュリティー印刷] を指定すると、IDとパスワードがジョブに設定されます。この識別情報は、ユーザーの確認のもとでジョブが印刷され

ることを保証する目的で使用されます。ジョブはコピー機の親展フォルダ内にあらかじめ作成された親展ボックスに保存され、IDとパスワードを入力してコピー機の操作パネルでジョブを開始した場合にのみ印刷されます。

IDとパスワードはいずれも、1～8文字の英数字で構成する必要があります。任意の英数字を使用できます。

IDとパスワードを入力するには

- 1 [出力モード] を選択します。
- 2 [セキュリティ印刷] を選択します。
- 3 [ID] フィールドで ID を入力します。
- 4 tab キーを押して [パスワード] フィールドに移動し、パスワードを入力します。
- 5 tab キーを押して再入力フィールドに移動し、パスワードを再び入力します。

入力が無効か不完全な場合は、IDフィールドとパスワードフィールドが赤い背景で表示されます。



ご注意)

セキュリティ印刷が他のジョブを妨げることはありません。

出力方法

あとで再印刷できるように、ジョブをボックスに保存することができます。

[ボックス保存] を指定すると、ジョブは印刷されず、指定のボックスに保存されます。

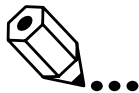
[ボックス保存&印刷] を指定すると、ジョブが指定のボックスに保存され、印刷されます。

フォーム機能を使用する場合は、[フォーム] を指定します。フォームについては”フォーム” (p.6-41) をご覧下さい。

ジョブをボックスに保存するには

- 1 [出力方法] で [ボックス保存 (&印刷)] を選択します。
- 2 [ボックスナンバー] フィールドでボックス番号を入力します。
- 3 tab キーを押して [ファイル名] フィールドに移動し、ファイル名を入力します。

ボックス内のジョブは、ボックス番号とファイル名で識別されます。

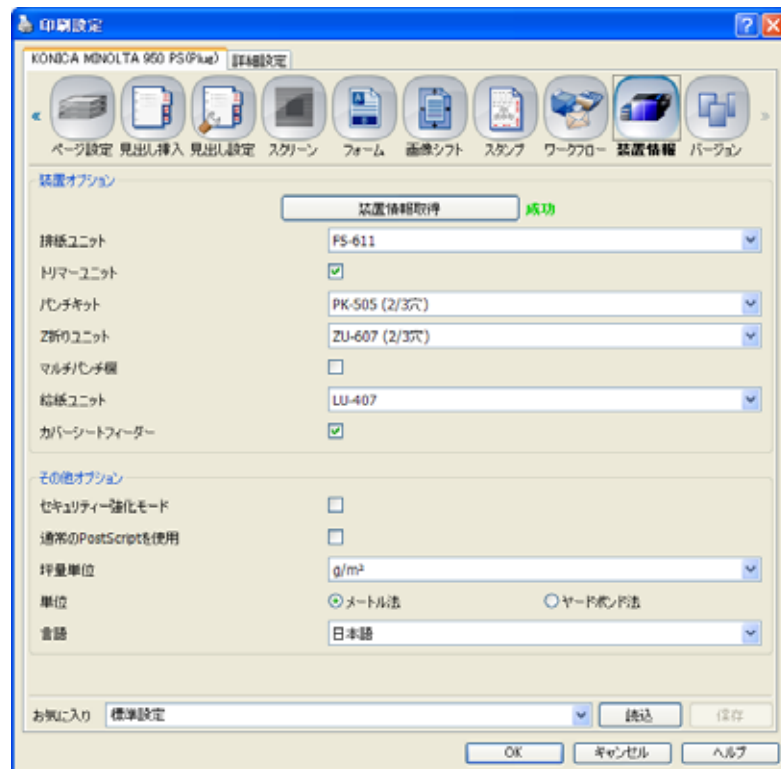


ご注意)

[お気に入り] で [標準設定] をクリックしても、セキュリティ印刷用の識別情報とパスワード設定、ユーザー認証および部門管理設定が削除されることはありません。削除するときは、別の値を手動で入力してください。

アプリケーションを終了すると、パスワード設定はクリアになります。再度アプリケーションからプリンタードライバーを開くと、パスワードの再設定が必要になります。Windowsのプリンターのプロパティからドライバーを設定すると、これらの設定はドライバーに保存されます。ただしこの場合、そのコンピューターを他のユーザーが使用すると、他のユーザーもその識別情報を使えることになるので、注意が必要です。

6.3.14 装置情報



〔装置情報〕パネルでは、コピー機にインストール可能な装置オプションを設定できます。

装置オプションは、コピー機が設定できない組み合わせを選択できないようにしています。

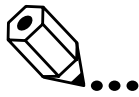
プリンタードライバーで設定を有効にするには、対応する装置オプションを設定する必要があります。

〔装置情報取得〕をクリックすると、装置オプション情報を自動的にプリンタードライバーが取得します。〔装置情報取得〕をクリックする前に、情報を取得している場合もあります。

装置オプションは手動でも設定できます。

〔セキュリティー強化モード〕チェックボックスをオンにすると、パスワードが送信できなくなります。

〔通常のPostScriptを使用〕は、アプリケーション自体がPPDをベースにしてるPostScriptドライバー機能を持っているAdobe PageMakerのようなツールを使用する場合に設定します。

**ご注意)**

[通常の PostScript] は、アウトラインフォントや組み込まれた EPS ファイルなどが変更されてしまう可能性があります。もし PageMaker から印刷する場合は、PageMaker 用のプリンタードライバーとそれ以外 ([通常の PostScript] にチェックをいれない) のドライバーを別々で使用することをお勧めいたします。

コピー機がネットワークサーバーの共有プリンターとして使用されている場合、プリンタードライバープラグインは装置オプションを自動的に設定できない場合があります。このような場合は、手動で設定してください。

坪量単位

用紙の坪量単位を選択することができます。選択できる単位は以下の通りです。

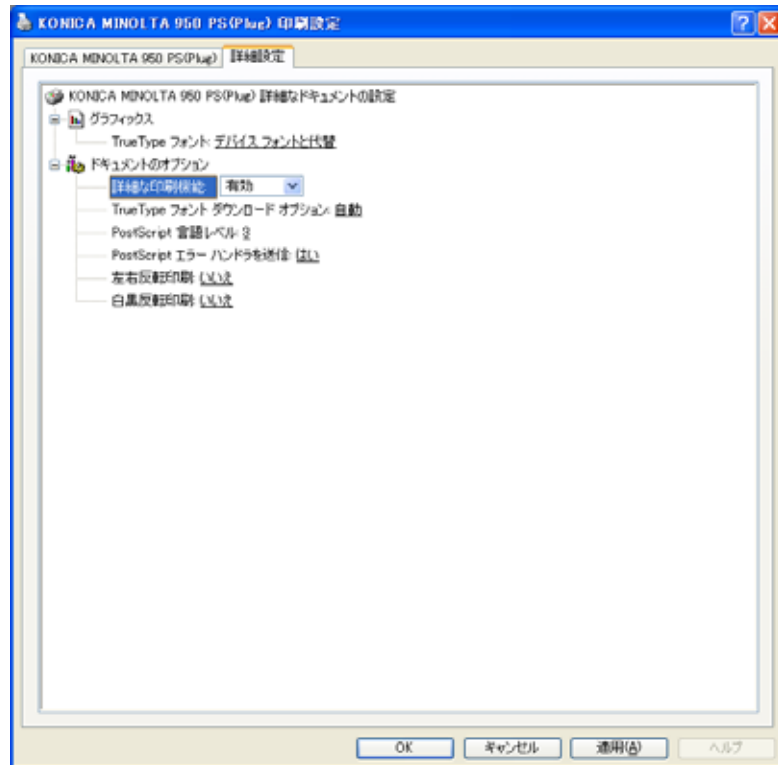
[g/m2] (デフォルト)、[四六判]、[A 本判]、[B 本判]、[菊判]、[Bond]、[Book]、[Bristol]、[Cover]、[Index]、[Tag]

6.3.15 バージョン



[バージョン] パネルはプリンタードライバのバージョンを確認できます。
また製造元のサイトを表示できます。

6.3.16 詳細設定



「詳細設定」パネルでは、PostScript オプションの設定ができます。

TrueType フォント

フォント代替処理をTrueTypeフォントに設定します。「デバイスフォント代替」はフォントセットをダウンロードせずに、類似フォントをプリンターが選択します。この場合はプリント時間を短縮できますが、代替フォントに含まれない特殊文字などが文字化けする可能性があります。

「ソフトフォントとしてダウンロード」をクリックすると、TrueTypeフォントをプリンターにダウンロードします。

TrueType フォントダウンロードオプション

TrueTypeフォントのダウンロードモードを指定します。

- 自動：（ダウンロードモードがPostScriptドライバーで決定されます）
- アウトライン：（スケーラブルアウトラインフォント）
- ビットマップ：（ビットマップフォント）
- Native TrueType:（TrueTypeネイティブラスターサイズプリンター用アウトラインフォント）

PostScript言語レベル

PostScript言語レベルを 1 からn（最高が 3）で指定します。PostScriptレベルの数値を上げると、より多くの機能を扱うことができます。ただし対応していない処理を必要とする印刷ドキュメントの場合に、より良い互換性を得るには、PostScriptレベルの数値を下げることも有効です。

PostScriptエラーハンドラを送信

PSエラーメッセージを送信するかどうかを指定します。プリントエラーが起きた場合にプリンターからエラーメッセージを出力するには、[はい] を選択します。

左右反転印刷

左右反転して印刷する場合に指定します。

白黒反転印刷

白黒反転して印刷する場合に指定します。モノクロプリンターのみに対応しています。

7 Mac OS X での印刷

7.1 ページ設定

ドキュメントを印刷するには、サイズと印刷方向を指定しておく必要があります。通常、新規作成したドキュメントサイズと印刷方向は、A4 / Letterと縦方向として定義されます。

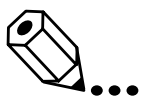
- 1 ドキュメントサイズと印刷方向を指定するには、[ファイル] » [用紙（プリント）設定] を選択します。



- 2 表示されるダイアログで、[KONICA MINOLTA 950 PS (Plug-in)] がインストールされたプリンター名を選択し、ドキュメントサイズと印刷方向（縦または横）を選択します。

コピー機用の紙サイズについては、付録の「出力サイズ」をご覧ください。

ドキュメントページサイズとこの画面の [用紙サイズ] は異なる場合があります。小冊子機能などを設定している場合、出力用紙はドキュメントサイズの 2 倍になります。出力用紙サイズはプリント画面で選択できます。



ご注意)

横向きのページは、出力用紙上では（右ではなく）左回転しています。

7.1.1 カスタム用紙サイズ

MacOS Xでは複数の名前でカスタム用紙サイズを定義することができます。

- 1 カスタム用紙サイズを定義するには、[ファイル] » [用紙（プリント）設定] を選択します。
- 2 [用紙設定] ダイアログでは、[設定] をクリックすると表示されるプルダウンメニューから [カスタム用紙サイズ] を選択します。
[カスタム用紙サイズ] パネルが表示されます。



[新規] をクリックして、カスタム用紙サイズのサイズと名前を入力して、[保存] を押します。これによりカスタム用紙サイズが用紙サイズとして定義されます。

カスタム用紙サイズの定義をさらに続けることができます。

- 3 [OK] をクリックして変更を適用します。

新しく定義した用紙サイズは、選択されたプリンター用の用紙サイズと同様に使用可能になります。

7.2 印刷

アプリケーションで作成したドキュメントを、bizhub PRO 950 で印刷することができます。

ドキュメントの印刷は、[プリント（印刷）] ダイアログから行います。印刷を開始すると、プリンタードライバーはPostScriptジョブを生成します。ジョブは、ドキュメント上の構成要素を表します。PostScriptジョブには、ページサイズ、印刷方向、コピー部数、トレイ選択、面付け、フィニッシングモードなどの情報が含まれています。

- 1 ドキュメントを印刷するには、[ファイル] ≫ [プリント（印刷）] を選択します。



- 2 [プリンタ] ポップアップメニューから、bizhub PRO 950 に対応するプリンターを選択します。

[プリセット] ポップアップメニューから、プリンターの設定を保存または、保存したプリンター設定を呼び出すことができます。

- 3 現在の設定を保存するには、[別名で保存] を選択して、保存するプリセットの名前を入力して [OK] を押します。

保存した設定はポップアップメニューに表示され選択することで、呼び出すことができます。

[印刷部数と印刷ページ] 画面では、次の機能を設定することができます。

- 印刷するページの範囲
- 印刷する部数

[給紙] 画面では、次の機能を設定することができます。

- 給紙トレイ

印刷に使用するトレイを指定します。

〔自動選択〕は、用紙サイズ、方向、フィニッシング機能などにより、プリンターが自動でトレイを選択します。

〔用紙〕 および 〔トレイ〕 の項を参照してください。



ご注意)

このダイアログでは [1 枚目] オプションを使用しないでください。ジョブトレイではなく他のトレイからページを印刷するには、プリンタードライバープラグインの [カバー] と [トレイ] パネルから選択してください。

〔カバー〕 と 〔トレイ〕 の項をご参照ください。

〔用紙処理〕 画面では、次の機能を設定することができます。

- ページの順序を逆にする

ページの順序を逆にして印刷します。

小冊子などの機能が設定している場合、小冊子機能が行われた後に、ページ順を逆にして印刷を行います。

〔レイアウト〕 の項の 〔フェイスアップ〕 を参照してください。

〔出力オプション〕 画面では、次の機能を設定することができます。

- ファイルとして保存

印刷文書をPDFファイルまたはPostScriptファイルとして保存します。

PostScriptファイルとして保存するには、[フォーマット] を [PostScript] に変更します。これにより、ジョブを保存し、現在接続していない bizhub PRO 950 にあとで印刷することができます。ジョブを保存するには、[保存] をクリックします。



ご注意)

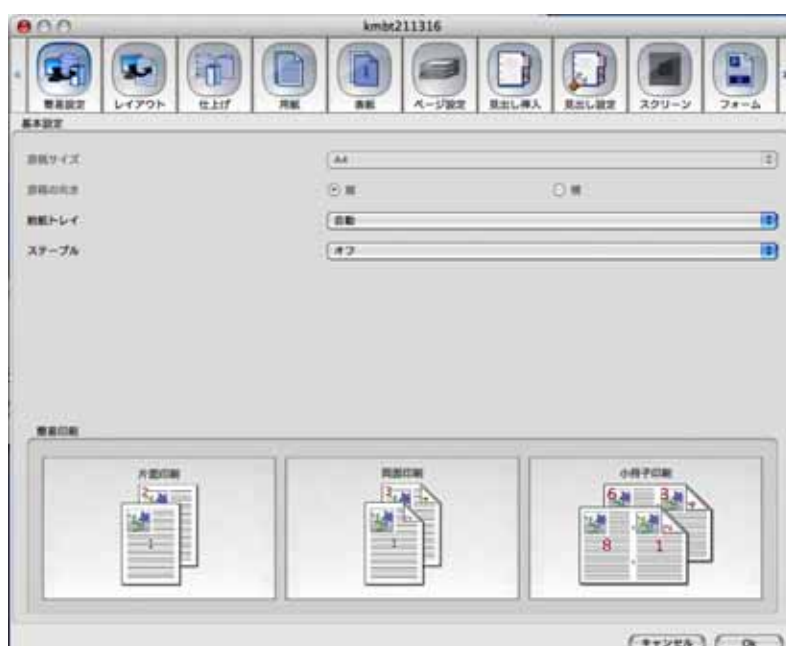
PostScriptファイルを生成する場合、プラグイン機能に含まれるいくつかの機能は対応しない場合があります。

- 4 印刷内容を確認するには [プリント] をクリックします。

7.3 プリンタードライバープラグイン

プリンタードライバープラグインにより、印刷オプションやフィニッシングオプションを選択するためのグラフィカルユーザーインターフェースを使用できます。

- 1 bizhub PRO 950 に固有のプリンタードライバースelectionを選択するには、[ファイル] » [プリント] を選択し、[印刷部数と印刷ページ] をクリックして、[bizhub PRO 950] パネルを選択します。
- 2 表示された画面で [設定] をクリックしてプリンタードライバープラグイン画面を表示できます。



プリンタードライバープラグインから使用可能なパネルは次のとおりです。

- [簡易設定] - 原稿サイズや原稿の向きを設定します。
- [レイアウト] - 面付け機能などを設定します。
- [仕上げ] - ステープル、パンチを設定します。
- [用紙] - 印刷で使用する用紙タイプを指定します。
- [表紙] - 表紙と背表紙のシートを選択します。
- [ページ設定] - 各機能をページ単位で設定します。
- [見出し挿入] - インデックス紙の見出し文字などの設定をします。
- [見出し設定] - 設定したインデックス紙の詳細を設定します。
- [スクリーン] - プリンター内部のデータ処理のスクリーン線数とスクリーン角度、印刷濃度やスムージングを選択します。

- [フォーム] - フォーム印刷に関する設定をします。
- [画像シフト] - 用紙上の印刷位置を、全体的に移動させることができます。移動の量は、ドライバー上で指定するか、コピー機であらかじめ設定された情報を使用するかを選択できます。
- [スタンプ] - 日付/時刻、ページ番号、ナンバリング、コピープロテクト機能などを設定します。
- [ワークフロー] - 出力モードの選択（確認印刷等）、ユーザー認証、部門管理設定および出力方法の選択（ボックス保存）を行います。
- [装置情報] - 装置オプションの設定を行います。
- [バージョン] - プリンタードライバープラグインのバージョンなどを確認できます。

各画面の説明については、Windows での印刷の章の対応する各項（6 Windowsでの印刷）を参照してください。



ご注意)

Mac OS Xでは、[Windowsメッセージ送信] は対応していません。

アプリケーションによっては、そのアプリケーション自身がプリンタードライバーを提供するので、プラグインプリンタードライバーをサポートしない場合があります。

プラグインなしでも、印刷画面のプリンター機能を選択することができます。ただし、プリンターの機能（ページ間隔、ユーザ認証など）によっては設定できない場合があります。

8 Mac OS 9 での印刷

8.1 ページ設定

ドキュメントを印刷するには、サイズと印刷方向を指定しておく必要があります。通常、新規作成したドキュメントサイズと印刷方向は、A4 / Letterと縦方向として定義されます。

- 1 ドキュメントサイズと印刷方向を指定するには、[ファイル] » [用紙設定] を選択します。



- 2 表示されるダイアログで、プリンターとして [bizhub PRO 950 (デフォルト名)] を選択し、ドキュメントサイズと印刷方向（縦または横）を選択します。

コピー機用の紙サイズについては、付録の「出力サイズ」に説明してあります。

ドキュメントサイズが印刷する用紙サイズと違う場合があります。小冊子機能などを使用している場合、用紙サイズがドキュメントサイズの倍の大きさになります。用紙サイズは [用紙] パネルで選択できます。



ご注意)

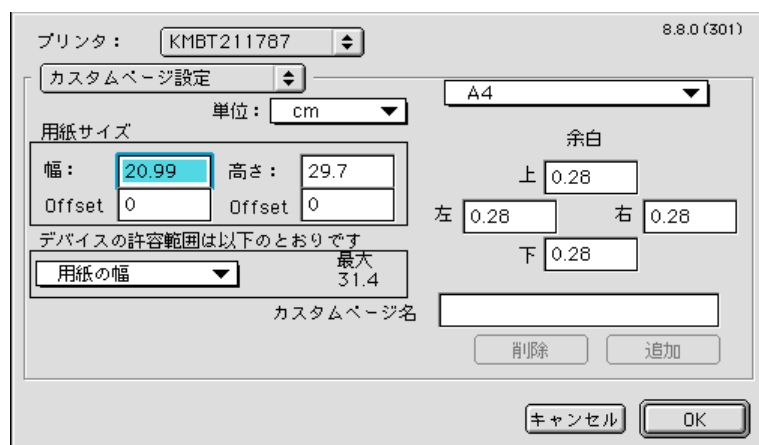
このダイアログでは [製本] オプションを使用せずに、プリンタードライバープラグインの [レイアウト] パネルの [面付け] » [小冊子] を選択してください。

- 横向きのページは、出力用紙上では（右ではなく）左回転しています。この処理は、MacOS Xドライバーとは異なりますが、bizhub PRO 950のWindowsバージョンと同様です。

8.1.1 カスタムページサイズ

MacOS 9 では複数の名前でカスタムページサイズを定義することができます。

- 1 カスタムページサイズを定義するには、[ファイル] >> [用紙設定] を選択します。
- 2 [用紙設定] ダイアログでは、[ページ属性] をクリックすると表示されるプルダウンメニューから [カスタムページ設定] を選択します。
[カスタムページ設定] パネルが表示されます。



カスタムページサイズのサイズと名前を入力して、[追加] をクリックします。これによりカスタム用紙サイズが用紙サイズとして定義されます。

カスタム用紙サイズの定義をさらに続けることができます。

- 3 [OK] をクリックして変更を適用します。

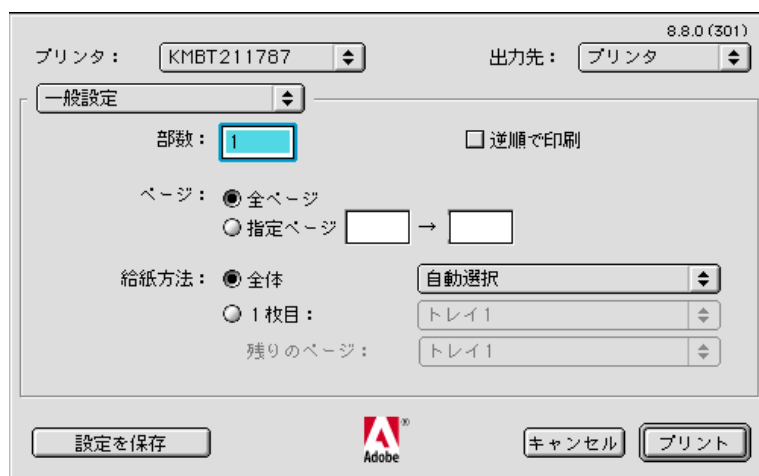
新しく定義した用紙サイズは、選択されたプリンター用の用紙サイズと同様に使用可能になります。

8.2 印刷

アプリケーションで作成したドキュメントを、bizhub PRO 950 で印刷することができます。

ドキュメントの印刷は、[プリント (印刷)] ダイアログから行います。印刷を開始すると、プリンタードライバーはPostScriptジョブを生成します。ジョブは、ドキュメント上の構成要素を表します。PostScriptジョブには、ページサイズ、印刷方向、コピー部数、トレイ選択、面付け、フィニッシングモードなどの情報が含まれています。

- 1 ドキュメントを印刷するには、[ファイル] » [プリント (印刷)] を選択します。



[プリント (印刷)] ダイアログの各パネルで、bizhub PRO 950 に対応するプリンターを選択できます。

[プリント (印刷)] ダイアログを開くと、[一般設定] パネルが表示されます。このパネルでは次のオプションを選択することができます。

- 印刷するページの範囲
- 印刷する部数
- [給紙方法] - 印刷で使用するトレイ

自動選択では、用紙サイズ、印刷方向、フィニッシングの要件に基づいて、エンジンによって選択が行われます。用紙とトレイの選択方法については、[用紙] の各項をご参照ください。

- [逆順で印刷] - [逆順で印刷] チェックボックスをONにするとページ順が逆になります。”仕上げ” (p.6-19) の [フェイスアップ] 項をごらんください。



...
ご注意)

このダイアログでは [1 枚目] オプションを使用しないでください。ジョブトレイではなく他のトレイからページを印刷するには、プリンタードライバープラグインの [表紙] パネルから選択してください。

詳細は、"表紙" (p.6-28) をごらんください。

- 2 bizhub PRO 950 用の設定を保存するには、[設定を保存] をクリックします。
- 3 PostScript ジョブをファイルに保存するには、[出力先] を [ファイル] に変更します。これにより、ジョブを保存し、現在接続していないbizhub PRO 950 にあとで印刷することができます。ジョブを保存するには、[保存] をクリックします。
- 4 印刷を行なうには、[プリント] をクリックします。

8.3 プリンタードライバープラグイン

プリンタードライバープラグインにより、印刷オプションやフィニッシングオプションを選択するためのグラフィカルユーザーインターフェースを使用できます。

- 1 bizhub PRO 950 に固有のプリンタードライバープラグインを選択するには、[ファイル] ≧ [プリント] を選択し、[一般設定] をクリックして、[bizhub PRO 950 ***] パネルを選択します。



ご注意)

全てのパネル名の名前に、[bizhub PRO 950] と名前が入ります。



プリンタードライバープラグインから使用可能なbizhub PRO 950 パネルは次のとおりです。

- [レイアウト] - 面付け機能などを設定します。
- [仕上げ] - ステープル、パンチを設定します。
- [用紙] - 印刷で使用する用紙タイプを指定します。
- [フォーム] - フォーム印刷に関する設定をします。
- [表紙] - 表紙と背表紙のシートを選択します。
- [ページ単位設定 (ページ設定)] - 各機能をページ単位で設定します。

- [見出し挿入] - インデックス紙の見出し文字などの設定をします。
- [見出し設定] - 設定したインデックス紙の詳細を設定します。
- [スクリーン] - プリンター内部のデータ処理のスクリーン線数とスクリーン角度、印刷濃度やスムージングを選択します。
- [画像シフト] - 用紙上の印刷位置を、全体的に移動させることができます。移動の量は、ドライバー上で指定するか、コピー機であらかじめ設定された情報を使用するかを選択できます。
- [スタンプ] - 日付/時刻、ページ番号、ナンバリング、コピープロテクト機能などを設定します。
- [ワークフロー] - 出力モードの選択（確認印刷等）、ユーザー認証、部門管理設定および出力方法の選択（ボックス保存）を行います。

各パネルの詳細については、Windowsのプリンタードライバープラグインの章の中の該当する各項（6 Windowsでの印刷）をご参照ください。



ご注意)

[プリント] を選択したときに、*Macintosh SimpleText* がクラッシュすることがあります。これは、アプリケーションに割り当てられているデフォルトのメモリーがプリンタードライバープラグインに不十分なためです。

解決方法: アプリケーションに少なくとも 1.5 MBのメモリーを割り当ててください。

アプリケーションによっては、専用のドライバーを提供しているため、プリンタードライバープラグインをサポートしません。プラグインをサポートしていない場合は、[プリント] ダイアログの [プリンタ固有機能] パネルで *bizhub PRO 950* 固有の機能を選択できます。プラグインの機能の中には、PPDフォーマットの制約から、「ページ間隔」やユーザ認証などは、プラグインでのみ設定できます。[プリンタ固有機能] パネルでは設定できません。(PPDフォーマットは任意の文字列または数値をもつ機能をサポートしていません)。

ユーザー認証

ユーザー認証は印刷ジョブにユーザー名とパスワードを設定します。この識別情報は、ユーザーの印刷権限を特定するために使用されます。

ユーザー認証は、*bizhub PRO 950* に 印刷権限を証明するためのユーザー名とパスワードをMac OSのキーチェーンに登録して使用できます。

Mac OSキーチェーンは、暗号化によってユーザーのパスワードを保護し、さらにキーチェーン自身のパスワードによって保護されます。パスワードを使用することをアプリケーションに許可するには、キーチェーンのパスワードを入力して、アプリケーションにアクセス権を与える必要があります。

キーチェーンを使用せずユーザ認証を行う場合

キーチェーンを使用せずにユーザ認証を行うには、次の手順を行います。

- 1 [ファイル] >> [プリント] を選択し、本プリンタードライバの [ワークフロー] パネルを選択します。
- 2 [ユーザー名] を選択し、[ユーザー名] の下のテキストボックスをクリックします。



- 3 ユーザー名を入力します。



ご注意)

[ユーザー名] が空白のままだと、パスワードを入力することが出来ません。必ず [ユーザー名] は入力してください。

- 4 [Tab] キーを押して、パスワード用のテキストボックスに移動させ、パスワードを入力します。

Printer: KMBTD08AE8 Destination: Printer 8.8.0 (301)

bizhub PRO 950 ワーク...

☐ タンデムモード ☐ セキュリティ強化モード

☐ E-Mail送信 ☒ 常に ☐ エラー時

☒ ユーザー名 ☐ MacOSキーチェーン

sample samle

☐ 部門名 ☐ MacOSキーチェーン

出力モード 通常印刷 ☐ MacOSキーチェーン

出力方法 通常印刷

1.0KM-329 / JA - 70

Save Settings Adobe Cancel Print

- 5 ユーザー認証を確認し問題がなければ、[Tab] キーを押すか、緑色のチェックボタン () をクリックします。
- 6 設定を終える前にユーザー認証をキャンセルするには、[ユーザー名] チェックボックスをオフにします。(または [Esc] キーを押して、プリントダイアログを閉じます。)

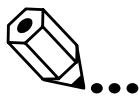
キーチェーンを使用してユーザ認証を行う場合

キーチェーンを使用してユーザ認証を行うには、次の手順を行います。

- 1 [ファイル] >> [プリント] を選択し、本プリンタードライバの [ワークフロー] パネルを選択します。
- 2 [ユーザー名] と [Mac OS キーチェーン] チェックボックスをオンにし、[ユーザー名] の下のテキストボックスをクリックします。



- 3 ユーザー名を入力します。



ご注意)

[ユーザー名] が空白のままだと、パスワードを入力することが出来ません。必ず [ユーザー名] は入力してください。

初めてユーザー名を入力する場合：

- 1 ユーザー名のキーチェーンを確認するため、キーチェーンボタン () をクリックします。

キーチェーンは、このユーザー名がないことを示す赤い警告マークを表示します。



2 パスワードフィールドにパスワードを入力します。

Printer: KMBTD08AE8 Destination: Printer

bizhub PRO 950 ワーク...

☐ タンデムモード ☐ セキュリティ強化モード

☐ E-Mail送信 ☒ 常に ☐ エラー時

☒ ユーザー名 sample ☒ MacOS キーチェーン

☐ 部門名 ☐ MacOS キーチェーン

出力モード 通常印刷

出力方法 通常印刷

1.0KM-329 / JA - 70

Save Settings Cancel Print

3 [Tab] キーを押すか、青い矢印のボタン () をクリックします。

Printer: KMBTD08AE8 Destination: Printer

bizhub PRO 950 ワーク...

☐ タンデムモード ☐ セキュリティ強化モード

☐ E-Mail送信 ☒ 常に ☐ エラー時

☒ ユーザー名 sample ☒ MacOS キーチェーン

☐ 部門名 ☐ MacOS キーチェーン

出力モード 通常印刷

出力方法 通常印刷

1.0KM-329 / JA - 70

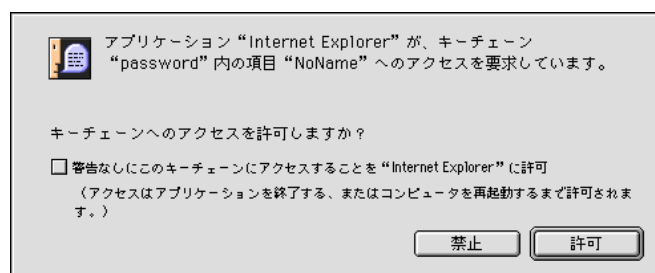
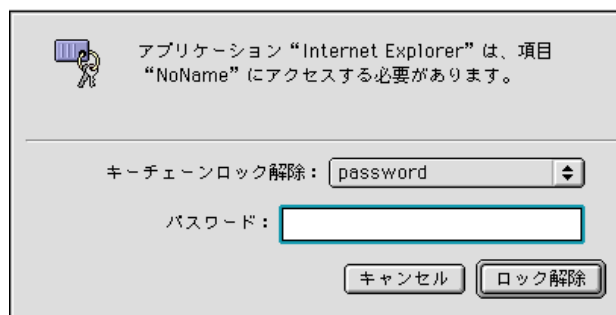
Save Settings Cancel Print

この操作を行うことで、ユーザー認証が許可されたことになります。

既にユーザー名が保存された場合：



- 1 ユーザー名のキーチェーンを確認するために、キーチェーンボタン () をクリックします。
- 2 キーチェーンの設定によって、下図のようなウィンドウが表示されますので、[ロック解除] (パスワードを入力する必要があります)、もしくは [許可] ボタンを押します。





この操作を行うことで、ユーザー認証が許可されたことになります。

9 特定のアプリケーションからの印刷

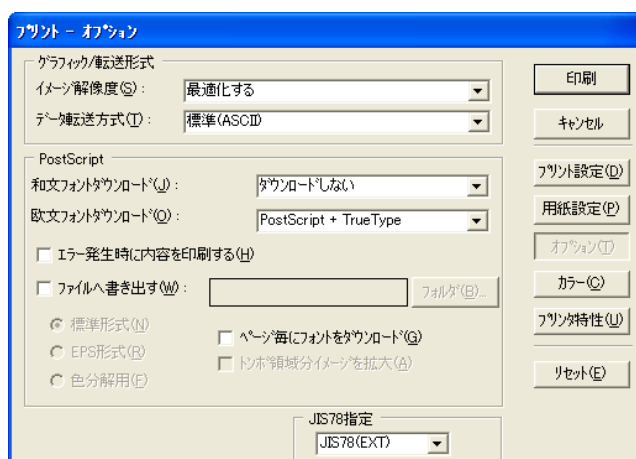
Adobe PageMaker からの印刷

複雑なレイアウト機能などを設定した場合はプリントエラーが起きる可能性があります。

Windows/Mac OS の場合

Adobe PageMaker から印刷する場合は、以下の設定をしておくことでプリントエラーを防ぐことができます。ここでは、Windows の画面を使用しています。

- 1 PageMaker の印刷ダイアログで [オプション] を押します。
- 2 [ページ毎にフォントをダウンロード] をチェックします。



Adobe PageMaker はアプリケーション自体がプリンタードライバを持っているため、本プリンタードライバをサポートしていない場合があります。

Mac OS9 で、本プリンタードライバをサポートしてる Adobe PS プリンタードライバを使って Page Maker を使用するには以下の手順を行います。

- 1 [Option] キーを押した状態で [ファイル] >> [プリント] を選択します。(Command + P ではありません)
(PPD の選択やプリント機能の変更はできません)
- 2 [用紙設定] をクリックします。

〔用紙設定〕ダイアログが表示されます。

- 3 プリンターを選択して〔OK〕をクリックします。

Adobe PS プリント画面が表示されます。

- 4 プリント機能を設定して〔プリント〕をクリックします。

PageMaker のプリント画面に戻ります。

- 5 〔プリント〕をクリックします。

Adobe Acrobatからの印刷

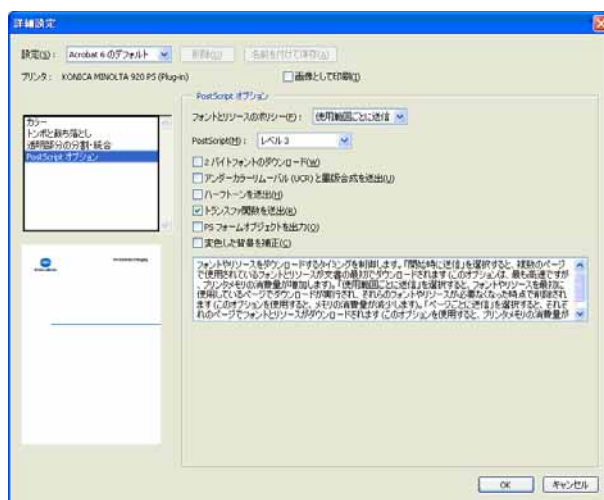
複雑なレイアウト機能などを設定した場合はプリントエラーが起きる可能性があります。

Adobe Acrobatから印刷する場合は、以下の設定をしておくことでプリントエラーを防ぐことができます。

Windows / Mac OS Xの場合

ここでは、Windowsの画面を使用しています。

- 1 Acrobatの印刷ダイアログで「詳細設定」を押します。
- 2 「PostScriptオプション」を選択します。
- 3 「フォントとリソースのポリシー」を「ページごとに送信」に設定します。

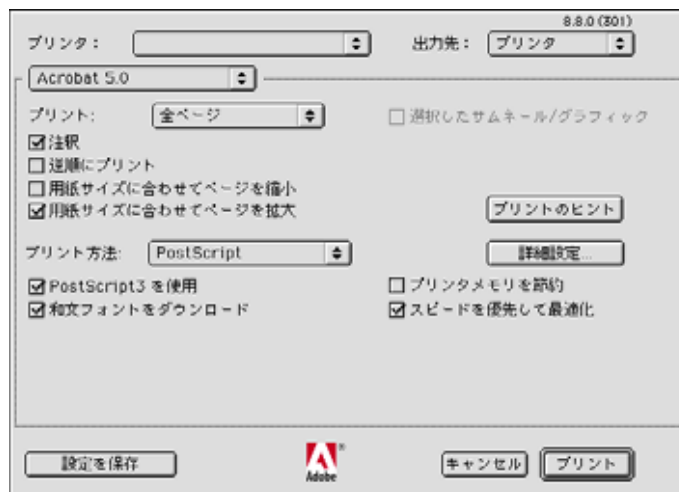


Mac OS 9 の場合

複雑なレイアウト機能などを設定した場合はプリントエラーが起きる可能性があります。

Adobe Acrobatから印刷する場合は、以下の設定をしておくことでプリントエラーを防ぐことができます。

- 1 印刷ダイアログで、[Acrobat 5.0] を選択してください。



- 2 チェックボックスの[プリンタメモリを節約]がオフであることを確認してください。

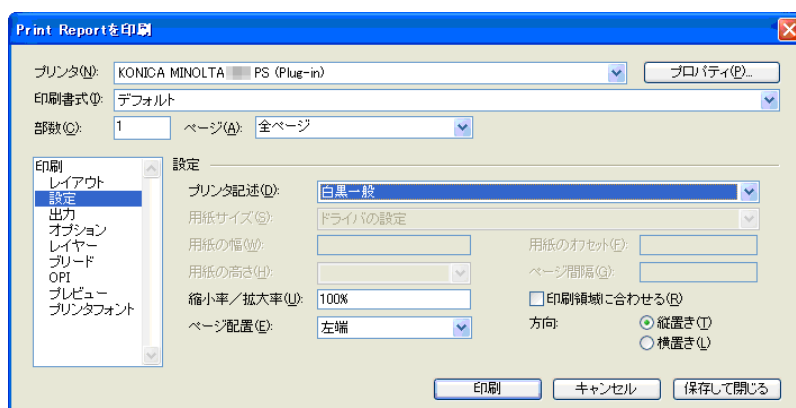
Quark XPressからの印刷

複雑なレイアウト機能などを設定した場合はプリントエラーが起きる可能性があります。

Windows/Mac OSの場合

Quark XPressから印刷する場合は、以下の設定をしておくことでプリントエラーを防ぐことができます。ここではWindowsの画面を使用しています。

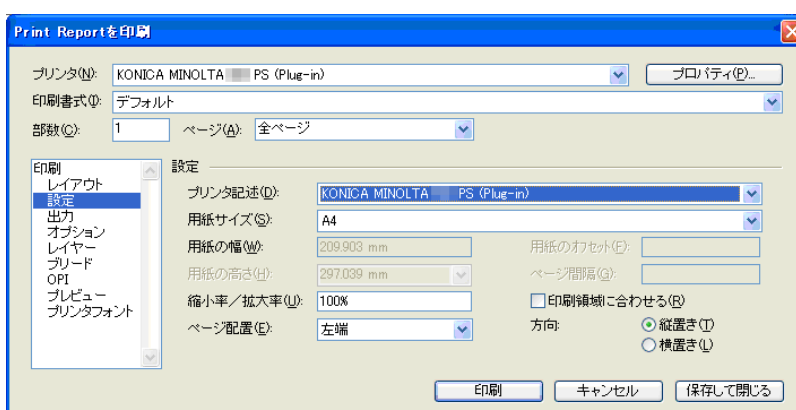
- 1 Quark XPressの印刷ダイアログで「設定」を選択します。



- 2 「プリンタ記述」として KONICA MINOLTA 950 PS (Plug-in) を選択します。

用紙サイズが「カスタム」と表示されます。

- 3 用紙サイズを選択します。



これにより面付けなどの他のドライバーの機能を安定させて出力します。

Adobe InDesignからの印刷

複雑なレイアウト機能などを設定した場合はプリントエラーが起きる可能性があります。

Adobe InDesignから印刷する場合は、以下の設定をしておくことでプリントエラーを防ぐことができます。

Windowsの場合

- 1 Adobe InDesignの印刷ダイアログで「セットアップ」を選択します。
- 2 「用紙サイズ」を設定します。
- 3 「プリンタ」をクリックします。
- 4 KONICA MINOLTA 950 PS (Plug-in)を選択し、「詳細設定」をクリックし、プラグインドライバを表示します。
- 5 設定を確認して、「OK」をクリックします。
- 6 「プリント」をクリックして印刷を開始します。
これにより面付けなどの他のドライバの機能を安定させて出力します。

Mac OS 9 / X の場合

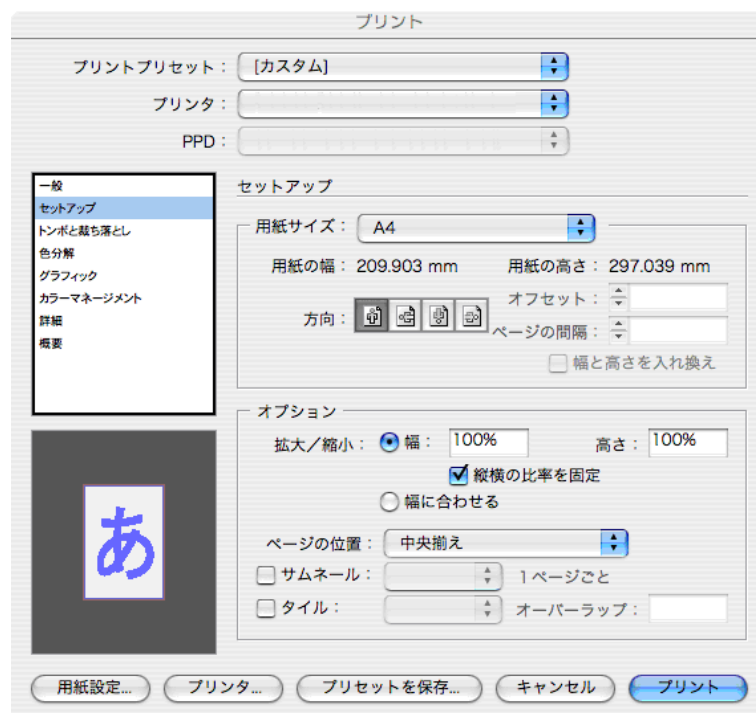
ここではMac OS Xの画面を使用しています。

- 1 Adobe InDesignの印刷ダイアログで「セットアップ」を選択します。
- 2 用紙サイズを設定します。



ご注意)

ページ設定画面の用紙サイズと異なる用紙サイズを選択した場合、「セットアップ」画面で設定した用紙サイズが優先されます。



- 3 「プリンタ」をクリックします。
- 4 プラグインドライバの確認したい設定をプルダウンメニューで選択します。
- 5 必要に応じて、プラグインドライバの設定を変更します。
- 6 「プリント」をクリックして、プリント画面に戻ります。
- 7 「プリント」をクリックして、印刷を開始します。

プラグインを使用しない機能の設定

〔詳細設定〕ダイアログには、フィニッシングオプションなどのいくつかの〔プリンターの機能〕が表示されます。また用紙サイズにて、原稿サイズの設定が可能です。ほとんどのアプリケーションでは、プリンタードライバープラグインを実行しているため、これらの機能は無効になっています。このケースでは、プリンタードライバープラグインを使用して、必要な印刷オプションを設定します。

10 トラブルシューティング

接続

問題	解決
プリンター名が表示されない	プリンターにネットワーク名が割り当てられているかどうかを管理者に確認してください。
装置情報取得ができない	コピー機がネットワークサーバー上で共有プリンターとして使用されている場合はプリンタードライバーでは自動取得はできません。この場合は手動で装置オプションを設定してください。

印刷

問題	解決
設定上のミス	装置オプションがインストールされているかどうかを確認してください。
設定上のミス (MacOS X)	Mac OS X が対応している機能かどうかを確認してください。
ステープルができない	ステープルの出力ページが多すぎないかどうかを確認してください。ステープルは最大で 101 ページ以上は出力できません。また 坪量が 50g/m ² 以下および 244g/m ² 以上の用紙はステープルできません。
折り機能が使えない	折り機能の出力ページが多すぎないかどうかを確認してください。また 坪量が 244g/m ² 以上の用紙は折り機能は設定できません。
〔部単位で印刷〕が機能しない	本プリンタードライバーとの機能の組み合わせで問題が起きる可能性があるので、設定しないでください。
〔トレイ/用紙情報取得〕が機能しない(MacOS 9)	Mac OS 9 ではサポートされていません。
余白を調整したい	〔画像シフト〕パネルで画像シフト機能を設定してください。

メッセージエラー	Windows メッセンジャーサービスをダウンロードしてください。(Windows Vista/Server 2008)
----------	--

11 Font List (PostScript)

リュウミンL-KL

中ゴシックBBB

Albertus

Albertus Italic

Albertus Light

AntiqueOlive Bold

AntiqueOlive Compact

AntiqueOlive Italic

AntiqueOlive Roman

Apple Chancery

Arial

Arial Bold

Arial Bold Italic

Arial Italic

ITC AvantGarde Gothic Book

ITC AvantGarde Gothic Book Oblique

ITC AvantGarde Gothic Demi

ITC AvantGarde Gothic Demi Oblique

Bodoni

Bodoni Bold

Bodoni Bold Italic

Bodoni Italic

Bodoni Poster

Bodoni Poster Compressed

ITC Bookman Demi

ITC Bookman Demi Italic

ITC Bookman Light

ITC Bookman Light Italic

Carta	
Chicago	
Clarendon	
Clarendon	Bold
Clarendon	Light
Cooper Black	
Cooper Black	Italic
Copperplate Gothic	32BC
Copperplate Gothic	33BC
Coronet	
Courier	
Courier	Bold
Courier	Bold Oblique
Courier	Oblique
Eurostile	
Eurostile	Bold
Eurostile	Bold Extended Two
Eurostile	Extended Two
Geneva	
GillSans	
GillSans	Bold
GillSans	Condensed Bold
GillSans	Bold Italic
GillSans	Condensed
GillSans	Extra Bold
GillSans	Italic
GillSans	Light
GillSans	Light Italic
Goudy	Oldstyle
Goudy	Bold

Goudy	BoldItalic
Goudy	ExtraBold
Goudy	Oldstyle Italic
Helvetica	
Helvetica	Bold
Helvetica	Bold Oblique
Helvetica	Oblique
Helvetica	Condensed
Helvetica	Condensed Bold
Helvetica	Condensed Bold Oblique
Helvetica	Condensed Oblique
Helvetica	Narrow
Helvetica	Narrow Bold
Helvetica	Narrow Bold Oblique
Helvetica	Narrow Oblique
Hoefler Text	Black
Hoefler Text	Black Italic
Hoefler Text	Italic
Hoefler Text	Ornaments
Hoefler Text	
Joanna	
Joanna	Bold
Joanna	Bold Italic
Joanna	Italic
LetterGothic	
LetterGothic	Bold
LetterGothic	Bold Slanted
LetterGothic	Slanted
ITC Lubalin Graph	Book
ITC Lubalin Graph	Book Oblique

ITC Lubalin Graph	Demi
ITC Lubalin Graph	Demi Oblique
Marigold	
ITC Mona Lisa	Recut
Monaco	
New Century Schoolbook	Bold
New Century Schoolbook	Bold Italic
New Century Schoolbook	Italic
New Century Schoolbook	Roman
New York	
Optima	
Optima	Bold
Optima	Bold Italic
Optima	Italic
Oxford	
Palatino	Bold
Palatino	Bold Italic
Palatino	Italic
Palatino	Roman
Stempel Garamond	Bold
Stempel Garamond	Bold Italic
Stempel Garamond	Italic
Stempel Garamond	Roman
ITC Symbol	
Tekton	
Times	Bold
Times	Bold Italic
Times	Italic

TimesRoman	
Times New Roman	
Times New Roman	Bold
Times New Roman	Bold Italic
Times New Roman	Italic
Univers	
Univers	Bold
Univers	Bold Oblique
Univers	Oblique
Univers	Light
Univers	Light Oblique
UniversCondensed	
UniversCondensed	Bold
UniversCondensed	Bold Oblique
UniversCondensed	Oblique
UniversExtended	
UniversExtended	Bold
UniversExtended	Bold Oblique
UniversExtended	Oblique
Windings	
ITC ZapfChancery	Medium Italic
ITC ZapfDingbats	

12 用紙サイズ

出力サイズとして使用可能な用紙サイズは次のとおりです。

定型サイズ	mm	mm	Inch	Inch
A3	297	420	11.693	16.535
A4	210	297	8.268	11.693
A5	148	210	5.827	8.268
A6	148	105	5.827	4.134
SRA4	225	320	8.858	12.598
JIS-B4	257	364	10.118	14.331
JIS-B5	182	257	7.165	10.118
JIS-B6	128	182	5.039	7.165
はがき	100	148	3.937	5.826
ISO-B4	250	353	9.843	13.898
ISO-B5	176	250	6.929	9.843
ISO-B6	125	176	4.921	6.929
A4 Tab	297	222.5	11.693	8.760

インチサイズ	mm	mm	Inch	Inch
Tabloid	279.4	431.8	11.000	17.000
Legal	215.9	355.6	8.500	14.000
8 x 13	203.2	330.2	8.000	13.000
Folio	215.9	330.2	8.500	13.000
8 1/4 x 13	209.55	330.2	8.250	13.000
8 1/8 x 13 1/4	206.38	336.55	8.125	13.250
9 x 11	228.6	279.4	9.000	11.000
Letter	215.9	279.4	8.500	11.000
Statement	139.7	215.9	5.500	8.500
Letter Tab	279.4	228.4	11.000	8.992

カスタムページサイズは、100 x 140mmと 314mm x 460mm (3.93 x 5.51

インチと 12.36 x 18.11 インチ) の間でなければなりません。

コピー機側では、A4 (縦) と A4 横)、Letter (縦) と Letter (横) のように、給紙方向によってサイズが区別されます。

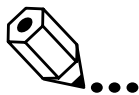
さらに、出力サイズとして次のワイド紙が使用可能です。

- 定型サイズ : A3 ワイド、A4 ワイド、A5 ワイド、JIS-B4 ワイド、JIS-B5 ワイド、ISO-B4 ワイド、ISO-B5 ワイド
- インチサイズ : Tabloid Extraワイド、Tabloidワイド、Letterワイド、Statementワイド

どのワイド紙も、印刷後の [原稿] サイズがその基本サイズと同じになります。実際のサイズをコピー機側で設定する必要があります。

次の用紙サイズは、フルブリード印刷をサポートしています。

- A3 / A4 / A5 / A6 / JIS-B4 / JIS-B5 / JIS-B6 / ISO-B4 / ISO-B5 / ISO-B6 / はがき / SRA4 / Tabloid / 9x11 / Legal / Letter / Statement / 8 1/8 x 13 1/4 / 8 x 13 / Folio / 8 1/4 x 13



ご注意)

最大のドキュメントページサイズおよび最大の出力用紙サイズは、両方とも 314 x 460 mm (12.36 x 18.11 inch) ですが、最大の印刷可能範囲は、303 x 460 mm (11.93 x 18.11 inch) になります。

最大印刷可能範囲を超過する場合、[用紙サイズに合わせる] の設定によって、出力ページは切り取られて印刷されるか、またはサイズが調整されて印刷されることになります。

[用紙サイズに合わせる] の設定については、[レイアウト] パネルの項を参照してください。

13 用語集

用語	説明
Bitmap	コピー機上で作成されるイメージデータ。
CUPS	Common Unix Printing Systemの略。 Unix系OS用のモジュール化された印刷システム。
DNS	Domain Name Systemの略。 ネットワーク環境において、ホスト名から対応するIPアドレスを取得できるようにするシステムのこと。これによりユーザーは、憶えにくく、分かりにくいIPアドレスではなく、ホストの名前を指定してネットワーク上の他のパソコンにアクセスできるようになる。
dpi	Dots Per Inchの略。プリンターやスキャナなどで使われる解像度の単位。1 インチを何個の点の集まりとして表現するかを表す。この値が高いほど、より精細な表現が可能となる。
IP アドレス	インターネット上で個々のネットワーク機器を識別する符号（アドレス）。192.168.1.10のように最大3桁の数字4つで表される。コンピューターを始めとしてインターネットに接続した機器には、全てIPアドレスが割り振られる。
lpi	Lines per inch - ラスター線数の単位。
lpr	印刷のためのネットワークプロトコル。
NetBIOS	Network Basic Input Outputの略。IBM社によって開発された通信インターフェイスのこと。
PostScript	米Adobe社によって開発された、特に高品質が要求される印刷処理で一般的に利用される代表的なページ記述言語のこと。
PPD	PostScript Printer Descriptionの略。解像度や利用

	可能紙サイズ等、PostScriptプリンターの機種固有の情報を記述したファイルのこと。
TCP/IP	Transmission Control Protocol/Internet Protocolの略。インターネットにて使用されている事実上標準的なプロトコルのこと。個々のネットワーク機器を識別するために、IPアドレスを使用する。
シート	印刷用紙のシート。両面印刷では、1 枚のシートに 2 ページ印刷される。小冊子印刷では、2 つのドキュメントが 1 つの印刷ページに配置され、4 つのドキュメントが 1 枚のシートに印刷される。
出力（用紙）サイズ	実際の印刷に使用する紙サイズ。小冊子を設定して印刷すると、出力サイズはドキュメントサイズの 2 倍になる。
小冊子	印刷シートへのドキュメントのレイアウトで、中央で折って小冊子を作ることができる。
ジョブ	印刷準備のできているドキュメント。
ドキュメントサイズ	アプリケーション上の紙サイズ。
ビットマップ	画像データを保存するファイル形式の 1 つ（拡張子は.bmp）。Windows 上で一般的に使用されている。白黒（2 値）の画像からフルカラー（1677 万 7216 色）までの色数を指定できる。基本的には圧縮せずに画像を保存する。
フィニッシング	印刷後の操作（たとえば、ステープル、パンチ、折り）。
ページ	1. ドキュメント（アプリケーション上） 2. 出力 両面印刷では、1 枚のシートに 2 ページ（両面）印刷される。小冊子印刷では、2 つのドキュメントが 1 つの印刷ページに配置され、4 つのドキュメントが 1 枚のシートを構成する。

ページ配置

ジョブページが印刷シートに配置される方法（たとえば、両面印刷、小冊子）。

お問い合わせは

■ 販売店連絡先

《販売店 連絡先》
販売店名
電話番号
担当部門
担当者

■ 保守・操作・修理・サポートのお問い合わせ

この商品の保守・操作方法・修理・サポートについてのお問い合わせは、お買い上げの販売店、サービス実施店にご連絡ください。

《保守・操作・修理・サポートのお問い合わせ先》
TEL

コニカミノルタ ビジネスソリューションズ株式会社

〒103-0023 東京都中央区日本橋本町1丁目5番4号

当社についての詳しい情報はインターネットでご覧いただけます。

<http://bj.konicaminolta.jp>

当社に関する要望、ご意見、ご相談、その他お困りの点などございましたら、お客様相談室にご連絡ください。

お客様相談室電話番号 フリーダイヤル： 0120-805039(受付時間：土、日、祝日を除く9:00～12:00 / 13:00～17:00)



KONICA MINOLTA

国内総販売元
コニカミノルタ ビジネスソリューションズ株式会社

製造元
コニカミノルタ ビジネステクノロジーズ株式会社
〒100-0005 東京都千代田区丸の内一丁目6番1号 丸の内センタービルディング

Copyright